

令和 5 年度

シラバス
Syllabus

島根県歯科技術専門学校

歯科技工士科

令和5年度シラバス

1 はじめに	1
1 時間割	1
2 講義担当講師一覧	3
3 学科目と単位数	4
2 学課目	5
1 基礎分野	5
1) 歯科英語	5
2) スポーツ・コミュニケーション	6
3) 造形美術概論・造形美術基礎実習	7
2 専門基礎分野	8
1) 歯科技工管理学1	8
2) 歯科技工管理学2	9
3) 歯の解剖学	11
4) 歯の解剖学基礎実習	13
5) 顎口腔機能学	15
6) 顎口腔機能学実習	16
7) 歯科理工学	18
8) 歯科理工学実習	21
3 専門分野	23
1) 有床義歯技工学	23
2) 有床義歯基礎実習	27
3) 有床義歯技工学実習(1)-(4)	33
4) 歯冠修復技工学	40
5) 歯冠修復基礎実習	43
6) 歯冠修復技工学実習	54
7) 小児歯科技工学	59
8) 小児歯科技工学実習	61
9) 矯正歯科技工学	63
10) 矯正歯科技工学実習	65
11) 歯科技工実習Ⅱ(歯冠修復)	68
12) 歯科技工実習Ⅲ(歯形彫刻)	74
13) 歯科技工実習Ⅳ(スポーツ歯学)	76

令和5年度 時間割 (1年)

歯科技工士科

		日				月				火				水				木				金				土				
月	日	9	11	13	15	9	11	13	15	9	11	13	15	9	11	13	15	9	11	13	15	9	11	13	15	日				
		50	20	40	10	50	20	40	10	50	20	40	10	50	20	40	10	50	20	40	10	50	20	40	10	日				
		11	12	15	16	11	12	15	16	11	12	15	16	11	12	15	16	11	12	15	16	11	12	15	16	11	12	15	16	
		10	40	00	30	10	40	00	30	10	40	00	30	10	40	00	30	10	40	00	30	10	40	00	30	10	40	00	30	
4	2	3				4			入学式	5	オリエンテーション	オリエンテーション	6	解剖学	解基	管理	7	有床基礎	内科					1						
4	9	10	解剖基礎			11		人権		12	修復基礎1	解剖	13	(小須賀)	写生	(中畑)	14	(専任)						8						
4	16	17	(専任)			18		修復基礎1		19	(専任)	(林)	20				21							15						
4	23	24		体育		25		(専任)		26			27				28							22						
5	30	1				2			有床基礎	3	憲法記念日		4	みどりの日			5	こどもの日						29						
5	7	8	解剖基礎	体育		9		修復基礎1	(専任)	10	修復基礎1		11	解剖学	写生	管理	12	理工学実習	修復					6						
5	14	15	(専任)			16		(専任)		17	(専任)		18	(小須賀)		(中畑)	19	(専任)	(三原)					13						
5	21	22				23		解剖	解剖	24			25			(松田)	26							20						
5	28	29	解剖基礎			30		(岡田)	基礎	31			1				2							27						
6	4	5	(専任)	体育		6			写生	7			8	修復基礎1	管理		9							3						
6	11	12		(松本)		13			(専任)	14	有床義歯		15	(専任)	(専任)		16							10						
6	18	19				20				21	(中村)	有床基礎	22				23							17						
6	25	26		体育	管理	27				28		(専任)	29				30							24						
7	2	3			(専任)	4				5			6				8							1						
7	9	10	写生(専任)		管(専)	11				12			13				14							9						
7	16	17	海の日			18				19			20				21							15						
7	23	24	写生(専任)	体育	管(専)	25		修復基礎1		26	進級試験		27	進級試験			28	進級試験	大掃除					22						
8	30	31		体育	管(専)	1				2			3				4							29						
8	6	7				8				9			10				11	山の日						5						
8	13	14				15				16			17				18							12						
8	20	21				22				23			24				25							19						
8	27	28				29				30			31				1	修復基礎2	歯冠修復					26						
9	3	4	修復基礎2	体育	修基	5		修復基礎1	修復	6	外国語	有床基礎	7	有床義歯	有床義歯	8	(専任)	(尼ヶ崎)					2							
9	10	11	(専任)	体育		12		(児島)		13		(専任)	14	(神庭)	(神庭)	15								9						
9	17	18	敬老の日			19				20			21	有床基礎	有床基礎	22			修復基礎2					16						
9	24	25	修復基礎2	体育		26		(専任)		27		修復基礎2	28	有床(神庭)	有床義歯	29	造形美術	(専任)					23							
10	1	2	(専任)	修復基礎2		3				4	(横山)	(専任)	5	有床(神庭)	(吉田)	6	(石野)	歯冠修復					7							
10	8	9	スポーツの日			10				11			12	有床義歯		13		(尼ヶ崎)					14							
10	15	16	修復基礎2			17				18			19	(入江)		20		修復基礎2					21							
10	22	23	(専任)	修復基礎2		24				25			26		有床義歯	27	造形美術	(専任)					28							
10	29	30				31				1			2				3	文化の日												
11	5	6				7				8			9				10	基礎実習					4							
11	12	13				14				15		有床基礎	16	有床基礎		17	(石野)						11							
11	19	20			修復基礎2	21				22			23	勤労感謝の日		24							18							
11	26	27				28		有床基礎		29	(専任)		30		歯冠修復	1		修復基礎2					2							
12	3	4				5		(専任)		6			7			8							9							
12	10	11				12		有床基礎		13			14			15							16							
12	17	18				19		(専任)		20	修基2		21			22			大掃除				23							
12	24	25				26				27			28				29						30							
1	31	1				2				3			4				5						6							
1	7	8	成人の日			9		試験		10	試験		11	試験			12	有床基礎	有床基礎					13						
1	14	15	修復基礎2	修復基礎2		16		修復基礎2	修復基礎2	17	有床基礎	有床基礎	18		有床義歯	19	(専任)	(専任)					20							
1	21	22	(専任)	(専任)		23		(専任)	修復基礎2	24	(専任)	(専任)	25		(吉田)	26	5						27							
1	28	29			4	30				31		4	1			2							3							
2	4	5				6				7			8			9							10							
2	11	12	振替休日			13				14			15			16							17							
2	18	19				20				21			22			23	天皇誕生日						24							
2	25	26				27				28			29			1		大掃除					2							
3	3	4				5				6			7			8							9							
3	10	11				12				13			14			15							16							
3	17	18				19				20	春分の日		21			22							23							
3	24	25				26				27			28			29							30							

令和5年度 時間割 (2年)

歯科技工士科

日		月				火				水				木				金				土
		9	11	13	15	9	11	13	15	9	11	13	15	9	11	13	15	9	11	13	15	日
月	日	50	20	40	10	50	20	40	10	50	20	40	10	50	20	40	10	50	20	40	10	日
		11	12	15	16	11	12	15	16	11	12	15	16	11	12	15	16	11	12	15	16	
		10	40	00	30	10	40	00	30	10	40	00	30	10	40	00	30	10	40	00	30	
4月	2	3	有床義歯	有床義歯	4	技工実習Ⅲ	入学式	5	×線	有床	顎口腔	6	矯正歯科	小児歯科	7	歯冠修復	内科	8				
	9	10	有床義歯	有床	11	(専任)	歯冠修復	12	有床義歯	(朝比奈)	13	(松本)	(児島)	14	(専任)	歯冠修復	15					
	16	17	(専任)	有床	18		(専任)	19	(専任)		20			21		(専任)	歯冠修復	22				
	23	24		体育	25			26		印象採得	27			28				29				
5月	30	1			2			3	憲法記念日	4	みどりの日	5	こどもの日	6								
	7	8	有床義歯	体育	9			10	有床義歯	顎口腔実習	11	矯正歯科	小児歯科	12	歯冠修復	歯冠修復	13					
	14	15	(専任)		16			17	(専任)		18	(松本)	(児島)	19	(専任)	(専任)	20					
	21	22			23			24			25			26			27					
6月	28	29		有床	30			31	関係		1			2			3					
	4	5		体育	(専任)	6		7	法規		8	技工実習Ⅳ	技工実習Ⅳ	9			10					
	11	12		(松本)		13		14	(専任)		15	(多田)	矯正歯科	16	矯正実習	矯正実習	17					
	18	19		有床	20			21			22		矯正実習	23	(専任)	(専任)	24					
7月	25	26		体育	(専任)	27		28			29		30	小児実習	小児実習	1						
	2	3			4			5		矯正	6		8	(専任)	(専任)	9						
	9	10			11			12	小児実習	実習	13		14			15						
	16	17	海の日		18			19			20		21			22						
8月	23	24	有床義歯	体育	25			26	矯正実習	歯冠修復	27	進級試験		28	進級試験		29					
	30	31	歯冠修復	体育	修復	1		2			3		4			5						
	6	7			8			9			10		11	山の日		12						
	13	14			15			16			17		18			19						
9月	20	21			22			23			24		25			26						
	27	28			29			30			31		1	技工実習Ⅰ	技工実習Ⅰ	2						
	3	4	技工実習Ⅰ	体育	技1	5	技工実習Ⅱ	技工実習Ⅱ	6	理工学	技工	理工	7	理工学	技工実習Ⅱ	8	(専任)	(専任)				
	10	11	(専任)	体育		12	(専任)	(専任)	13	(佐々木)	実習	(井上)	14	(吉野)	(専任)	15		16				
10月	17	18	敬老の日		19			20			21		22			23						
	24	25	技工実習Ⅰ	体育	26			27			28		29			30						
	1	2	(専任)	(専任)	3			4			5		6			7						
	8	9	スポーツの日		10			11			12		13			14						
11月	15	16	技工実習Ⅰ	技工実習Ⅰ	17			18			19		20			21						
	22	23	(専任)	(専任)	24			25			26		27			28						
	29	30			31			1	技工実習Ⅰ		2		3	文化の日		4						
	5	6			7			8	(専任)		9		10			11						
12月	12	13			14			15			16	技工実習Ⅱ	17			18						
	19	20			21			22			技1	23	勤労感謝の日	24	総合試験		25					
	26	27	総合試験		28	総合試験		29	総合試験		30	総合試験		1	模擬試験	技1	2					
	3	4			5			6			7	技工実習Ⅱ	技工実習Ⅱ	8	技工実習Ⅱ	技工実習Ⅱ	9					
1月	10	11			12			13			14		15			16						
	17	18			19			20			21		22			23	大掃除					
	24	25			26			27			28		29			30						
	31	1			2			3			4		5			6						
2月	7	8	成人の日		9	技工実習Ⅲ	技工実習Ⅲ	10	技工実習Ⅱ	技工実習Ⅱ	11	技工実習Ⅲ	技工実習Ⅲ	12	技工実習Ⅲ		13					
	14	15	技工実習Ⅲ	技工実習Ⅲ	16			17			18			19			20					
	21	22			23			24			25			26			27					
	28	29			30			31			1			2			3					
3月	4	5			6			7			8			9			10					
	11	12	振替休日		13			14			15			16			17					
	18	19	国試	自己採点	大掃除	20			21					22			23					
	25	26			27			28			29			1	天皇誕生日		24					
3月	3	4			5			6			7			8			9					
	10	11			12			13			14			15			16					
	17	18			19			20	春分の日		21			22			23					
	24	25			26			27			28			29			30					

講義担当講師

学 科 目		担 当 講 師	教 科 書
歯 科 英 語		横 山 純 子	歯科技工士のための図解歯科英語・その他
スホ [°] -ツ・コミュニケーション		松 本 奈 保 美	
造 形 美 術 概 論		石 野 眞	デザインの色彩・美術鑑賞
造 形 美 術 基 礎 実 習			
歯 科 技 工 管 理 学 1	関 係 法 規	広 野 眞	歯科技工管理学(二学年) P132~P176
歯 科 技 工 管 理 学 2	歯 科 技 工 学 論 概	松 田 秀 司	
		中 畑 哲 也	歯科技工管理学 P2~P52
		広 野 眞	歯科技工管理学 P77~P129
		広 野 眞	歯科技工管理学 P53~P77
歯 の 解 剖 学		小 須 賀 知 顕	口腔・顎顔面解剖学 P2~P72
		林 訓 史	口腔・顎顔面解剖学 P73~P109
		園 田 眞 之	口腔・顎顔面解剖学 P112~P160
歯 の 解 剖 基 礎 実 習	歯 形 彫 刻 歯 冠 写 生	吉田萌香/水野良祐	歯の解剖学、歯の解剖 デッサンと歯型彫刻
顎 口 腔 機 能 学		朝 比 奈 圭	顎口腔機能学(二学年)
顎 口 腔 機 能 学 実 習		朝 比 奈 圭	
		吉 田 萌 香	
		水 野 良 祐	
歯 科 理 工 学		吉 野 慶 太	歯科理工学 P1~P83(二学年)
		井 上 敏	歯科理工学 P84~P105、P157~P195(二学年)
		佐 々 木 岳 文	歯科理工学 P106~P155(二学年)
歯 科 理 工 学 実 習		水野良祐/広野 眞	
有 床 義 歯 技 工 学		中 村 元 祐	有床義歯技工学 P3~P55
		神 庭 光 司	有床義歯技工学 P56~P102
		吉 田 達 彦	有床義歯技工学 P104~P172
		野 津 慶 太	有床義歯技工学 P173~P230
		入 江 洋	有床義歯技工学 P232~P273
有 床 義 歯 基 礎 実 習		水野良祐/広野 眞	
有 床 義 歯 技 工 学 実 習		広 野 眞	
歯 冠 修 復 技 工 学		三 原 和 彦	歯冠修復技工学 P1~P40
		尼ヶ崎知也	歯冠修復技工学 P41~P114
		児 島 高 徳	歯冠修復技工学 P115~P175
		手 銭 親 良	歯科技工学実習
歯 冠 修 復 基 礎 実 習		吉 田 萌 香 水 野 良 祐	
歯 冠 修 復 技 工 学 実 習		吉田萌香/水野良祐	
小 児 歯 科 技 工 学		児 島 高 徳	小児歯科技工学(二学年)
小 児 歯 科 技 工 学 実 習		吉田萌香/水野良祐	
矯 正 歯 科 技 工 学		松 本 龍 介	矯正歯科技工学(二学年)
矯 正 歯 科 技 工 学 実 習		吉田萌香/水野良祐	
歯 科 技 工 学 実 習 I	有 床 義 歯	吉田萌香/広野 眞	
歯 科 技 工 学 実 習 II	歯 冠 修 復	吉田萌香/水野良祐	
歯 科 技 工 学 実 習 III	解 剖 学	吉 田 萌 香	
		水 野 良 祐	
歯 科 技 工 学 実 習 IV	スホ [°] -ツ	多 田 宏	新マウスガードのつくり方(二学年)
		吉 田 萌 香	
		水 野 良 祐	

学科目と単位

分野	教育内容	学科目	時間数			単位	授業の種類	
			1年	2年	合計			
基礎分野	科学的思考の基礎 人間と生活	歯 科 英 語	30		30	2	講義	
		スホ [°] -ツ・コミュニケーション	30		30	1	実技	
		造 形 美 術 概 論	16		16	1	講義	
		造 形 美 術 基 礎 実 習	32		32	1	実習	
専門基礎分野	歯科技工と歯科医療	歯 科 技 工 管 理 学 1		16	16	1	講義	
		歯 科 技 工 管 理 学 2	40		40	2	講義	
	歯・口腔の構造と機能	歯 の 解 剖 学	24		60	4	講義	
			18					
			18					
		歯 の 解 剖 基 礎 実 習	88		88	2	実習	
	歯科材料・歯科技工 機器と加工技術	歯 科 理 工 学	40		90	6	講義	
			20					
			30					
		歯 科 理 工 学 実 習	44		44	1	実習	
専門分野		有床義歯技工学	有 床 義 歯 技 工 学	24		112	7	講義
				24				
	20							
	28							
	16							
	有 床 義 歯 基 礎 実 習		220		220	5	実習	
	有 床 義 歯 技 工 学 実 習		132	132	3	実習		
	歯冠修復技工学	歯 冠 修 復 技 工 学	20		76	5	講義	
			20					
			20					
			16					
		歯 冠 修 復 基 礎 実 習	352		352	8	実習	
	小児歯科技工学	小 児 歯 科 技 工 学		32	32	2	講義	
		小 児 歯 科 技 工 学 実 習		44	44	1	実習	
	矯正歯科技工学	矯 正 歯 科 技 工 学		32	32	2	講義	
		矯 正 歯 科 技 工 学 実 習		44	44	1	実習	
	歯科技工実習	歯 科 技 工 学 実 習 I		220	220	5	実習	
		歯 科 技 工 学 実 習 II		220	220	5	実習	
歯 科 技 工 学 実 習 III			132	132	3	実習		
歯 科 技 工 学 実 習 IV			32	32	1	実習		
合 計			1100	1186	2286	74		

授業科目	歯科英語	学年	1	担当教員	横山純子
		開設時期	前期9月・後期10-12月		
		単位数	2 [2h×15回]	実務経験と その関連資格	現英語教諭 (高普英語)
授業概要 授業内容	[授業の目的] 歯科英語を学ぶことを通じて、国内外での自身の歯科技工士としての活動を考え、またFaxやインターネットなど身近なコミュニケーション手段について理解を深め、必要な情報を収集分析できる力を身につける。				
	[到達目標] ・ 技工操作、技術習得に使用される語句を英語・日本語で表現できる。 ・ 日常の歯科臨床で頻繁に使用される語句を英語・日本語で表現できる。 ・ Web検索を理解し、携帯端末などを利用し基礎的な英文や日本語の翻訳ができる。 ・ 英語でのWeb検索について知り、海外のより詳細な情報に触れ、国際的情報化社会に対応できる。				
	[授業内容]				
	月日	内 容			
	9月6日	1 歯牙解剖 Dental Anatomy	(1) 鼓形空隙		
	9月13日	2 歯牙解剖 Dental Anatomy	(2) 前歯と奥歯 (3) 歯の構造		
	9月20日	3 歯牙解剖 Dental Anatomy 歯牙解剖 Dental Anatomy review	(4) 歯の発達		
	9月27日	4 口腔解剖 Oral Anatomy	(1) 頭蓋骨 (2) 下 顎		
	10月4日	5 口腔解剖 Oral Anatomy 口腔解剖 Oral Anatomy review	(3) 表情筋 (4) 三叉神経		
	10月11日	6 歯冠修復 Crown and Bridge Prosthetics 英会話 はじめてのあいさつ	(1) インレー (2) 継続歯冠		
	10月18日	7 歯冠修復 Crown and Bridge Prosthetics 歯冠修復 Crown and Bridge Prosthetics review	(3) 豊隆の型 (4) 橋 体 (5) インレ・窩洞形成の6つの基本的等級		
	10月25日	8 有床義歯 Plate Denture Prosthetics	(1) 義歯の再装着 (2) 義歯の裏装		
	11月1日	9 有床義歯 Plate Denture Prosthetics 有床義歯 Plate Denture Prosthetics review	(3) 歯のサバイヤー (4) 可撤式義歯の構成物 (5) 直接維持装置		
	11月8日	10 咬 合 Occlusion	(1) 支持咬頭 (2) 中心咬合位 (3) ゴシックアーチ		
	11月15日	11 咬 合 Occlusion 咬 合 Occlusion (1)-(6) review	(4) フェイスボウ (5) 顎関節 (6) 咀嚼筋		
	11月22日	12 咬 合 Occlusion (7)-(10) review 小児・矯正歯科 Pedodontic・Orthodontics	(7) 咬合器準備 (8) 作業側、平衡側、通路 (9) ベネット運動 (10) スライトインセントリック (1) アングルの分類		
11月29日	13 歯周病 Periodontics 歯周病 Periodontics review	(1) 歯 肉 (2) 歯周状態の分類 (3) 骨の吸収			
12月6日	14 歯科科学 Dental Science	(1) 応力・ひずみ (2) ファンデルワールスカ			
12月13日	15 歯科科学 Dental Science 歯科科学 Dental Science review 歯科材料 Dentaru Materials 歯科材料 Dentaru Materials review	(5) シリカ (6) 結晶化の仕組み (7) 金属焼付陶材法 (8) 寒天印象材 (1) サバイヤー (2) 鑄 造 (3) アクリルレジン (4) セメント			
講義場所	普通教室1 (1年生教室)				
テキスト 参考文献	[テキスト] 「歯科技工士のための歯科英語」野村順雄/編集 医歯薬出版株式会社 [教 材] 自作プリント(英会話、歯科技工士の英語の使い方) 音声教材CD				
評価方法	定期試験				

授業科目	スポ [°] -ツ・コミュニケーション	学年	1・2	担当教員	松本奈保美																																																																																		
		開設時期	前期																																																																																				
		単位数	2 [2h×15回]	実務経験と その関連資格	現スポーツ インストラクター (中2普保健体育)																																																																																		
授業の概要 授業の内容	<p>[授業の目的] 本校より授業場所へ時間厳守での移動ができ、個人(グループ)による用具の準備や終了後の保管場所への収納や清掃が 確実かつ主体的に行動できる。 スポーツを通じて健康と豊かな人間性を養い、学生同士のコミュニケーションを深め、態度、マナー、協調性などの社会性 を習得する。</p> <p>[到達目標] ・健康のための運動の実践と体力の向上。 ・集団行動における協調性、挨拶・礼儀などの道徳性や人格形成のコミュニケーションを養う。</p> <p>[授業内容]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>月日</th> <th>曜日</th> <th>時間</th> <th>利用施設</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4月10日</td> <td>月</td> <td>13:25~14:55</td> <td>総合体育館 メインアリーナ</td> <td rowspan="15">バスケットボール、ソフトテニス、 バドミントン、フットサル、ダンス、 卓球、テラピス、ヨガ等</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4月17日</td> <td>月</td> <td>13:25~14:55</td> <td>総合体育館 メインアリーナ</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4月24日</td> <td>月</td> <td>13:25~14:55</td> <td>総合体育館 メインアリーナ</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5月1日</td> <td>月</td> <td>13:25~14:55</td> <td>総合体育館 サブアリーナ</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5月8日</td> <td>月</td> <td>13:25~14:55</td> <td>総合体育館 メインアリーナ</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>6月5日</td> <td>月</td> <td>13:25~14:55</td> <td>総合体育館 サブアリーナ</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>6月12日</td> <td>月</td> <td>13:25~14:55</td> <td>総合体育館 メインアリーナ</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6月26日</td> <td>月</td> <td>13:25~14:55</td> <td>総合体育館 サブアリーナ</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>7月3日</td> <td>月</td> <td>13:25~14:55</td> <td>総合体育館 メインアリーナ</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>7月10日</td> <td>月</td> <td>13:25~14:55</td> <td>総合体育館 メインアリーナ</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>7月24日</td> <td>月</td> <td>13:25~14:55</td> <td>総合体育館 メインアリーナ</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>7月31日</td> <td>月</td> <td>13:25~14:55</td> <td>総合体育館 メインアリーナ</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>9月4日</td> <td>月</td> <td>13:25~14:55</td> <td>総合体育館 サブアリーナ</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>9月11日</td> <td>月</td> <td>13:25~14:55</td> <td>総合体育館 メインアリーナ</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>9月25日</td> <td>月</td> <td>13:25~14:55</td> <td>総合体育館 メインアリーナ</td> </tr> </tbody> </table>					回	月日	曜日	時間	利用施設	内容	1	4月10日	月	13:25~14:55	総合体育館 メインアリーナ	バスケットボール、ソフトテニス、 バドミントン、フットサル、ダンス、 卓球、テラピス、ヨガ等	2	4月17日	月	13:25~14:55	総合体育館 メインアリーナ	3	4月24日	月	13:25~14:55	総合体育館 メインアリーナ	4	5月1日	月	13:25~14:55	総合体育館 サブアリーナ	5	5月8日	月	13:25~14:55	総合体育館 メインアリーナ	6	6月5日	月	13:25~14:55	総合体育館 サブアリーナ	7	6月12日	月	13:25~14:55	総合体育館 メインアリーナ	8	6月26日	月	13:25~14:55	総合体育館 サブアリーナ	9	7月3日	月	13:25~14:55	総合体育館 メインアリーナ	10	7月10日	月	13:25~14:55	総合体育館 メインアリーナ	11	7月24日	月	13:25~14:55	総合体育館 メインアリーナ	12	7月31日	月	13:25~14:55	総合体育館 メインアリーナ	13	9月4日	月	13:25~14:55	総合体育館 サブアリーナ	14	9月11日	月	13:25~14:55	総合体育館 メインアリーナ	15	9月25日	月	13:25~14:55	総合体育館 メインアリーナ
	回	月日	曜日	時間	利用施設	内容																																																																																	
	1	4月10日	月	13:25~14:55	総合体育館 メインアリーナ	バスケットボール、ソフトテニス、 バドミントン、フットサル、ダンス、 卓球、テラピス、ヨガ等																																																																																	
	2	4月17日	月	13:25~14:55	総合体育館 メインアリーナ																																																																																		
	3	4月24日	月	13:25~14:55	総合体育館 メインアリーナ																																																																																		
	4	5月1日	月	13:25~14:55	総合体育館 サブアリーナ																																																																																		
	5	5月8日	月	13:25~14:55	総合体育館 メインアリーナ																																																																																		
	6	6月5日	月	13:25~14:55	総合体育館 サブアリーナ																																																																																		
	7	6月12日	月	13:25~14:55	総合体育館 メインアリーナ																																																																																		
	8	6月26日	月	13:25~14:55	総合体育館 サブアリーナ																																																																																		
	9	7月3日	月	13:25~14:55	総合体育館 メインアリーナ																																																																																		
	10	7月10日	月	13:25~14:55	総合体育館 メインアリーナ																																																																																		
	11	7月24日	月	13:25~14:55	総合体育館 メインアリーナ																																																																																		
	12	7月31日	月	13:25~14:55	総合体育館 メインアリーナ																																																																																		
	13	9月4日	月	13:25~14:55	総合体育館 サブアリーナ																																																																																		
	14	9月11日	月	13:25~14:55	総合体育館 メインアリーナ																																																																																		
15	9月25日	月	13:25~14:55	総合体育館 メインアリーナ																																																																																			
テキスト 参考文献	なし																																																																																						
評価方法	演習の実施状況(40%)、目標到達度(40%)、出席状況(20%)の総合評価で評価する。																																																																																						
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・運動のできる服装・体育館シューズで参加（*私服での参加は認めない。） ・授業が開始する10分前までに利用施設に集まる。 ・授業で使う道具の準備・片付けを2年生が行い、授業後の掃除を1年生が行う。 																																																																																						

授業科目	造形美術概論 造形美術基礎実習	学年	1		担当教員	石野 眞
		開設時期	後期			
		単位数	1 [4h×4回]	1 [4h×8回]	実務経験と その関連資格	元島根大学教授 (高2普美術)
授業の概要 授業の内容	<p>[授業の目的]</p> <p>歯科技工における繊細で精緻な手工技術習得のための基礎訓練として、形態の加工技術の基礎である点と直線と 曲線の集合で造形表現し、また光、陰、形態を観察し再現する自然物や用具のスケッチを行う。講義からはデザインと美術について理解を深め、人類の美術と造形とくらしのデザインを学ぶ。また、講義と実習から 造形表現の創造的な手法、感性豊かな表現を学び、更に、造形物の形の見え方、色、陰、光の方向などを観察し 科学的思考力を培い、造形物の形を論理的に考え理解し再現できる能力を身につけることで複雑な形態の集合体 である歯を造形する歯科技工技術習得に備える。</p> <p>[達成目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 美術と造形、デザインの歴史について理解を深める。 ・ 造形美術表現の基礎的な表現技術と創造的な手法、感性豊かな表現を習得する。 ・ 繊細で精緻な歯科技工技術習得のための基礎訓練と美的感覚とセンス並びに科学的・論理的思考力を磨く。 <p>[授業内容]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 歯科技工士科造形美術授業シラバス解説及び実習説明 歯科技工とダ・ヴィンチ作品修復：ロンドン・ナショナルギャラリー作品鑑賞 美術作品修復から歯科技工士の仕事の貴さを理解する。 実習基礎：色の線が織りなす美しい円・スロートサークル 2 ルーブル美術館・ミロのヴィーナスと黄金分割 精緻な線描：赤と青線のスロートサークル 3 自然を愛し仕事の重要性を説いた近代デザインの父・ウィリアム・モリス 自然物のていねいな写生：鉛筆写生とダ・ヴィンチ素描作品鑑賞 4 アールヌーボー：W・モリスからニューヨーク・ティファニーまで 宝石細工の精緻な仕事に学ぶ 自然物のていねいな写生：続 5 歯科技工と彫刻：ロダンの彫刻鑑賞 基本図形の作図と技工具写生 6 色彩：表色系と色環&色コマ実習 トータルカラーによる構成：45度斜線分割構成、10の方形 7 パウハウスと20世紀のデザイン：ヴァイマル・デッサウ・ベルリン トータルカラーによる構成：直線と曲線による構成 / 色彩感覚トレーニングとセンスアップ 8 西洋近代絵画 ルーブル美術館・パリテキストと筆記問題に学ぶ 鳥口と鳥口コンパスによる精緻な線描：直線と曲線 9 スウェーデンデザイン：王立芸術大学&ノーベル賞博物館 鳥口と鳥口コンパスによる精緻な線描：直線と曲線 10 パウハウスと20世紀のデザインについてヴァイマル・デッサウ・ベルリンのパウハウスの予備課程と工房作品から基礎と作品制作を学ぶ。 11 中世・近世の絵画からイタリア・ルネサンスを導いた画家マサッチョとジョット 鳥口と鳥口コンパスによる精緻な線描：直線と曲線 12 近代絵画の父・セザンヌと現代美術・モンドリアン作品をニューヨークMoMAに見る 実習作品をA3ファイルに収納 面接指導と評価を最終授業時に行う *実習課題の制作による研鑽を各自で時間外にも行う。 *講義と実習の準備と片付けは毎時全員で行う。 					
	講義場所	普通教室1(1年生教室) / 理工学検査室				
テキスト 参考文献	「美術鑑賞」-近代から現代へ、佐々木英也編集、日本文教出版株式会社。 「デザインと色彩」 授業時配布資料&島根デザイン連盟HP、ブログ HN: andyDL-103を参照。					
評価方法	造形美術基礎実習では実習作品、造形美術概論では筆記試験を評価方法とする。 (A3ファイルによる実習作品提出と筆記試験。)					
その他	島根県立美術館鑑賞及びコレクション展及び島根県展(11月中旬)鑑賞案内 実習のA3ケント紙、直線定規、三角定規、トータルカラーB6/65色350円を教室に準備します。 各自で準備する A3ファイル、カラーボールペン、赤と青の色鉛筆、スティックのり、カッター、セロハンテープ等については最初の授業で説明。					

歯科技工管理学 1

1単位 (2h×8回)

本学期的学習目標(GIO)

法律の概要を知り、衛生行政の意義とその組織を理解する。歯科技工士法を知り、説明できる。
歯科五法について概略を理解する。

学年	学期	曜日	時間	講義場所
2	前期 (6.7月)	水	9:15~10:45	普通教室2

教科書・参考書

著者・編者	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会(編)	最新歯科技工士教本 歯科技工管理学		医歯薬出版株式会社

担当者一覧(実務経験とその関連資格)

広野 真(歯科技工士)

成績評価

定期試験

オフィスアワー

12:25~13:25

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)
1	5/31	水	広野 真	ユニット1 衛生行政 GIO 法律、衛生行政の概要を理解する。	① 法律の概要を説明できる。 ② 衛生行政の意義を説明できる。 ③ 衛生行政の組織と活動を述べる。 ④ 歯科技工士法の目的を述べる。 ⑤ 歯科技工の法的定義を述べる。 ⑥ 歯科技工士の法的定義を述べる。 ⑦ 歯科技工所の法的定義を述べる。
				ユニット2 歯科技工士法(1) GIO 歯科技工士法の目的および法的定義を理解する。	
2	6/7			ユニット3 歯科技工士法(2) GIO 歯科技工士免許について理解する。	① 歯科技工士免許に関する法律を説明できる。
				ユニット4 歯科技工士法(3) GIO 歯科技工士試験について理解する。	
3	6/14			ユニット5 歯科技工士法(4) GIO 歯科技工の業務について理解する。	① 歯科技工業務の内容を説明できる。
				ユニット6 歯科技工士法(5) GIO 歯科技工所について理解する。 歯科技工に関する違反行為を理解する。	
4	6/21			ユニット7 医療法、歯科医師法、歯科衛生士法 GIO 医療法、歯科医師法、歯科衛生士法の目的を理解し、法的定義を把握する。	① 医療法の目的を説明できる。 ② 病院と診療所の法的定義を述べる。 ③ 歯科医師法の目的を説明できる。 ④ 歯科医師の任務を説明できる。 ⑤ 歯科衛生士法の目的を述べる。 ⑥ 歯科衛生士の法的定義を述べる。
				ユニット8 歯科技工士法および付属法令(1) GIO 歯科技工士法について総合的に理解する。	
5	6/28			ユニット9 歯科技工士法および付属法令(2) GIO 歯科技工士法について総合的に理解する。	① 各試験問題の解答を通じて歯科技工士法を説明できる。
		6	7/5	7	
7	7/12	8	7/19		

歯科技工管理学2

2単位 (2h×9回)
(2h×5回)
(2h×6回)

本学期的学習目標(GIO)

- ・医療と歯科医療の特異性を知り、その場での歯科技工士の役割について説明できる。
- ・歯科技工士として必要な歯科技工学の分類と目的を理解する。
- ・医の倫理を知り、医科、歯科、歯科技工それぞれを説明できる。
- ・歯科臨床と歯科技工の関係を知り、歯科疾患と治療の概要を理解する。
- ・歯科技工の作業環境やその業務の運営を理解する。

学年	学期	曜日	時間	担当者	講義場所
1	前期 (4~6月)	木	15:05~16:35	中畑哲也	普通教室1
	前期(6.7月)	月	13:25~14:55 15:05~16:35	広野 真	
	前期(6.7月)	木	13:25~14:55	広野 真	

教科書・参考書

著者・編者	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会(編)	最新歯科技工士教本 歯科技工管理学		医歯薬出版株式会社

担当者一覧(実務経験とその関連資格)

中畑哲也(開業歯科医師) 広野 真(歯科技工士)

成績評価

定期試験

オフィスアワー

12:25~13:25

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)
1	4/6	木	中畑哲也	ユニット1 概要説明 GIO 歯科医療の特徴について理解する。	① 専門用語などに慣れ親しむよう心がける。 ② う蝕、歯周病の原因について説明できる。
				ユニット2 歯科医療と歯科技工(1) GIO 医療と歯科医療について理解する。	① 医療の目的を説明できる。 ② インフォームド・コンセントについて説明できる。 ③ EBMの必要性を説明できる。 ④ QOLとADLとの関連性を説明できる。
ユニット3 歯科医療と歯科技工(2) GIO 歯科医療の目的を理解する。 歯科医療機関の役割を理解する。 歯科医療関係職種を理解する。 歯科技工と歯科技工学について理解する。	① 歯科医療の目的を説明できる。 ② 多職種との連携とチーム医療について説明できる。 ③ チーム医療でのコミュニケーション力の必要性を認識する。 ④ 歯科医療の特異性を説明できる。				
ユニット4 歯科技工士の役割 GIO 歯科技工士の役割を理解する。	① 歯科技工士の業務を説明できる。 ② 歯科技工士に必要な倫理を述べる。 ③ 日本と世界の歯科技工士の現状を説明できる。				
ユニット5 歯および口腔組織の形態と機能 GIO 顔の形態と機能を理解する。 口腔の形態を知る。 口腔の機能を知る。	① 顔の形態と機能を説明できる。 ② 歯と歯列の形態を概説できる。 ③ 歯と歯周組織の構造を説明できる。				
ユニット6 歯周疾患と歯周組織の変化(1) GIO 歯の異常について理解する。 歯列不正・咬合の異常について知る。	① 口腔の機能を概説できる。				
2	4/13				
3	4/20				
4	4/27				
5	5/11				
6	5/18				

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)		
7	5/25	木	中畑哲也	ユニット7 歯周疾患と歯周組織の変化(2)	① 歯の異常を概説できる。 ② 硬組織疾患の種類と特徴を説明できる。		
				GIO 歯および硬組織の異常について理解する。 歯髄の疾患について知る。 歯周組織疾患について知る。			
				ユニット8 歯周疾患と歯周組織の変化(3)			
8	6/1			GIO 顎関節症を知る。 舌および口腔軟組織疾患を知る。 顎骨および顔面の疾患を知る。 歯の喪失に伴う歯周組織の変化を理解する。	① 齲蝕発症の要因を列挙できる。 ② 歯周組織疾患の種類と特徴を説明できる。 ③ 歯の喪失に伴う歯周組織の変化を説明できる。		
				ユニット9 歯周疾患と歯周組織の変化(4)			
				GIO 歯科疾患の現状を知る。			
9	6/8					① 歯科疾患の現状を述べる。	
1	6/26			月	広野 真	ユニット1 歯科臨床と歯科技工(1)	① 硬組織疾患の治療に適用する補綴装置の種類と特徴を列挙できる。 ② 歯の欠損に適用する補綴装置の種類と特徴を列挙できる。
						GIO 硬組織疾患と歯科技工について理解する。 歯の欠損と歯科技工について理解する。 歯周疾患と歯科技工について知る。 歯列不正と歯科技工について知る。	
		ユニット2 歯科臨床と歯科技工(2)					
		GIO 口腔外科疾患と歯科技工について知る。 顎関節症と歯科技工について知る。 スポーツ歯科と歯科技工について知る。 歯科技工のデジタル化について知る。					
		ユニット3 歯科技工基礎概説					
		GIO 口腔・顎顔面解剖学について理解する。 歯科理工学について理解する。					
2	7/3			① 口腔外科疾患の治療後に適用する装置の特徴を説明できる。			
3	7/10						
4	7/24						
5	7/31						
1	6/8	木	広野 真	ユニット1 歯科技工の運営と管理	① 歯科技工を行うのに適切な作業環境を説明できる。 ② 歯科補綴装置等品質管理と品質保証を説明できる。 ③ 歯科補綴装置等のトレーサビリティを説明できる。 ④ 歯科技工作業における感染防止を説明できる。		
				GIO 歯科技工の作業環境を理解する。 歯科技工業務の運営について理解する。 歯科技工における衛生管理を知る。			
				ユニット2 口腔と全身の健康管理			
				GIO 加齢現象を知る。咀嚼と健康を知る。 歯及び口腔の衛生管理について理解する。 健康政策を知る。災害時の 歯科医療を知る。			
				ユニット3 情報リテラシー			
				GIO ハードウェア・ソフトウェアについて知る。			
2	6/15						
3	6/22			① 口腔が全身の健康に及ぼす影響を説明できる。 ② 我が国の健康政策を説明できる。			
4	6/29						
5	7/6			① コンピューターを構成する基本的装置の名称を列挙できる。 ② ワードプロソフト、表計算ソフト及びプレゼンテーションソフト使用できる。 ③ ソフトウェアの使用上のルールとマナーについて説明できる。 ④ 電子メールの送信、受信及び転送ができる。 ⑤ インターネットのブラウザ検索ソフトで、ウェブサイトにアクセスできる。 ⑥ ネットワークセキュリティと使用上のマナーについて説明できる。			
		ユニット4 コミュニケーション					
6	7/13		GIO コミュニケーションの概要を知る。 接遇とマナーを知る。 身だしなみについて知る。	① コミュニケーションの定義を説明できる。 ② コミュニケーションの種類を分類できる。 ③ 適切な伝達法を選択できる。 ④ 医療従事者として適切な身だしなみを身につける。			

歯の解剖学

4単位 (4h×6回+2回)
(2h×9回)
(2h×9回)

本学期的学習目標(GIO)

歯の形態を十分に理解し、歯の発生、加齢、歯周、頭蓋の骨及び口腔周囲の筋について習得する。

学年	学期	曜日	時間	担当者	講義場所
1	前期 (4~5月)	木	9:15~10:45 10:55~12:25	小須賀知顕	普通教室1
	前期 (4~6月)	水	13:25~14:55	林 訓史	
	前期 (5~7月)	火	9:15~10:45	園田真之	

教科書・参考書

著者・編者	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会(編)	最新歯科技工士教本 口腔・顎顔面解剖学		医歯薬出版株式会社

担当者一覧(実務経験とその関連資格)

小須賀知顕(開業歯科医師) 林 訓史(開業歯科医師) 園田真之(開業歯科医師)

成績評価

定期試験

オフィスアワー

講義終了後10分間

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)
1	4/6	木	小須賀知顕	ユニット1 歯の概説(1) GIO 歯の概説について理解する。	① 歯の生物学的特性を述べる。 ② 歯の外形と内形を説明できる。 ③ 歯の種類と名称を列挙できる。 ④ 歯の記号と歯式の表示法を説明できる。
				ユニット2 歯の概説(2) GIO 歯の基本的構造について理解する。	① 歯の方向と部位を表す用語を説明できる。 ② 歯の形態を説明できる。 ③ 歯の植立様式を説明できる。 ④ 永久歯の形態的特徴を列挙できる。 ⑤ 歯の組織の基本的構造を説明できる。 ⑥ 歯周組織の基本的構造を説明できる。
ユニット3 永久歯の形態(1) GIO 切歯、犬歯の形態、切歯の特徴について理解する。	① 種類と名称を列挙できる。 ② 形態を説明できる。 ③ 形態的特徴を列挙できる。 ④ 数、形態および色の異常について説明できる。				
ユニット3 永久歯の形態(2) GIO 犬歯の特徴について理解する。	① 形態的特徴を列挙できる。 ② 数、形態および色の異常について説明できる。				
ユニット4 永久歯の形態(3) GIO 小臼歯の形態について理解する。	① 種類と名称を列挙できる。 ② 形態を説明できる。				
ユニット5 永久歯の形態(4) GIO 小臼歯の特徴について理解する。	① 形態的特徴を列挙できる。 ② 数、形態および色の異常について説明できる。				

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)		
7	5/25	木	小須賀知顕	ユニット6 永久歯の形態(5)	① 種類と名称を列挙できる。 ② 形態を説明できる。 ③ 形態的特徴を列挙できる。 ④ 数、形態および色の異常について説明できる。		
				GIO 大臼歯の形態、特徴について理解する。			
8	6/1			ユニット7 乳歯の形態	① 歯の生物学的特性を述べる。 ② 歯の外形と内形を説明できる。 ③ 歯の種類と名称を列挙できる。 ④ 歯の形態を説明できる。 ⑤ 歯の組織の基本的構造を説明できる。		
				GIO 乳歯の形態、特徴について理解する。			
1	4/12			水	林 訓史	ユニット1 歯と歯周組織(1)	① 歯周組織の基本的構造を説明できる。
2	4/19					GIO 歯の組織について理解する。	
3	4/26					ユニット2 歯と歯周組織(2)	① 歯と歯周組織の加齢変化を説明できる。 ② 顎口腔の加齢現象を説明できる。
						GIO 歯の組織について理解する。	
4	5/10	ユニット3 歯の異常(1)	① 歯の数、大きさの異常について説明できる。 ② 歯の重複について説明できる。				
		GIO 歯の異常について理解する。					
5	5/17	ユニット4 歯の異常(2)	① 歯の形態、歯根および色の異常について説明できる。 ② 萌出の異常について説明できる。				
		GIO 歯の異常について理解する。					
6	5/24	ユニット5 歯列・咬合(1)	① 歯列弓について説明できる。 ② 歯列弓の彎曲について説明できる。 ③ 接触点と歯隙について説明できる。 ④ 歯間隙について説明できる。				
		GIO 歯列や歯の接触について理解する。					
7	5/31	ユニット6 歯列・咬合(2)				① 上下の歯の接触について説明できる。 ② 上下顎切歯の咬合の形について説明できる。	
		GIO 歯の咬合について理解する。					
8	6/7	ユニット7 歯の発生	① 歯の発生、発育および交換の過程を説明できる。 ② 歯の組織の基本的構造を説明できる。				
		GIO 歯の発生について理解する。					
9	6/14						
1	5/23	火	園田真之	ユニット1 頭蓋の骨(1)	① 頭蓋骨の構造を説明できる。 ② 顎口腔の神経支配を概説できる。		
2	5/30			GIO 脳頭蓋骨について理解する。			
3	6/6			ユニット2 頭蓋の骨(2)	① 頭蓋骨の構造を説明できる。 ② 顎口腔の神経支配を概説できる。		
				GIO 顔面頭蓋骨について理解する。			
4	6/13			ユニット3 頭蓋の骨(3)	① 頭蓋骨の構造を説明できる。 ② 顎口腔の神経支配を概説できる。		
				GIO 頭蓋の全景について理解する。			
5	6/20			ユニット4 口腔周囲の筋	① 顎顔面の筋の形態的特徴と機能を説明できる。 ② 顎口腔の神経支配を概説できる。		
				GIO 口腔周辺の筋について理解する。			
6	6/27			ユニット5 顎関節	① 顎関節の構造と機能を説明できる。		
		GIO 顎関節について理解する。					
7	7/4	ユニット6 口腔	① 口腔と口蓋の構造を説明できる。 ② 顎口腔の神経支配を概説できる。 ③ 唾液腺の役割と存在部位を説明できる。 ④ 舌の構造と役割を説明できる。				
		GIO 口腔について理解する。					
8	7/11						
9	7/18						

回	月日	曜日	限	項目	内容
1	4月6日	木	③	歯冠写生	歯の計測-ノギスの使い方について-、歯のデッサン-書き方について-
2	4月10日	月	①②	歯形彫刻	石膏ブロックの製作 器具・材料の取り扱い方、作業姿勢、手指の使い方の説明
3					
4	4月13日	木	③	歯冠写生	(1)歯の計測とデッサン [4倍模型]
5	4月17日	月	①②	歯形彫刻	(1)歯形彫刻 [1.5倍模型] (1)角柱の彫り出し(2)各面デッサンと投影(3)外形多面体の形成①
6					
7	4月20日	木	③	歯冠写生	(1)歯の計測とデッサン [4倍模型]
8	4月24日	月	①②	歯形彫刻	(1)歯形彫刻 [1.5倍模型] (4)外形多面体の形成②(5)舌側面多面体の形成
9					
10	4月27日	木	③	歯冠写生	(1)歯の計測とデッサン [4倍模型]
11	★ 5月1日	月	①②	歯形彫刻	(1)歯形彫刻 [1.5倍模型] (6)外形の仕上げ(7)隆線の付与と細部の仕上げ
12					
16	5月8日	月	①②	歯形彫刻	(3)歯形彫刻 [1.5倍模型] (1)角柱の彫り出し(2)各面デッサンと投影(3)外形多面体の形成①
17					
13	5月11日	木	③	歯冠写生	(3)歯の計測とデッサン [4倍模型]
16	5月15日	月	①②	歯形彫刻	(3)歯形彫刻 [1.5倍模型] (4)外形多面体の形成②(5)舌側面多面体の形成
17					
14	★ 5月22日	月	①②	歯形彫刻	(3)歯形彫刻 [1.5倍模型] (6)外形の仕上げ(7)隆線の付与と細部の仕上げ
15					
18	5月23日	火	③	歯冠写生	(3)歯の計測とデッサン [4倍模型]
19	5月29日	月	①②	歯形彫刻	(4)歯形彫刻 [1.5倍模型] (1)角柱の彫り出し(2)各面デッサンと投影(3)外形多面体の形成①
20					
21	5月30日	火	②	歯冠写生	(4)歯の計測とデッサン [4倍模型]
23	6月5日	月	①②	歯形彫刻	(4)歯形彫刻 [1.5倍模型] (4)外形多面体の形成②(5)咬合面多面体の形成
24					
22	6月6日	火	③	歯冠写生	(6)歯の計測とデッサン [4倍模型]
27	★ 6月12日	月	①②	歯形彫刻	(4)歯形彫刻 [1.5倍模型] (6)外形の仕上げ(7)隆線、副溝の付与と細部の仕上げ
28					
26	6月13日	火	②	歯冠写生	(6)歯の計測とデッサン [4倍模型]
30	6月19日	月	①②	歯形彫刻	(6)歯形彫刻 [1.5倍模型] (1)角柱の彫り出し(2)各面デッサンと投影(3)外形多面体の形成①
31					
29	6月20日	火	②	歯冠写生	(6)歯の計測とデッサン [4倍模型]
32	6月26日	月	①②	歯形彫刻	(6)歯形彫刻 [1.5倍模型] (4)外形多面体の形成②(5)咬合面多面体の形成
35					
38	6月27日	火	②	歯冠写生	(4)歯の計測とデッサン [4倍模型]
33	★ 7月3日	月	①②	歯形彫刻	(6)歯形彫刻 [1.5倍模型] (6)外形の仕上げ(7)隆線、副溝の付与と細部の仕上げ
34					
36	7月4日	火	②	歯冠写生	(4)歯の計測とデッサン [4倍模型]
39	7月10日	月	①②	歯冠写生	(5)歯の計測とデッサン [4倍模型] (5)歯の計測とデッサン [4倍模型]
40					
41	7月11日	火	②	歯冠写生	(6)歯の計測とデッサン [4倍模型]
44	7月18日	火	②	歯冠写生	(6)歯の計測とデッサン [4倍模型]
42	7月24日	月	①②	歯冠写生	(6)歯の計測とデッサン [4倍模型]
43					

顎口腔機能学

1単位 (4h×4回)

本学期的学習目標(GIO)

顎関節の形態、顎口腔の機能、顎運動、咬合器、修復物の咬合について習得する。

学年	学期	曜日	時間	講義場所
2	前期	水	13:25~14:55 15:05~16:35	普通教室2

教科書・参考書

著者・编者	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会(編)	最新歯科技工士教本 顎口腔機能学		医歯薬出版株式会社

担当者一覧(実務経験とその関連資格)

朝比奈 圭(開業歯科医師)

成績評価

定期試験

オフィスアワー

講義終了後10分間

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)
1	4/5	水	朝比奈 圭	ユニット1 顎口腔系の基本構造 GIO 顎口腔系の基本的構造を理解する。	① 歯列と咬合の関係を説明できる。 ② 顎顔面の筋の形態的特徴と機能を説明できる。 ③ 顎関節の構造と機能を説明できる。 ④ 顎口腔の神経支配を概説できる。
				ユニット2 顎口腔系の機能 ユニット3 下顎位 GIO 顎口腔系の機能を理解する。	
ユニット4 下顎運動 ユニット5 歯の接触様式(1) GIO 下顎運動について理解する。	① 咬合に関与する平面を説明できる。 ② 下顎位の定義を説明できる。 ③ 下顎の基本運動の種類と特徴を説明できる。 ④ 下顎の限界運動を説明できる。 ⑤ 下顎の機能運動を説明できる。 ⑥ 機能咬頭、非機能咬頭および被蓋関係を説明できる。 ⑦ 咬頭嵌合位の咬合接触を説明できる。				
ユニット5 歯の接触様式(2) ユニット6 咬合器 GIO 歯の接触様式について理解する。 ユニット7 咬合検査と顎機能障害 GIO 咬合検査と顎機能障害について理解する。				① 偏心位の咬合接触を説明できる。 ② 咬合干渉の種類と原因を列挙できる。 ③ 咬合器の種類、機構および使用目的を説明できる。 ④ フェイスボウの取り扱いを説明できる。 ⑤ 咬合採得の手順を列挙できる。 ⑥ 咬合器の使用手順と調節方法を説明できる。 ⑦ 咬合検査と顎機能障害を説明できる。	
2	4/12				
3	4/19				
4	7/12				

顎口腔機能学実習

1単位 (4h×11回)

本学期的学習目標(GIO)

フェイスボウトランスファー、半調節性咬合器の調整、ゴシックアーチ描記、スプリントの製作を通じて下顎運動や咬合について理解を深める。

学年	学期	曜日	時間	講義場所
2	前期	水	13:25~14:55 15:05~16:35	技工実習室

教科書・参考書

著者・编者	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会(編)	最新歯科技工士教本 顎口腔機能学		医歯薬出版株式会社
	コンプリートデンチャーテクニック	第6版	医歯薬出版株式会社

担当者一覧(実務経験とその関連資格)

朝比奈 圭(開業歯科医師) 吉田 萌香(歯科技工士) 水野良祐(歯科技工士)

成績評価

提出作品(作業結果)

使用材料

フェイスボウ、半調節性咬合器、ゴシックアーチ描記装置 他

オフィスアワー

12:25~13:25

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)
		水	朝比奈 吉田	ユニット1 各自個人トレーの製作 GIO 個人トレーの製作手順を知る。 臨床的な個人トレーが製作できる。	① トレーの外形線が設定できる。 ② 研究用模型上のアンダーカット部などの修正ができる。 ③ スペースとストッパーについて知り付与できる。 ④ 常温重合レジンと練和し圧接できる。 ⑤ 形態修正と研磨ができる。 ⑥ 把持部の形態について知り付与できる。 ⑦ 必要に応じて保持孔を付与する。
			吉田		
1	4/26	水	朝比奈 吉田	ユニット2 印象採得と作業模型の製作 GIO 適切な作業模型が製作できる。	① アルジネート印象材に石膏が注入できる。 ② 模型を適切な形態にトリミングできる。 ③ 不要な気泡などを除去できる。 ④ 適切な作業用模型が製作できる。
2	5/10 5/17		吉田		
3	6/14	水	朝比奈 吉田	ユニット3 フェイスボウトランスファー ユニット4 下顎模型の装着 GIO フェイスボウの取り扱いを説明できる。	① フェイスボウ装着に必要な基準点を知る。 ② フェイスボウを装着できる。 ③ フェイスボウトランスファーを理解し上顎模型を装着する。 ④ 咬合採得を知り下顎模型を装着する。
4				ユニット5 チェックバイトと顎路角の調節 ユニット6 ゴシックアーチについて GIO チェックバイトについて説明できる。 使用する咬合器の構造を知り顎路角の調節ができる。	

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	
5	6/21	水	朝比奈 吉田	ユニット7 ゴシックアーチ	① ゴシックアーチ描記装置を模擬的に装着するための模型を作製する。 ② ゴシックアーチ描記装置を装着する。 ③ ゴシックアーチを描記する。	
6				GIO ゴシックアーチについて説明できる。 ゴシックアーチ描記装置の構成と用途を知る。		
7						
8	6/28			ユニット8 スタビライゼーションスプリント	① 外形線を記入する。 ② ワックス圧接後外形線に沿ってトリミングする。 ③ フラットテーブルについて理解し形成できる。 ④ 対合歯列と点接触させるよう形成する。 ⑤ 犬歯誘導について理解し形成する。 ⑥ 埋没・重合・研磨ができる。 ⑦ 咬合調整方法について理解し、咬合器上で行う。 ⑧ 口腔内調整する。	
9				GIO オクルーザルスプリントの種類と特徴を説明できる。 スタビライゼーションスプリントが製作できる。		
10	7/5					
11	7/19		朝比奈	ユニット9 顎口腔機能学総合		① 実習でを使用した教材について種類、使用方法、目的を知る。 顎口腔機能学の各項目について説明できる。
				GIO 顎口腔機能学について総合的に理解する。		

歯科理工学

6単位 (4h×10回)
(2h×10回+2回)
(2h×15回+1回)

本学期的学習目標(GIO)

歯科技工における歯科理工学の概略について理解する。以下材料の性質について知識を深め、その特徴と安全性を理解し、品質の検査や評価について知る。

学年	学期	曜日	時間	担当者	講義場所
2	後期	木	13:25~14:55 15:05~16:35	吉野慶太	普通教室1
	後期	水	15:05~16:35	井上 敏	
	後期	水	9:15~10:45 10:55~12:25	佐々木岳文	

教科書・参考書

著者・编者	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会(編)	最新歯科技工士教本 歯科理工学		医歯薬出版株式会社

担当者一覧(実務経験とその関連資格)

吉野慶太(勤務歯科医師) 金岡春孝(開業歯科医師) 佐々木岳文(開業歯科医師)

成績評価

定期試験

オフィスアワー

講義終了後10分間

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)
1	9/7	木	吉野慶太	ユニット1 歯科技工と歯科理工学 歯科理工学の意義と目的について理解する。	① 歯科理工学の意義と目的を説明できる。
				ユニット2 歯科材料の性質(1) GIO 物質の構造、機械的性質について理解する。	① 材料の機械的特性を説明できる。
ユニット3 歯科材料の性質(2) GIO 物理学的性質について理解する。 GIO 化学的性質について理解する。	① 材料の物理的性質を説明できる。 ② 生体材料に要求される化学的性質を説明できる。				
ユニット5 歯科材料の性質(3) GIO 生物学的性質について理解する。	① 生体材料に要求される生物学的性質を説明できる。 ② 歯科技工に必要な接着の原理と方法を説明できる。				
ユニット6 印象と模型製作(1) GIO 印象材の種類と所要性質について理解する。	① 印象材の種類と所要性質を説明できる。 ② 印象材に必要な物理的・化学的性質を説明できる。 ③ 印象材と模型との関係を述べる。				
ユニット7 印象と模型製作(2) GIO 模型材の種類と所要性質について理解する。	① 種類を列挙できる。 ② 石膏の物理的性質を説明できる。				
2	9/14				
3	9/21				
4	9/28				
5	10/5				
6	10/12				

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)		
7	10/19	吉野慶太		ユニット8 原型製作(1)	① 種類と用途を説明できる。		
				GIO 原型材料の種類とその用途について理解する。			
8	10/26			ユニット9 原型製作(2)	① ワックスの組成と性質を説明できる。		
				GIO 歯科用ワックスの性質について理解する。			
9	11/2			ユニット10 レジン成型(1)	① 義歯床用レジンの種類、組成および性質を説明できる。 ② 義歯床用レジンの重合法と重合反応を説明できる。 ③ 義歯床用レジンの成形法を説明できる。		
				GIO 義歯床用レジンの種類、組成および性質について理解する。			
10	11/9			ユニット11 レジン成型(2)	① レジン材料の用途を説明できる。 ② 人工歯の種類と性質を説明できる。 ③ 義歯裏装材の種類と性質を説明できる。 ④ 歯冠用硬質レジンの組成と性質を説明できる。 ⑤ 歯冠用硬質レジンと金属との接着の原理・方法を説明できる。		
				GIO 義歯床用関係材料の用途、歯科用硬質レジンの組成と性質について理解する。			
1	9/6			井上 敏		ユニット1 セラミック成形(1)	① 歯科用陶材の種類と組成を列挙できる。 ② 歯科用陶材の成形法を説明できる。 ③ 歯科用陶材の性質を説明できる。
2	9/13					GIO 歯科用セラミックスの種類と組成を把握し、成形法を把握する。	
3	9/27						
4	10/4	ユニット2 セラミック成形(2)	① 金属焼付用陶材における金属との結合を説明できる。				
		GIO 金属焼付用陶材の金属との関係について理解する。					
5	10/11	ユニット3 セラミック成形(3)	① オールセラミックスクラウン用陶材の種類と成形法を説明できる。 ② ジルコニアの種類と成形法を説明できる。				
		GIO 加熱加圧型セラミックス、ジルコニアの種類と成形法について理解する。					
1	9/6	佐々木岳文				ユニット1 金属成形(1)	① 合金の所要性質を説明できる。
				GIO 歯科用合金の所要性質を理解する。			
2	9/13			ユニット2 金属成形(2)	① 金合金の種類、組成、性質および用途を説明できる。 ② 銀合金の種類、組成、性質および用途を説明できる。 ③ コバルトクロム合金の種類、組成、性質および用途を説明できる。 ④ チタンとチタン合金の種類、組成、性質および用途を説明できる。		
				GIO 金属の種類、組成、性質および用途について理解する。			
3	9/20						
4	9/27			ユニット3 金属成形(3)	① 鋳造収縮と補正を説明できる。 ② 埋没材の種類・性質、埋没操作および鋳型加熱を説明できる。 ③ 合金の融解と鋳込み方法を説明できる。 ④ 鋳造機の種類を列挙できる。 ⑤ 鋳造欠陥の種類、原因および対策を説明できる。		
				GIO 鋳造について理解する。			
5	10/4						
6	10/11						
7	10/18	ユニット4 金属成形(4)	① 合金の接合方法を説明できる。 ② レーザー溶接の原理と使用方法を説明できる。 ③ 合金の加工法と熱処理を説明できる。				
		GIO 金属の加工、接合および合金の熱処理について理解する。					
8	10/25						

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)
6	10/18	水	井上 敏	ユニット4 その他の歯科材料 GIO 歯科材料の基礎知識を理解し、歯科技工操作を修得できる	① 歯科技工に関連したその他の材料について説明できる。 ② 歯科用セメントの基礎知識を学び、歯科技工に応用できる。 ③ 歯科医療に携わる者として成形修復物を理解する。
7	10/25			ユニット5 補綴装置と修復物の仕上げ(1) GIO 研磨の意義、目的を理解し、原理と方法を把握する。	① 表面仕上げの意義と目的を説明できる。 ② 切削・研削・研磨用材料と器械の取り扱い方を説明できる。 ③ 研磨の原理と方法を説明できる。
8	11/1				
10	11/8			ユニット6 新しい加工技術 GIO 歯科用CAD/CAMシステムの構造、特徴を理解する。	① 歯科用CAD/CAMシステムの構成と特徴を概説できる。
11					
12	11/15			ユニット7 補綴装置と修復物の安定性 GIO 歯科材料の安定性について理解し、技工作業に応用できる。	① レジン、セラミックス、金属の安定性について説明できる。 ② レジンの化学的溶解や劣化を学び、技工作業に応用できる。 ③ セラミックスの熱的変化や機械的性質の安定性を学び、技工作業に応用できる。 ④ 金属の変色や腐食を学び、歯科技工に応用できる。

理工学実習

1単位 (4h×11回)

本学期的学習目標(GIO)

歯科理工学実習を通して歯科用機械・器具・材料を使用することにより、それぞれのものに対する理解を深め実習に必要な基本操作ができるようになる。

学年	学期	曜日	時間	講義場所
1	前期(4~6月)	金	9:15~10:45 10:55~12:25	基礎実習室

教科書・参考書

著者・编者	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 歯科理工学	第1版	医歯薬出版

担当者一覧(実務経験とその関連資格)

水野良祐(歯科技工士) 広野 真(歯科技工士)

成績評価

提出作品

使用器材

別紙(歯科理工学実習器材)

オフィスアワー

12:30~13:20

* 回数は半日の実習を1回とする。

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)
1	5/12	金	広野 真 水野良祐	義歯床用レジン	① 作業用模型製作に必要な機材を準備する。 ② 石膏練和、注入を実施する。
				ユニット1 レジン適合実験作業模型の製作	
2	5/19			GIO 模型製作の基礎を理解する。	
3	5/26			ユニット2 パラフィンワックスの圧接 ワックス形態修正	① ワックスを模型に圧接する。 ② 圧接したワックスの形態修正を行う。 ③ フラスクへの埋没法を理解する。
				ユニット3 模型A、1次埋没 模型A、2次、3次埋没	
4	6/2			GIO レジンの重合の作業工程を理解する。	模型Aを通常模型、模型Bを急冷模型とする。
5	6/9			ユニット4 模型A、脱蠟・重合 ユニット5 模型B、1次埋没 模型B、2次3次埋没	① 脱蠟機、プレス器の使用方法を理解する。 ② 模型Aの手順で1次埋没を行える。 ③ 重合の温度管理を行う。 ④ 模型Aの手順で2次、3次埋没を行える。
				GIO レジンの重合の作業を理解する。	
6	6/16			ユニット6 模型B、脱蠟・重合 ユニット7 模型A、割り出し・研磨	① 模型Aの手順で脱蠟・重合を行える。 ② 模型Aの割り出しを行う。 ③ 模型Aの研磨を行う。
				GIO レジンの研磨の方法と使用道具を理解する。	
7	6/23			ユニット8 模型B、割り出し・研磨 ユニット9 仕上げ	① 模型Aの手順で割り出しと研磨を行える。 ② レジンの仕上げ研磨を行い、技工作業を終了し、本実験の目的を理解する。
		GIO 研磨の手順と目的を理解する。 重合条件を変えた場合の適合度の違いを理解できる。			

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)		
8	6/30	金	広野 真 水野良祐	歯科材料	① 印象採得の方法を理解する。		
				ユニット10 ポーセレンインレーの印象採得 GIO 印象材の使用法と特性を理解する。			
ユニット11 作業用模型製作 ユニット12 炉口乾燥 GIO 作業模型の製作方法と、ポーセレンファーネスの使用法を理解する。	① 耐火模型の注入、作業模型の製作ができる。 ② 炉口乾燥を行い、ポーセレンファーネスの使用法を理解する。						
ユニット13 ポーセレンインレーの製作 GIO ポーセレン築盛法と、熱収縮の実際を知る。	① デンティン色陶材の築盛を行う。 ② デンティン色陶材築盛時のポーセレンファーネスの使用ができる。						
ユニット14 エナメル色陶材の築盛 ユニット15 つや出し焼成・仕上げ GIO つや出し焼成を行い、作業の手順を理解する。ポーセレンインレーを製作できる。	① 作業用模型を咬合器に装着できる。 ② エナメル色陶材の築盛時のファーネスの使用ができる。 ③ グレーズ焼成を行える。						
9	7/8						
10	7/14						
11	7/21						

有床義歯技工学

7単位 (4h×6回) (4h×5回)
(4h×6回) (4h×7回)
(4h×4回)

本学期的学習目標(GIO)

有床義歯に関する知識を理解し、有床義歯製作の技術を習得する。

学年	学期	曜日	時間	担当者	講義場所
1	前期(6.7月)	水	9:15~10:45 10:55~12:25	中村元祐	普通教室1
	前期(9月) 後期(10月)	木	9:15~10:45 10:55~12:25 13:25~14:55 15:05~16:35	神庭光司	普通教室1
	後期 (10.11月)	木	13:25~14:55 15:05~16:35	野津慶太	普通教室1
	後期 (10.11月)	木	9:15~10:45 10:55~12:25	入江 洋	普通教室1
	後期 (9.10.1.2月)	木	13:25~14:55 15:05~16:35	吉田達彦	普通教室1

教科書・参考書

著者・编者	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会(編)	最新歯科技工士教本 有床義歯技工学		医歯薬出版株式会社

担当者一覧(実務経験とその関連資格)

中村元祐(開業歯科医師) 神庭光司(開業歯科医師) 野津慶太(開業歯科医師)
入江 洋(歯科医師) 吉田達彦(開業歯科医師)

成績評価

定期試験

オフィスアワー

講義終了後10分間

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)
1	6/14	水	中村元祐	ユニット1 有床歯科技工学概論 GIO 歯列の欠損補綴治療における有床義歯技工学の意義と目的を理解し、有床義歯の種類と適応症を把握する。	① 有床義歯技工学の意義と目的を説明できる。 ② 種類を列挙できる。 ③ 特徴と適応症を列挙できる。 ④ 有床義歯技工に伴う生物学的事項について説明できる。
				有床義歯技工に関連のある生体についての基礎知識 ユニット2 義歯を製作するために、有床義歯技工学の基礎知識を理解する。	
ユニット3 全部床義歯の特性 GIO 全部床義歯の構造と特性を理解する。	① 構成要素を説明できる。 ② 分類できる。 ③ 維持、安定および支持について説明できる。				
ユニット4 全部床義歯の製作順序 GIO 全部床義歯の製作順序を理解する。					
4	7/5			ユニット5 全部床義歯の印象採得に伴う技工作業(1) GIO 個人トレーの目的、製作手順を理解し、修得する。	① 製作手順を説明できる。 ② 模型上の解剖学的ランドマークを列挙できる。 ③ 研究用模型を製作できる。 ④ 個人トレーの目的を述べる。 ⑤ 個人トレーを製作できる。
5	7/12	ユニット6 全部床義歯の印象採得に伴う技工作業(2) GIO 作業用模型製作に伴う技工操作を修得する。	① 作業用模型を製作できる。		

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)
6	7/19	水	中村元祐	ユニット7 全部床義歯の印象採得に伴う技工作業(4) GIO 全部床義歯の作業用模型製作に伴う技工操作を修得する。ゴシックアーチ描記法の目的について理解する。	① 咬合採得の目的を述べる。 ② 咬合床の役割を述べる。 ③ 咬合床製作に必要な作業用模型の処理を説明できる。 ④ 咬合床を製作できる。 ⑤ 作業用模型の咬合器への装着方法を列挙できる。 ⑥ 作業用模型を咬合器に装着できる。 ⑦ ゴシックアーチ描記法の目的を述べる。 ⑧ ゴシックアーチ描記装置の記録床への取り付け方法を説明できる。
1	9/7	木	神庭光司	ユニット1 全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成(1) GIO 人工歯排列の基礎知識について理解し、前歯部人工歯排列の術式を把握する。	① 人工歯配列に関わる機能的・審美的な基礎知識を説明できる。 ② 人工歯の種類と特徴を説明できる。 ③ 人工歯の選択方法を説明できる。 ④ 有床義歯に付与する咬合様式を説明できる。 ⑤ クリステンセン現象と調節彎曲を説明できる。 ⑥ 前歯部の人工歯排列方法を説明できる。
2				ユニット2 全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成(2) GIO 臼歯部人工歯排列の術式を把握し、修得する。	① 臼歯部の人工歯排列方法を説明できる。 ② 人工歯配列ができる。
3	9/14			ユニット3 全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成(3) GIO 全部床義歯の歯肉形成の目的について理解し、修得する。	① 歯肉形成の目的を述べる。 ② 歯肉形成ができる。
4				ユニット4 全部床義歯の埋没と鑄造 GIO 全部床義歯の蠟義歯埋没と重合操作を修得する。	① 埋没の種類と方法を説明できる。 ② 義歯床用レジンの重合法の種類と特徴を説明できる。 ③ 全部床義歯の埋没、流鏝および重合ができる。
5	9/28			ユニット5 全部床義歯の咬合器再装着、削合および研磨(1) GIO 全部床義歯の咬合器再装着方法を理解し、修得する。人工歯の削合目的と術式を把握する。	① 咬合器再装着の方法を説明できる。 ② 咬合器に模型を再装着できる。 ③ 人工歯の削合の目的と方法を説明できる。 ④ 選択削合、自動削合および人工歯咬合面の形態修正ができる。
6	10/5			ユニット6 全部床義歯の咬合器再装着、削合および研磨(2) GIO 人工歯の削合方法を修得する。全部床義歯の研磨の目的について理解し、研磨法を修得する。	② 研磨の目的と方法を説明できる。 ③ 全部床義歯を研磨できる。

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	
1	10/26	木	野津慶太	ユニット1 クラスプの製作	① サベイヤーの使用目的と構造を説明できる。 ② サベイヤーを使用できる。 ③ クラスプの製作方法を説明できる。 ④ クラスプを製作できる。	
				GIO クラスプ製作に伴う技工操作、使用器具の構造を理解し、修得する。		
2	11/2			ユニット2 バーの製作	① 鑄造バーの製作法を説明できる。 ② 鑄造バーを製作できる。 ③ 屈曲バーを製作できる。	
				GIO バー製作に伴う技工操作、使用器具の構造を理解し、修得する。		
3	11/9			ユニット3 部分床義歯の人工歯排列、削合、歯肉形成	① 人工歯の選択に関わる要素を説明できる。 ② 前歯部の人工歯排列方法を説明できる。 ③ 臼歯部の人工歯排列方法を説明できる。 ④ 人工歯配列ができる。 ⑤ 歯肉形成における残存歯との関係を説明できる。 ⑥ 歯肉形成ができる。	
				GIO 部分床義歯の人工歯排列と歯肉形成を修得する。		
4	11/16			ユニット4 部分床義歯の埋没と重合		① 埋没の種類と方法を列挙できる。 ② 部分床義歯の埋没、流鏝および重合ができる。 ③ 部分床義歯を研磨できる。
				GIO 部分床義歯の蠟義歯埋没、重合操作を修得する。		
				ユニット5 部分床義歯の咬合調整と研磨		
				GIO 部分床義歯の咬合調整、研磨操作を修得する。		
1	10/12	木	入江 洋	ユニット1 修理	① 破折と破損の原因を列挙できる。 ② 修理方法を説明できる。	
				GIO 有床義歯の破折と破損の原因を理解し、その修理方法を修得する。		
2	10/19			ユニット2 リベースおよびリライン	③ リベースとリラインの目的を述べる。 ④ リベースとリラインの方法を説明できる。	
				GIO リベース、リラインの目的と方法を理解する。		
3	10/26			ユニット3 オーバーデンチャー	① オーバーデンチャーの目的を述べる。 ② オーバーデンチャーの種類を列挙できる。	
				GIO オーバーデンチャーの目的と種類を理解する。		
4	11/2			ユニット4 金属床	① 金属床義歯の利点と欠点を列挙できる。 ② 金属床義歯の製作法を説明できる。	
				GIO 金属床義歯の特徴と製作法を理解する。		
5	11/9			ユニット5 その他の有床義歯		
				GIO ノンメタルクラスプデンチャー、ジルコニアを用いた義歯の特徴と製作法を理解する。		

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)
1	9/28	木	吉田達彦	ユニット1 部分床義歯の特性 GIO 部分床義歯の構造と特性を理解する。	① 部分床義歯の構成要素を列挙できる。 ② 部分床義歯における維持、支持および把持を概説できる。 ③ 部分床義歯を咬合圧の支持様式で分類できる。 ④ 部分床義歯を残存歯と欠損の分布状態で分類できる。 ⑤ 部分床義歯を使用目的で分類できる。 ⑥ 部分床義歯の製作順序を説明できる。
				ユニット2 部分床義歯の製作順序 GIO 部分床義歯の製作順序を理解する。	
2	10/5			ユニット3 部分床義歯の構成要素(1) GIO 部分床義歯の構成要素の構造と役割を理解する。	① 直接支台装置と間接支台装置を説明できる。 ② 各種クラスプを分類できる。
				ユニット4 部分床義歯の構成要素(2) GIO 部分床義歯の構成要素の構造と役割を理解する。	
3	10/12			ユニット5 部分床義歯の構成要素(3) GIO 部分床義歯の構成要素の構造と役割を理解する。	① 環状型クラスプの種類と特徴を列挙できる。 ② バー型クラスプの種類と特徴を列挙できる。
				ユニット6 部分床義歯の構成要素(4) GIO 部分床義歯の構成要素の構造と役割を理解する。	
4	10/19			ユニット7 部分床義歯の印象採得に伴う技工作業 GIO 部分床義歯の印象採得に伴う技工操作を修得する。	① アタッチメントの種類を列挙できる。 ② アタッチメントの構造を概説できる。 ③ テレスコープ義歯の構造を概説できる。 ④ テレスコープ義歯の特徴を列挙できる。 ⑤ レストの種類と目的を説明できる。 ⑥ 補助支持装置の種類と目的を説明できる。
				ユニット8 部分床義歯の咬合採得に伴う技工作業 GIO 部分床義歯の咬合採得に伴う技工操作を修得する。	
5	1/18			ユニット9 部分床義歯の印象採得に伴う技工作業 GIO 部分床義歯の印象採得に伴う技工操作を修得する。	① 大連結子と小連結子の目的を説明できる。 ② 大連結子の種類と特徴を説明できる。 ③ 隣接面板の目的を述べる。
				ユニット10 部分床義歯の咬合採得に伴う技工作業 GIO 部分床義歯の咬合採得に伴う技工操作を修得する。	
6	1/25			ユニット11 部分床義歯の印象採得に伴う技工作業 GIO 部分床義歯の印象採得に伴う技工操作を修得する。	① 模型上の解剖学的ランドマークを列挙できる。 ② 研究用模型を製作できる。 ③ 個人トレーを製作できる。 ④ 作業用模型を製作できる。
				ユニット12 部分床義歯の咬合採得に伴う技工作業 GIO 部分床義歯の咬合採得に伴う技工操作を修得する。	
7	2/1			ユニット13 部分床義歯の印象採得に伴う技工作業 GIO 部分床義歯の印象採得に伴う技工操作を修得する。	① 咬合採得の目的を説明できる。 ② 咬合床の役割を説明できる。 ③ 咬合床を製作できる。 ④ 作業用模型を咬合器に装着できる。
				ユニット14 部分床義歯の咬合採得に伴う技工作業 GIO 部分床義歯の咬合採得に伴う技工操作を修得する。	

有床義歯基礎実習

5単位 (4h×55回)

本学期的学習目標(GIO)

全部床義歯の製作法について理解を深め、製作できる。

学年	学期	曜日	時間	講義場所
1	前期 (4-9月)	火水 木金	9:15~10:45 10:55~12:25 13:25~14:55 15:05~16:35	基礎実習室
	後期 (10-1月)	火水 木金		

教科書・参考書

著者・編者	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 有床義歯技工学	第1版	医歯薬出版

担当者一覧(実務経験とその関連資格)

水野良祐(歯科技工士) 広野 真(歯科技工士)

成績評価

提出作品

使用器材

別紙(有床義歯基礎実習器材)参照

オフィスアワー

12:25~13:25

* 回数は半日の実習を1回とする。

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	
1	4/7	金	水野良祐 広野 真	個人トレー	① トレー外形線を正確に記入できる。 ② トレーレジンを石膏模型に圧接する。 ③ 柄とフィンガーレストの付与ができる。	
				ユニット1 トレー外形線の記入		
				ユニット2 レジン圧接		
				GIO 作業模型を製作できる。レジンの特性を理解する。		
				ユニット3 トレー形態修正		① 切削バーを使用し、トレーの形態修正ができる。
				GIO 研磨の方法を理解する。		
2	4/14	金	水野良祐 広野 真	ユニット4 コンパウンド圧接	① コンパウンドを火炎上で軟化させ、トレーへの圧接ができる。 ② ペンシルバーナーの使用法を理解する。 ③ 個人トレーの製作法を理解する。	
3	4/21	金		GIO コンパウンドを軟化させ、目的の部位に正確に圧接できる。		
4	4/28	金		ユニット5 仕上げ		
5	5/2	火		GIO 個人トレーの製作法を理解し、製作できる。		
6	5/9	火				
7 5 12	5/16 5/23 5/30 6/6 6/13 6/20	火 火 火 火 火 火		水野良祐 広野 真		義歯の製作
			ユニット1 咬合床製作のための作業用模型の処理			
			ユニット2 咬合床の製作			
				GIO 咬合床の役割を知り製作できる。		

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)
13 5 16	6/21 6/27 6/28 7/4	水 火 水 火	水野良祐 広野 真	ユニット3 咬合器装着	① 作業用模型を咬合器に装着できる。
				GIO 咬合器装着までの手順を理解する。	
17 5 22	7/5 7/11 7/12 7/18 7/19 7/25	水 火 水 火 水 火		ユニット4 前歯部人工歯排列	① 前歯部人工歯排列方法を理解する。 ② 臼歯部人工歯排列方法を理解する。 ③ 人工歯排列ができる。
				ユニット5 臼歯部人工歯排列	
				GIO 人工歯の選択法を知り、前歯部及び臼歯部の人工歯排列ができる。	
23 5 25	9/6 9/13 9/20	水 水 水		ユニット6 歯肉形成	① 前歯部・臼歯部の歯肉形成方法を理解する。 ② 唇側・頬側・舌側・口蓋側の歯肉形成方法を理解する。 ③ 床縁の形成方法を理解する。 ④ それぞれの部位に適した歯肉形成ができる。
				GIO 歯肉形成の目的を知る。 歯肉形成ができる。	
26 27	9/21	木		ユニット7 テンチのコアの製作	① テンチのコアを採得する。 ② フラスクに埋没ができる。
				ユニット8 埋没 GIO テンチのコアの製作法を修得する。 フラスクへの埋没ができる。	
28 29	11/14 11/15	木		ユニット9 脱蠟と重合	① 流蠟および重合ができる。
				GIO 脱蠟の方法を理解する。	
				ユニット10 割出し・研磨 GIO 咬合器再装着にあたってのそれまでの処理を理解する。	
				ユニット11 咬合器再装着	① テンチのコアの使用方法を理解する。 ② 咬合器に模型を再装着できる。
				GIO 咬合器への再装着法を説明できる。	
30 5 33	11/16 11/21 11/22 11/28	木 火 水 火		ユニット12 研磨	① 全部床義歯の研磨ができる。 ② 研磨の手順を知る。
			GIO 研磨の目的と方法を説明できる。		
			ユニット13 削合	① 選択削合・自動削合及び人工歯咬合面の形態修正ができる。	
			ユニット14 仕上げ		
			ユニット15 提出 GIO 義歯の製作法を理解し、製作できる。		
34	11/29	水	義歯修理	① 義歯の仮着法を理解する。 ② 作業模型の製作ができる。	
			ユニット1 義歯の仮着		
			ユニット2 作業模型の製作 GIO 作業模型の製作ができる。		
			ユニット3 破折部の修正 GIO レジンの築盛ができる。		
			ユニット4 研磨・仕上げ ユニット5 提出 GIO 義歯の修理法を修得する。		

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)
35	11/30	木	水野良祐 広野 真	部分床義歯の製作	① サバイヤーを準備する。 ② 着脱方向を決定し、サバイラインを記入できる。 ③ サバイラインを理解し、鉤外形線の記入ができる。 ④ 鉤尖の位置を決定できる。 ⑤ 作業模型にブロックアウト・リリーフを付与できる。 当日までに上下顎模型を準備する。
				ユニット1 サバイイング	
				ユニット2 ブロックアウト・リリーフ	
36 37 38	12/5 12/6 12/7	火 水 木		GIO サバイヤーの使用目的を理解し、使用する。 ブロックアウト・リリーフを理解し、作業できる。	① プライヤーの使用法を理解する。 ② 1線法・2線法でクラスプを屈曲できる。
				ユニット3 上顎単純鉤の製作	
				ユニット4 上顎二腕鉤の製作	
39 40	12/12	火		GIO クラスプの製作法を理解し、製作できる。	① 印象採得の方法を理解する。 ② 印象材に石膏注入ができる。
				ユニット5 キャストクラスプ印象採得	
41	12/13	水		ユニット6 キャストクラスプ作業模型製作	① 印象採得の方法を理解する。 ② 印象材に石膏注入ができる。
				GIO 印象採得ができる。 作業模型の製作ができる。	
42	12/14	木		ユニット7 キャストクラスプワックスアップ	① ワックスアップができる。 ② 埋没・鋳造ができる。
				ユニット8 キャストクラスプ埋没・鋳造	
43 44 45	12/19 12/20	火 水		GIO ワックスアップから埋没・鋳造の説明、 作業ができる。	① キャストクラスプの熱処理ができる。 ② クラスプとレストの蠟着ができる。 ③ 研磨法を理解する。
				ユニット9 キャストクラスプ・レストの研磨	
46	12/21	木		GIO キャストクラスプの製作法を理解し、製作 できる。 クラスプとレストの蠟付け法を理解し、 作業ができる。	① パラタルバーのワックスアップができる。 ② 円錐台(大)を使用し、埋没・鋳造ができる。 ③ 研磨法を理解する。
			ユニット10 パラタルバーの製作		
47 48	1/12	金	GIO パラタルバーの製作法を理解し、製作できる。	① プライヤーと三叉鉗子の使用法を理解する。 ② 屈曲鉗子の使用法を理解する。 ③ リンガルバーの製作法を理解する。	
			ユニット11 下顎に腕鉤の製作		
			ユニット12 リンガルバーの製作		
49 50	1/17	水	ユニット13 提出	③ 作業用模型を咬合器に装着できる。	
			GIO 三叉鉗子を用いたクラスプの製作法を理解し、 製作できる。 屈曲鉗子を使用し、リンガルバーの製作が できる。		
51 52	1/19	金	義歯の製作(歯肉形成まで)	① 床外形線を記入できる。 ② 基準線を記入できる。 ③ リーフ・ポストダムを理解し付与できる。 ④ 基礎床の圧接、形態修正ができる。 ⑤ 咬合堤について理解し、製作できる。	
			ユニット1 咬合床製作のための作業用模型の処理		
53 54 55	1/24 1/25	水 金	ユニット2 咬合床の製作	① 前歯部人工歯配列法を理解する。 ② 臼歯部人工歯配列法を理解する ③ 人工歯配列ができる。	
			GIO 咬合床の役割を知り製作できる。		
53 54 55	1/24 1/25	水 金	ユニット39 咬合器装着	① 前歯部・臼歯部の歯肉形成法を理解する。 ② 唇側・頬側・舌側・口蓋側の歯肉形成法を理解する。 ③ 床縁の形成方法を理解する。 ④ それぞれの部位に適した歯肉形成ができる。	
			GIO 咬合器装着までの手順を理解する。		
51 52	1/19	金	ユニット4 前歯部人工歯配列	① 前歯部人工歯配列法を理解する。 ② 臼歯部人工歯配列法を理解する ③ 人工歯配列ができる。	
			ユニット5 臼歯部人工歯配列		
53 54 55	1/24 1/25	水 金	GIO 人工歯のでき、前歯部及び臼歯部の 配列ができる。	① 前歯部・臼歯部の歯肉形成法を理解する。 ② 唇側・頬側・舌側・口蓋側の歯肉形成法を理解する。 ③ 床縁の形成方法を理解する。 ④ それぞれの部位に適した歯肉形成ができる。	
			ユニット6 歯肉形成		
53 54 55	1/24 1/25	水 金	ユニット7 提出	① 前歯部・臼歯部の歯肉形成法を理解する。 ② 唇側・頬側・舌側・口蓋側の歯肉形成法を理解する。 ③ 床縁の形成方法を理解する。 ④ それぞれの部位に適した歯肉形成ができる。	
			GIO 歯肉形成の目的を理解する。 歯肉形成ができる。		

別紙（有床義歯基礎実習器材）

製作物	回	月日	曜日	時限	使用器材
個人トレー	1	4/7	金	①②	[レジン圧接] トレーレジン粉末、液、アクロセップ、ワセリン、インスツルメント
	2	4/14	金	①②	[トレー形態修正] タングステンカーバイトバー、ペーパーコーン、バットホイール
	3	4/21	金	①②	
	4	4/28	金	①②	[コンパウンド圧接] コンパウンド、ブンゼンバーナー、ペンシルバーナー、デザインナイフ
	5	5/2	火	③④	
	6	5/9	火	③④	
義歯の製作	7	5/16	火	③④	[模型製作] インスツルメント、デンタルメジャー、トレーレジン粉末、液、アクロセップ、ワセリン、マイクロモーター、タングステンカーバイトバー、ペーパーコーン、バットホイール
	8	5/23	火	③④	
	9	5/30	火	③④	[ワックス盛り上げ] ブンゼンバーナー、パラフィンワックス、ワックス分離材、インスツルメント、技工ノギス
	10	6/6	火	③④	
	11	6/13	火	③④	
	12	6/20	火	③④	
	13	6/21	水	③④	[咬合器装着] ハンディーⅡA咬合器、普通石膏、ワセリン、スパチュラ、ラバーボール、耐水ペーパー
	14	6/27	火	③④	
	15	6/28	水	③④	
	16	7/4	火	③④	
	17	7/5	水	③④	[人工歯配列] 人工歯（レジン）、インスツルメント、ブンゼンバーナー
	18	7/11	火	③④	
	19	7/12	水	③④	
	20	7/18	火	③④	
	21	7/19	水	③④	
	22	7/25	火	③④	
	23	9/6	水	③④	[歯肉形成] ブンゼンバーナー、パラフィンワックス、インスツルメント、ワックス分離材
	24	9/13	水	③④	
	25	9/20	水	③④	
	26	9/21	木	①②	[テンチのコア] 普通石膏、ワセリン
	27	9/21	木	③④	[埋没] フラスク、フラスクプレス、ワセリン、アクロセップ、普通石膏、硬質石膏、真空攪拌器、トースプレー、スパチュラ、ラバーボール
	28	11/14	火	③④	[脱蝨] 鍋、ガスコンロ、石膏破壊鉗子、脱蝨器 [重合] レジン粉末、レジン液、プレス器、鍋、ガスコンロ、石膏破壊鉗子 [割出し] 石膏破壊鉗子、インスツルメント、石膏溶解液

製作物	回	月日	曜日	時限	使用器材
義歯の製作	29	11/15	水	③④	[咬合器再装着] ハンディーⅡA咬合器、普通石膏、インスツルメント、スパチュラ、ラバーボール
	30	11/16	木	①②	[削合] マイクロモーター、ラウンドバー、カーボランダムポイント、咬合紙
	31	11/21	火	③④	[形態修正] マイクロモーター、タングステンカーバイトバー、ペーパーコーン、パットホイール
	32	11/22	水	③④	[砂がけ] レーズ、耐水ペーパー
	33	11/28	火	③④	[つや出し] レーズ、バフ、マイクロモーター、鹿革
義歯修理	34	11/29	水	③④	[義歯の仮着] 接着材、レジン液 [作業模型] 普通石膏、スパチュラ、ラバーボール [破折部修正] レジン粉末、液、レジン用筆、インスツルメント [形態修正、研磨] マイクロモーター、タングステンカーバイトバー、ペーパーコーン、パットホイール鹿革、バフ
部分床義歯	35	11/30	木	③④	[サバイイング] サバイヤー [ブロックアウト、リリース] 普通石膏、インスツルメント、絆創膏（ニチバン）
	36	12/5	火	③④	[クラスプ屈曲] ヤングのプライヤー、三叉プライヤー、ワイヤーカッター、クラスプ線
	37	12/6	水	③④	
	38	12/7	木	①②	
	39	12/12	火	①②	[印象採得] 印象材、既製片顎トレイ、インスツルメント
	40	12/12	火	③④	[作業用模型] 硬質石膏、スパチュラ、ラバーボール
	41	12/13	水	③④	[キャストクラスプ・レスト・パラタルバー・ワックスアップ] ブンゼンバーナー、インレーワックス、シートワックス、インスツルメント、ワックス分離材
	42	12/14	木	①②	[埋没、鑄造] スプルー、円錐台（小）（大）、リング、キャストインライナー、インスツルメント、埋没材、真空攪拌器、バイブレーター、PPメタル、電気炉、遠心鑄造機、ガスバーナー
	43	12/19	火	①②	
	44	12/19	火	③④	[鑲着] ガスバーナー、オーラルフラックス、蠟材
	45	12/20	水	③④	[割出し、研磨] マイクロモーター、カッティングディスク、カーボランダムポイント、シリコーンポイント、鹿革
46	12/21	木	①②	[クラスプ屈曲] ヤングのプライヤー、三叉プライヤー、ワイヤーカッター、クラスプ線 [リングルバー] 屈曲鉗子、捻転鉗子、ワイヤーカッター、シリコーンポイント、鹿革	

製作物	回	月日	曜日	時限	使用器材
義歯の製作・歯肉形成まで	47	1/12	金	①② ③④	[模型製作] インスツルメント、デンタルメジャー、トレーレジン粉末、液、アクロセップ、ワセリン、マイクロモーター、タンクス テンカーバイトバー、ペーパーコーン、パットホイール
	48				[ワックス盛り上げ] ブンゼンバーナー、パラフィンワックス、ワックス分離材、インスツルメント、技工ノギス
	49	1/17	水	①② ③④	[咬合器装着] ハンディーⅡA咬合器、普通石膏、ワセリン、スパチュラ、ラバーボール、耐水ペーパー
	50				
	51	1/19	金	①② ③④	[人工歯配列] 人工歯（レジン）、インスツルメント、ブンゼンバーナー
	52				[歯肉形成] ブンゼンバーナー、パラフィンワックス、インスツルメント、ワックス分離材
	53	1/24	水	①② ③④	
	54				
	55	1/25	金	①②	

有床義歯技工学実習・歯科技工実習Ⅰ

本学期的学習目標(GIO)

全部床義歯作製過程における人工歯排列・歯肉形成が規定時間内で完成できる。

学年	学期	曜日	時間	講義場所
2	前期 (4-7月)	月	9:15~10:45 10:55~12:25	技工実習室
2	前期(9月) 後期(10-12月)	金	9:15:10:45 10:55~12:25	
			13:25~14:55 15:05~16:35	

★該当授業科目 4月~7月(月)有床義歯技工学実習 9月~12月(金)歯科技工実習Ⅰ

教科書・参考書

著者・编者	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 有床義歯技工学	第1版	医歯薬出版
	ベラシアSA排列マニュアル		

担当者一覧(実務経験とその関連資格)

広野 真(歯科技工士)

成績評価

提出作品(ユニット3終了後提出)

使用材料・機器・器具

Handy II A咬合器(貸出) 人工歯ベラシアSA硬質レジン歯 その他義歯製作に必要な器具

オフィスアワー

12:25~13:25

*回数は半日の実習を1回とする。

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)
1	4/3	月	広野 真	ユニット1 人工歯排列 GIO 規定時間内で人工歯をすべて排列できる。	① 上顎前歯部の人工歯排列を理解し完成できる。 ② 下顎前歯部の人工歯排列を理解し完成できる。 ③ 下顎臼歯部の人工歯排列を理解し完成できる。 ④ 上顎臼歯部の人工歯排列を理解し完成できる。
				ユニット2 歯肉形成 GIO 規定時間内で歯肉形成を完成できる。	① 前歯部唇側の歯肉形成を理解し完成できる。 ② 前歯部舌側の歯肉形成を理解し完成できる。 ③ 臼歯部頬側の歯肉形成を理解し完成できる。 ④ 臼歯部舌側の歯肉形成を理解し完成できる。
ユニット3 咬合床の復元 GIO 咬合床を復元できる。	① 咬合床を時間内で復元できる。				
4	4/24			ユニット1 繰り返し	
5	5/1			ユニット2 繰り返し	
6	5/8			ユニット3 繰り返し	
7	5/15			ユニット1 繰り返し	
8	5/22			ユニット2 繰り返し	
9	5/29			ユニット3 繰り返し	

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)
10	6/5	月	広野 真	ユニット1 繰り返し	
11	6/12			ユニット2 繰り返し	
12	6/19			ユニット3 繰り返し	
13	6/26			ユニット1 繰り返し	
14	7/3			ユニット2 繰り返し	
15	7/10			ユニット3 繰り返し	
16	7/24	金		ユニット1 繰り返し	
17	9/1			ユニット2 繰り返し	
18	9/1			ユニット3 繰り返し	
19	9/8			ユニット1 繰り返し	
20	9/8			ユニット2 繰り返し	
21	9/15			ユニット3 繰り返し	
22	9/15			ユニット1 繰り返し	
23	9/22			ユニット2 繰り返し	
24	9/22			ユニット3 繰り返し	
25	9/29			ユニット1 繰り返し	
26	9/29			ユニット2 繰り返し	
27	10/6			ユニット3 繰り返し	
28	10/6			ユニット1 繰り返し	
29	10/13			ユニット2 繰り返し	
30	10/13			ユニット3 繰り返し	
31	10/20			ユニット1 繰り返し	
32	10/20			ユニット2 繰り返し	
33	10/27			ユニット3 繰り返し	
34	10/27	ユニット1 繰り返し			
35	11/10	ユニット2 繰り返し			
36	11/10	ユニット3 繰り返し			
37	11/17	ユニット1 繰り返し			
38	11/17	ユニット2 繰り返し			
39		ユニット3 繰り返し			
40		ユニット1 繰り返し			
41		ユニット2 繰り返し			
42		ユニット3 繰り返し			

実技評価試験に向けて完成できるようにしておくこと

歯科技工実習 I (上顎金属床義歯)

本学期的学習目標(GIO)

全部床義歯(上顎金属床)について理解を深め、製作できる。

学年	学期	曜日	時間	講義場所
2	前期(9月)	月	9:15:10:45 10:55~12:25	技工実習室
	後期(10-12月)		13:25~14:55 15:05~16:35	

★該当授業科目 (月) 歯科技工実習1

教科書・参考書

著者・編者	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 有床義歯技工学	第1版	医歯薬出版

担当者一覧(実務経験とその関連資格)

広野 真(歯科技工士)

成績評価

提出作品

使用材料・機器・器具

Handy II A咬合器 レジン人工歯 リン酸塩系埋没材スノーホワイト コバルトクロム合金コバルタン
高周波鋳造機アルゴンキャスター 電解研磨機エレピカ その他硬質合金研磨に必要な材料や義歯製作に必要な器具

オフィスアワー

12:25~13:25

* 回数は1日の実習を1回とする。

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)
1	9/4 9/11	月	広野 真	ユニット1 基準線の記入 / 咬合床の製作 GIO 上下顎の咬合床が製作できる。	① 模型を製作し、基準線を記入する。 ② 基礎床を製作し、咬合床を完成する。
2	9/25			ユニット2 耐火模型の製作 GIO 耐火模型製作前の諸作業を知る。 耐火模型の表面処理を知る。	① 金属床の設計線を記入できる。 ② リーフやビードイングについて知り、適切に作業できる。 ③ シリコン複印象を採得し、耐火模型材を注入する。 ④ 耐火模型の表面処理ができる。
3	10/2			ユニット3 金属床のワックスアップから埋没 GIO 金属床のワックスアップについて理解し、専用埋没材にて埋没できる。	① 金属床のワックスアップ方法について理解し作業できる。 ② スプルの付与から埋没迄の流れを理解し作業できる。 (鋳造は翌日高周波鋳造機で行う)
4	10/16			ユニット4 鋳造体の掘出と研磨作業	① 埋没材の除去とスプルの切断作業ができる。 ② 鋳造体の表面処理法について理解し研磨完成できる。 ③ 電解研磨法について理解し、作業できる。 ④ フィニッシュラインを理解し適切に付与できる。 ⑤ 上顎咬合床とともに咬合器に装着できる。
5	10/23			ユニット5 上下顎咬合床の咬合器装着 GIO 鋳造体の形態修正と研磨法を知る。 電解研磨について知る。	
6	10/30			ユニット6 人工歯排列	① 人工歯排列ができる。 ② 歯肉形成ができる。 ③ テンチのコアを採得する。
7	11/6			ユニット7 歯肉形成とテンチのコア GIO 人工歯排列ができる。 歯肉形成ができ終了後テンチのコアを採得できる。	
8	11/13			ユニット8 埋没・流蠟・レジン重合	① 金属床義歯の埋没法を知り、作業できる。 ② 金属床義歯のレジン填入法を知り作業できる。 ③ 研磨～咬合器再装着まで作業でき、人工歯の削合を行う。
9	11/20	研磨・削合			
10	12/4	GIO 埋没～研磨までの流れを理解し作業する。			
11	12/11 12/18				

赤字の日は実習の進捗状況に応じて他の実習内容に変更します。

有床義歯技工学実習(全部床義歯)

本学期的学習目標(GIO)

全部床義歯の製作法について理解を深め、製作できる。

学年	学期	曜日	時間	講義場所
2	前期(4-7月) (4月)	月	13:25~14:55 15:05~16:35	技工実習室
		水	9:15~12:25	

★該当授業科目 (月)(水)有床義歯技工学実習

教科書・参考書

著者・編者	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 有床義歯技工学	第1版	医歯薬出版

担当者一覧(実務経験とその関連資格)

広野 真(歯科技工士)

成績評価

提出作品

使用材料・機器・器具

Handy II A咬合器 レジン人工歯 その他義歯製作に必要な材料や器具

オフィスアワー

12:25~13:25

*回数 は1/4日の実習を1回とする。

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)
	1年 最終 時		広野 真	ユニット1 咬合床製作のための作業用模型の処理 ユニット2 咬合床の製作 GIO 咬合床の役割を知り製作できる。	① 床外形線を記入できる。 ② 基準線を記入できる。 ③ リーフ・ポストダムを理解し付与できる。 ④ 基礎床の圧接、形態修正ができる。 ⑤ 咬合堤について理解し、製作できる。 ⑥ 作業用模型を咬合器に装着できる。
				ユニット3 作業模型の咬合器装着 GIO 作業模型の咬合器装着法について知る。	
				ユニット4 前歯部人工歯排列 ユニット5 臼歯部人工歯排列 GIO 人工歯の選択法を知り、前歯部及び臼歯部の人工歯排列ができる。	
ユニット6 歯肉形成 GIO 歯肉形成の目的を知る。 歯肉形成ができる。	① 前歯部・臼歯部の歯肉形成方法を理解する。 ② 唇側・頬側・舌側・口蓋側の歯肉形成方法を理解する。 ③ 床縁の形成方法を理解する。 ④ それぞれの部位に適した歯肉形成ができる。				
14 15 16 17		5/1 5/8 5/15 5/22		月	ユニット7 全部床義歯の埋没と重合 GIO 埋没の前準備を知る。 埋没法の種類と特徴を理解する。 義歯床用レジンの種類と特徴を理解する。 重合方法を理解する。
	ユニット8 咬合器再装着 GIO 咬合器再装着の方法を説明できる。				① 咬合器に模型を再装着できる。
19	6/5	月		ユニット9 人工歯の削合 GIO 人工歯の削合の目的と方法を説明できる。	
20 21	6/12 6/19 6/26	月		ユニット10 研磨 GIO 研磨の目的と方法を説明できる。	① 全部床義歯の研磨ができる。 ② 研磨の手順を知る。

有床義歯技工学実習(部分床義歯+金属床)

本学期的学習目標(GIO)

部分床義歯の製作法について理解を深め、製作できる。

学年	学期	曜日	時間	講義場所
2	前期(5-7月) 後期(11-12月)	水 月	9:15~10:45 10:55~12:25 13:25~14:55 15:05~16:35	技工実習室

★該当授業科目 (水)有床義歯技工学実習 歯科技工実習1

教科書・参考書

著者・編者	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 有床義歯技工学	第1版	医歯薬出版

担当者一覧(実務経験とその関連資格)

広野 真(歯科技工士)

成績評価

提出作品

使用材料・機器・器具

Handy II A咬合器 レジン人工歯 リン酸塩系埋没材スノーホワイト コバルトクロム合金コバルタン
高周波鋳造機アルゴンキャスター 電解研磨機エペピカ その他硬質合金研磨に必要な材料や義歯製作に必要な器具

オフィスアワー

12:25~13:25

*回数は日付単位で1回とする。

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	
1	5/10	水	広野 真	ユニット1 サベイング	① サベイヤ-を準備する。 ② 着脱方向を決定し、サベイラインを記入できる。 ③ サベイラインを理解し鉤外形線の記入ができる。 ④ 鉤尖の位置を決定できる。 ⑤ 作業模型にブロック・アウト・リリフを付与できる。 ⑥ 作業用模型を咬合器に装着できる。 ⑦ 2線法で屈曲クラスプが製作できる。(大臼歯) 1線法で屈曲クラスプが製作できる。(小臼歯)	
2	5/17			ユニット2 ブロックアウト・リリフ		
3	5/24			ユニット3 咬合器装着 GIO サベイヤ-の使用目的を理解し使用する。 リリフ・ブロックアウトを理解し、作業できる。		
				ユニット4 クラスプの製作 GIO クラスプの製作法を知る。 クラスプが製作できる。		
4	5/31			ユニット5 レストの製作		① 鋳造レストが製作できる。 ② クラスプとレストを鑢付できる。
5	6/7			GIO レストの目的を知り製作できる。		
6	6/14			ユニット6 部分床義歯の人工歯排列と歯肉形成		① 人工歯排列ができる。 ② 人工歯の削合ができる。 ③ 歯肉形成ができる。
7	6/21			GIO 人工歯排列方法を知る。 人工歯排列ができる。 部分床義歯の歯肉形成を理解する。		
8	6/28			ユニット7 部分床義歯の埋没と重合		① 埋没ができる。 ② 流蝕ができる。 ③ 重合ができる。(流し込み法・シリコンコア法)
		GIO 埋没の種類と方法を知る。 部分床義歯の埋没・流蝕・重合ができる。				
9	7/5	ユニット8 部分床義歯の研磨	① 部分床義歯の研磨ができる。			
		GIO 部分床義歯の研磨を理解する。				

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)
10 11	7/12 7/19	水	広野真	ユニット9 部分床義歯の個人トレーの製作 GIO 個人トレーの製作方法を理解する。	① 個人トレー製作における作業を理解し、製作できる。 ② 作業用模型が製作できる。
				ユニット10 下顎部分床義歯 作業用模型の製作 GIO 下顎部分床義歯の作業用模型が製作できる。	
12 13	11/1 11/8			ユニット11 サベイング ユニット12 ブロックアウト・リリーフ GIO サベイヤ-の使用目的を理解し使用する。 リ-フ・ブロックアウトを理解し、作業できる。	① サベイヤ-を準備する。 ② 着脱方向を決定し、サベイラインを記入できる。 ③ サベイラインを理解し鉤外形線の記入ができる。 ④ 鉤尖の位置を決定できる。 ⑤ 作業模型にブロック・アウト・リ-フを付与できる。 ⑥ シリコンゴム複印象を採得し、耐火模型材を注入する。 ⑦ 耐火模型の表面処理ができる。 ⑧ 既成ワックスパターンにてクラスプ・ハ-のワックスアップができる。 ⑨ 適切なスプルーイングができる。 ⑩ リン酸塩系埋没材にて埋没ができる。 (鑄造は翌日高周波鑄造機で行う)
				ユニット13 耐火模型の製作 GIO 複印象について知る	
				ユニット14 ワックスアップ ユニット15 埋没 GIO 下顎部分床のワックスアップができる。 スプルーイングを理解する。	
				ユニット16 研磨 GIO 研磨の目的と方法を知る。	
				ユニット17 咬合器装着と人工歯排列 GIO 人工歯排列と削合について知る。 ユニット18 歯肉形成と埋没 GIO 部分床義歯の歯肉形成を理解する。 埋没の種類と方法を知る。 部分床義歯の埋没・流蟻・重合ができる。	
14	11/15			ユニット19 研磨 GIO 研磨の目的と方法を説明できる。	① 部分床義歯の研磨ができる。 ② 研磨の手順を知る。
				ユニット20 部分床義歯の個人トレーの製作 GIO 個人トレーの製作方法を理解する。	
16 17	12/4 12/6			ユニット21 上顎部分床義歯 作業用模型の製作 GIO 上顎部分床義歯の作業用模型が製作できる。	① 個人トレー製作における作業を理解し、製作できる。 ② 作業用模型が製作できる。 ③ サベイヤ-を準備する。 ④ 着脱方向を決定し、サベイラインを記入できる。 ⑤ サベイラインを理解し鉤外形線の記入ができる。 ⑥ 鉤尖の位置を決定できる。 ⑦ 作業模型にブロック・アウト・リ-フを付与できる。 ⑧ ビーディングを付与できる。
				ユニット22 サベイング ユニット23 ブロックアウト・リリーフ・ビーディング GIO サベイヤ-の使用目的を理解し使用する。 リ-フ・ブロックアウトを理解し、作業できる。 ビーディングについて知る。	

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)
18 19	12/11 12/13	水	広野 真	ユニット24 耐火模型の製作 GIO 複印象について知る	① シリコンゴム複印象を採得し、耐火模型材を注入する。 ② 耐火模型の表面処理ができる。
				ユニット25 ワックスアップ ユニット26 埋没 GIO 上顎部分床のワックスアップができる。 スプルーイングを理解する。	① 既成ワックスパターンにてクラスプ・ハ-のワックスアップができる。 ② 適切なスプルーイングができる。 ③ リン酸塩系埋没材にて埋没ができる。 (鑄造は翌日高周波鑄造機で行う)
				ユニット27 研磨 GIO 研磨の目的と方法を知る。	① 埋没材の除去とスプルーの切断作業ができる。 ② 鑄造体の表面処理法について理解し研磨完成できる。 ③ 電解研磨法について理解し、作業できる。 ④ フィニッシュラインを理解し適切に付与できる。
				ユニット28 咬合器装着と人工歯排列 GIO 人工歯排列と削合について知る。	① 人工歯排列ができる。 ② 人工歯の削合ができる。
20 21	12/18 12/20			ユニット29 歯肉形成と埋没 GIO 部分床義歯の歯肉形成を理解する。 埋没の種類と方法を知る。 部分床義歯の埋没・流蠟・重合ができる。	③ 歯肉形成ができる。 ④ 埋没ができる。 ⑤ 流蠟ができる。 ⑥ 重合ができる。(加熱重合法)
				ユニット30 研磨 GIO 研磨の目的と方法を説明できる。	⑦ 部分床義歯の研磨ができる。 ⑧ 研磨の手順を知る。

赤字の日は実習の進捗状況に応じて他の実習内容に変更します。

歯冠修復技工学

5単位 (2h×10回)
(2h×10回)
(2h×10回)
(4h×4回)

本学期的学習目標(GIO)

各種の歯冠修復物に関する知識を理解し、歯冠修復物製作の技術を習得する。

学年	学期	曜日	時間	担当者	講義場所
1	前期 (5~7月)	金	13:25~14:55	三原和彦	普通教室1
	前期(9月)	金	13:25~14:55	尼ヶ崎知也	普通教室1
	後期(10月)				
	前期(9月)	火	13:25~14:55	児島高德	普通教室1
	後期(10.11月)	火			
後期(12月)	木	13:25~14:55 15:05~16:35	手銭親良	普通教室1	

教科書・参考書

著者・編者	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会(編)	最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学		医歯薬出版株式会社
全国歯科技工士教育協議会(編)	最新歯科技工士教本 歯科技工実習		医歯薬出版株式会社

担当者一覧(実務経験とその関連資格)

三原和彦(開業歯科医師) 尼ヶ崎知也(開業歯科医師) 児島高德(開業歯科医師) 手銭親良(開業歯科医師)

成績評価

定期試験

オフィスアワー

講義終了後10分間

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)
1	5/12	金	三原和彦	ユニット1 歯冠修復技工学の概要	① 歯冠修復技工学の意義と目的を説明できる。
				GIO 歯冠修復技工学の意義と目的について理解する。	
2	5/19			ユニット2 クラウンの概要と種類	① クラウンの意義、特徴および用途を説明できる。 ② 部分被覆冠の種類と特徴を列挙できる。 ③ 全部被覆冠の種類と特徴を列挙できる。
				GIO クラウンの意義、特徴および目的を理解する。	
3	5/26				
4	6/2			ユニット3 ブリッジの概要と種類	① ブリッジの特徴を列挙できる。 ② ブリッジの構成要素を説明できる。 ③ ブリッジの種類を説明できる。
				GIO ブリッジの概要および特徴を理解する。	
5	6/9				
6	6/16				
7	6/23			ユニット4 クラウンとブリッジの具備要件	① 生物学的要件を説明できる。 ② 構造力学的要件を説明できる。 ③ 化学的要件を説明できる。 ④ 審美的要件を説明できる。
		GIO クラウン・ブリッジの具備要件について理解する。			
8	6/30				
9	7/8				
10	7/14				

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	
1	9/1	金	尼ヶ崎知也	ユニット1 クラウンとブリッジの製作(1)	① クラウン・ブリッジの製作順序を説明できる。 ② 印象材の種類と特徴を列挙できる。 ③ 印象方法を説明できる。 ④ 研究用模型の使用目的を述べる。 ⑤ 研究用模型を製作できる。	
				GIO 印象材の種類と特徴を理解し、修得する。		
2	ユニット2 クラウンとブリッジの製作(2)					
	GIO 研究用模型の目的と製作手順を理解し、修得する。					
	ユニット3 クラウンとブリッジの製作(3)					
	ユニット4 クラウンとブリッジの製作(4)			① 印象用トレーの種類と目的を説明できる。 ② 印象用トレーの製作法を説明できる。 ③ 支台築造の意義と目的を説明できる。 ④ 支台築造の種類と使用材料を列挙できる。 ⑤ 支台築造の製作法を説明できる。 ⑥ 支台築造体を製作できる。 ⑦ プロビジュアルレストレーションの意義と目的を説明できる。 ⑧ プロビジュアルレストレーションの種類と使用材料を列挙できる。 ⑨ プロビジュアルレストレーションの製作法を説明できる。 ⑩ プロビジュアルレストレーションを製作できる。 ⑪ シェードマッチングの要件と方法を列挙できる。 ⑫ 作業用模型の意義と目的を説明できる。 ⑬ 作業用模型の構成と要件を列挙できる。 ⑭ 作業用模型の種類を列挙できる。 ⑮ 作業用模型の製作法を説明できる。 ⑯ 作業用模型を製作できる。		
3	9/8				GIO 印象用トレーの種類と目的を理解し、製作法を把握する。	
4						
5	9/15				ユニット5 クラウンとブリッジの製作(5)	① 咬合器に作業用模型を装着できる。 ② ワックスパターン形成の種類と方法を説明できる。 ③ 全部金属冠のワックスパターン形成ができる。
					GIO 咬合器への装着法を修得する。	
6		ユニット6 クラウンとブリッジの製作(6)	① 全部金属冠の埋没・鑄造ができる。 ② 鑄造法を説明できる。			
	GIO ワックスパターン形成の種類と方法を理解し、修得する。					
7	10/6	ユニット7 クラウンとブリッジの製作(7)	① 全部金属冠の研磨ができる。 ② 鑄造法を説明できる。			
		GIO 埋没・鑄造法について理解し、修得する。				
8		ユニット8 クラウンとブリッジの製作(8)	① 前装部の研磨と接着法を説明できる。 ② レジン前装冠を製作できる。 ③ 陶材の築盛法を説明できる。 ④ コンデンスの意義を述べる。 ⑤ 陶材の焼成を説明できる。 ⑥ 陶材焼付金属冠の製作法を説明できる。			
	GIO 研磨法について理解し、修得する。					
9	10/13	ユニット9 クラウンとブリッジの製作(9)	① 種類と特徴を列挙できる。			
		GIO レジン前装冠、陶材焼付金属冠について理解し、製作法を修得する。				
10						
1	9/5	火	児島高德	ユニット1 歯冠修復物と部分被覆冠	① 種類と特徴を列挙できる。	
2	9/12			GIO 部分被覆冠の意義、特徴について理解し、適応用途を把握する。		
3	9/19					
4	9/26					
5	10/3			ユニット2 全部被覆冠	① 種類と特徴を列挙できる。 ② 前装部の形態と接着法を説明できる。 ③ レジン前装冠を製作できる。 ④ 陶材の築盛法を説明できる。 ⑤ コンデンスの意義を説明できる。 ⑥ 陶材の焼成を説明できる。 ⑦ 陶材の破折原因を説明できる。 ⑧ 陶材焼付金属冠の製作法を説明できる。	
				GIO 全部被覆冠の意義、特徴について理解し、適応用途を把握する。		

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)
6	10/10	火	児島高德	ユニット3 ブリッジ	① ポンティックの要件と構造を列挙できる。 ② ポンティックの種類と形態を説明できる。 ③ ポンティックの適用部位を説明できる。 ④ 連結法の種類、適応および用途を説明できる。 ⑤ ブリッジを製作できる。
				GIO ポンティックの要件と構造について理解し、ブリッジ製作に伴う技工操作を修得する。	
7	10/17				
8	10/24			ユニット4 インプラント	
				GIO インプラントの目的、構造を理解し、製作法について述べる。	
ユニット5 CAD/CAMシステム					
CAD/CAMシステムの構成について理解する。					
9	10/31			ユニット6 歯冠修復技工学総合	① 歯冠修復技工学の各項目について説明できる。
10	11/7			歯冠修復技工学について総合的に理解する。	
1	11/30	木	手銭親良	ユニット1 歯科技工実習	① 歯科技工作業における基本姿勢と技工機の使い方を説明できる。 ② 口腔内へ補綴装置が装着されるまでの流れを説明できる。 ③ 歯科医師、歯科衛生士への対応について説明できる。
				GIO 歯科技工の基礎を理解する。	
ユニット2 機器・材料(1)	① 手用器具の種類と持ち方・扱い方について説明できる。 ② マイクロモーターの扱いについて説明できる。 ③ 切削・研磨・研磨器材の種類と扱い方について説明できる。				
GIO 機器・材料の取り扱いを理解する。					
2	12/7			ユニット3 機器・材料(2)	① 遠心鑄造機の扱いについて説明できる。 ② レーザー溶接機の概略について説明できる。 ③ 印象や模型の扱いについて説明できる。
				GIO 機器・材料の取り扱いを理解する。	
ユニット4 感染対策	① 感染対策の概念について説明できる。 ② 印象体・模型・補綴装置などの消毒・滅菌について説明できる。 ③ 歯科技工所の粉じん対策について説明できる。				
GIO 感染対策を理解する。					
3	12/14			ユニット5 歯科技工士の任務	① 歯科技工指示書の記載事項について説明できる。 ② 歯科技工録の記載方法について説明できる。 ③ 模型・補綴装置から得られる情報について説明できる。
				GIO 歯科技工士の任務を理解する。	
3	12/14			ユニット6 臨床歯科技工(1)	① 臨床見学・臨床実習について説明できる。
				GIO 臨床見学・臨床実習を理解する。	
3	12/14			ユニット7 臨床歯科技工(2)	① 高齢者における歯科疾患の特徴について説明できる。 ② 訪問歯科診療における歯科技工士の役割について説明できる。
				GIO 訪問歯科診療時の歯科技工の役割を理解する。	
4	12/21			ユニット8 臨床歯科技工(3)	① 分割ポスト・コアを製作できる。 ② 半固定性(可動性)ブリッジを製作できる。 ③ 審美修復のためにクラウン・ブリッジを製作できる。 ④ ホワイトニングのためのカスタムトレーを作製できる。 ⑤ クラウンの不具合の原因について説明できる。
				GIO 歯冠修復における歯科技工を理解する。	

歯冠修復基礎実習

8単位 ①(4h×34回)
②(4h×54回)

本学期的学習目標(GIO)

各種歯冠修復物の製作工程について理解し、技工操作に必要な材料、器具を取り扱うことができる。

学年		学期	曜日	時間	担当	講義場所
1	①	前期 (4~9月)	火水木	9:15~10:45 10:55~12:25 15:05~16:35	吉田萌香(歯科技工士) 水野良祐(歯科技工士)	基礎実習室
		後期 (10~12月)	火			
	②	前期 (9月)	月金	9:15~10:45 10:55~12:25 13:25~14:55 15:05~16:35		
		後期 (10~1月)	月水金			

テキスト・参考資料

最新歯科技工士教本[歯冠修復技工学] / 実習帳

成績評価

提出作品

使用材料・機具

別紙(歯冠修復基礎実習器材[①] / [②]参照)

オフィスアワー

12:25~13:25

*回数は半日の実習を1回とする。

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)
歯冠修復基礎実習[①]					
基礎実習					
1	4/12	水	吉田萌香 水野良祐	ユニット1 模型製作(石膏注入) GIO 石膏注入、模型作製の基本的な作業を理解する。	① 石膏練和に必要な器具を準備する。 ② 石膏練和、注入を実施する。
2	4/18	火			
3	4/19	水		ユニット2 咬合器装着 ユニット3 提出 GIO 模型咬合器装着の基本的な作業を理解する。	① 咬合器装着に必要な器材を準備する。 ② 咬合器装着ができる。
4	4/25	火			
実習前課題				全部金属冠の製作(500A・上顎)2本 ユニット1 作業用模型の製作1 GIO 石膏注入、模型作製の基本的な作業を理解する。	① 石膏練和に必要な器具を準備する。 ② 石膏練和、注入を実施する。 (4/26までに模型を準備。)
5	4/26	水	吉田萌香 水野良祐	ユニット2 作業用模型の製作2 ユニット3 咬合器装着 GIO 作業用模型製作操作を身に付ける。 対合関係を理解し、咬合器装着法を身に付ける。	① モールドを使用して、作業用模型の製作を実施する。 ② 歯型の分割およびトリミングを実施する。 ③ 咬合器装着に必要な器材を準備する。 ④ 咬合器装着操作を実施する。
6	5/2	火			

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	
7	5/9	火	吉田萌香 水野良祐	ユニット4 ワックスパターン形成	① ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 ② ワックスパターン形成の術式について述べる。 ③ ワックスパターン形成操作を実施する。	
				GIO 使用する機材の特徴について理解する。 ワックスパターン形成の術式を知る。		
8	5/10	水		ユニット5 埋 没	① 埋没操作の術式について述べる。 ② 埋没に必要な器材を準備する。 ③ 埋没操作を実施する。 ④ 鋳造法について説明する。 ⑤ 鋳造法を実施する。 ⑥ 鋳造後処理を実施する。 (その日に鋳造できない場合は、翌日実施。)	
				ユニット6 鋳 造		
9	5/16	火		GIO 埋没から鋳造までの流れを理解し、埋没、 鋳造操作を身に付ける。		
10	5/17	水				
11	5/24	水				
12	5/31	水		ユニット7 研 磨	① 鋳造後処理を実施する。 ② 調整研磨法について説明する。 ③ 調整研磨に必要な器材を準備する。 ④ 研磨に必要な器材を準備する。 ⑤ 研磨の手順を述べる。 ⑥ 研磨を実施する。 ⑦ 製作物を提出する。	
				ユニット8 提 出		
				GIO 鋳造体の研磨方法を身に付け、技工操作 の流れを確認する。		
13	6/7	水				
実習前課題				全部金属冠の製作(500A・下顎)2本	① 石膏練和に必要な器具を準備する。 ② 石膏練和、注入を実施する。 ③ モールドを使用して、作業用模型の製作を実施する。 ④ モールドを使用して、作業用模型の製作を実施する。 ⑤ 歯型の分割およびトリミングを実施する。 ⑥ 咬合器装着に必要な器材を準備する。 ⑦ 咬合器装着操作を実施する。 (6/8までに模型を準備。)	
				ユニット1 作業用模型の製作		
				ユニット2 咬合器装着		
			GIO 歯冠修復物製作の流れを理解する。 作業用模型製作操作を身に付ける。 対合関係を理解し、咬合器装着法を身に 付ける。			
14	6/8	水	吉田萌香 水野良祐	ユニット3 ワックスパターン形成	① ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 ② ワックス操作を実施する。 ③ 埋没法に必要な器材を準備する。 ④ 埋没操作の術式について述べる。 ⑤ 埋没操作を実施する。 ⑥ 鋳造法について説明する。 ⑦ 鋳造法を実施する。 ⑧ 鋳造後処理を実施する。 (その日に鋳造できない場合は、翌日実施。)	
15	6/15	木		ユニット4 埋 没		
				ユニット5 鋳 造		
				GIO ワックス操作の実際を身に付ける。 埋没から鋳造までの流れを理解し、埋没 操作を身に付ける。		
16	6/22	木				
17	6/29	木				
18	7/6	木	ユニット6 研 磨	① 鋳造後処理を実施する。 ② 調整研磨法について説明する。 ③ 調整研磨に必要な器材を準備する。 ④ 研磨に必要な器材を準備する。 ⑤ 研磨の手順を述べる。 ⑥ 研磨を実施する。 ⑦ 製作物を提出する。		
			ユニット7 提 出			
			GIO 鋳造体の研磨方法を身に付け、技工操作 の流れを確認する。			
19	7/13	木				

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)
実習前課題				全部金属冠の製作(500B・上下顎)4本	① 石膏練和に必要な器具を準備する。 ② 石膏練和、注入を実施する。 ③ モールドを使用して、作業用模型の製作を実施する。 ④ モールドを使用して、作業用模型の製作を実施する。 ⑤ 歯型の分割を実施する。 (7/20までに最低②までは準備。)
				ユニット1 作業用模型の製作	
				GIO 石膏注入、模型作製の基本的な作業を理解する。	
20	7/20	木	吉田萌香 水野良祐	ユニット2 咬合器装着 GIO 対合関係を理解し、咬合器装着法を身に付ける。	① 歯型のトリミングを実施する。 ② 咬合器装着に必要な器材を準備する。
21	7/25				
22	9/5				
23	9/12	火		ユニット3 ワックスパターン形成 ユニット4 埋 没 ユニット5 鑄 造 GIO ワックス操作の実際を身に付ける。埋没から鑄造までの流れを理解し、埋没操作を身に付ける。	① ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 ② ワックス操作を実施する。 ③ 埋没法に必要な器材を準備する。 ④ 埋没操作の術式について述べる。 ⑤ 埋没操作を実施する。 ⑥ 鑄造法について説明する。 ⑦ 鑄造法を実施する。 ⑧ 鑄造後処理を実施する。 (その日に鑄造できない場合は、翌日実施。)
24	9/19				
25	9/26				
26	10/3				
27	10/10				
28	10/17			ユニット6 研 磨 ユニット7 提 出 GIO 鑄造体の研磨方法を身に付け、技工操作の流れを確認する。	① 鑄造後処理を実施する。 ② 調整研磨法について説明する。 ③ 調整研磨に必要な器材を準備する。 ④ 研磨に必要な器材を準備する。 ⑤ 研磨の手順を述べる。 ⑥ 研磨を実施する。 ⑦ 製作物を提出する。
29	10/24				
実習前課題				インレーの製作 1級窩洞1本・2級窩洞1本	① 石膏練和に必要な器具を準備する。 ② 石膏練和、注入を実施する。 ③ モールドを使用して、作業用模型の製作を実施する。 ④ モールドを使用して、作業用模型の製作を実施する。 ⑤ 歯型の分割を実施する。 (10/31までに模型を準備。)
				ユニット1 作業用模型の製作	
				GIO 石膏注入、模型作製の基本的な作業を理解する。	
30	10/31	火	吉田萌香 水野良祐	ユニット2 咬合器装着 GIO 対合関係を理解し、咬合器装着法を身に付ける。	① 歯型のトリミングを実施する。 ② 咬合器装着に必要な器材を準備する。 ③ 咬合器装着操作を実施する。
31	11/7				
32	11/14				
33	11/21			ユニット3 ワックスパターン形成 ユニット4 埋 没 ユニット5 鑄 造 GIO ワックス操作の実際を身に付ける。埋没から鑄造までの流れを理解し、埋没操作を身に付ける。	① ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 ② ワックス操作を実施する。 ③ 埋没法に必要な器材を準備する。 ④ 埋没操作の術式について述べる。 ⑤ 埋没操作を実施する。 ⑥ 鑄造法について説明する。 ⑦ 鑄造法を実施する。 ⑧ 鑄造後処理を実施する。 (その日に鑄造できない場合は、翌日実施。)
34	11/28				
		ユニット6 研磨前準備 GIO 鑄造後処理を実施する。さらに、鑄造体の研磨法を知る。	① 鑄造後処理を実施する。 ② 研磨法について説明する。 ③ 研磨の手順を述べる。 ④ 研磨前準備を実施する。 ⑤ 研磨に必要な器材を準備する。		
		ユニット7 研 磨 ユニット8 提 出 GIO 鑄造体の研磨方法を身に付け、技工操作の流れを確認する。		⑥ 研磨を実施する。 ⑦ 技工操作の流れを具体的に述べる。 ⑧ 製作物を提出する。	

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)
歯冠修復基礎実習〔2〕					
実習前課題				硬質レジン前装冠の製作	① 石膏練和に必要な器具を準備する。 ② 石膏練和、注入を実施する。 (9/1までに模型を準備。)
				ユニット1 作業用模型の製作1 GIO 石膏注入、模型作製の基本的な作業を理解する。	
1	9/1	金	吉田萌香 水野良祐	ユニット2 作業用模型の製作2 GIO 作業用模型製作操作を身に付ける。	① モールドを使用して、作業用模型の製作を実施する。 ② 歯型の分割およびトリミングを実施する。
2	9/4	月			
3	9/8	金		ユニット3 ワックスパターン形成 GIO 使用器材の特徴を理解し、ワックスパターン形成の術式を知る。	① ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 ② ワックスパターン形成の術式について述べる。 ③ ワックスパターン形成操作を実施する。
4		月			
5	9/11	月			
6	9/15	金			
7	9/22	金		ユニット4 窓開け GIO 前装形態を理解し、窓開け法を身に付ける。	① 窓開けの術式について述べる。 ② 窓開け操作を実施する。 ③ 維持装置付与に必要な器材を準備する。 ④ 維持装置付与の術式を述べる。 ⑤ 維持装置の付与を実施する。 ⑥ 埋没操作の術式について述べる。 ⑦ 埋没に必要な器材を準備する。 ⑧ 埋没操作を実施する。 ⑨ 鋳造法について説明する。 ⑩ 鋳造法を実施する。 (その日に鋳造できない場合は、各自で翌日実施する。)
8		月			
9	9/25	月		ユニット5 維持装置の付与 ユニット6 埋 没 ユニット7 鋳 造	
10	9/27	水		GIO 維持装置の目的を理解する。 埋没から鋳造までの流れを理解し、埋没鋳造操作を身に付ける。	
11		金			
12	9/29	金			
13	10/2	月		ユニット8 メタルフレームの調整 GIO 鋳造後の後処理を実施する。鋳造体の調整研磨法を知り、技工操作を習得する。	① 鋳造後処理を実施する。 ② 調整研磨に必要な器材を準備する。 ③ 調整研磨法について説明する。 ④ 調整研磨法を実施する。
14	10/4	水			
15	10/11	水		ユニット9 前装部の接着処理 ユニット10 前装材の築盛・重合 GIO 前装部の接着処理の目的を理解する。 手指や形成器の使用方法を理解し、レジン操作の実際を身に付ける。	① 接着処理法について説明する。 ② 接着処理に必要な器材を準備する。 ③ 接着処理法を実施する。 ④ 前装材の築盛・重合に必要な器材を準備する。 ⑤ 適切な作業姿勢や器具の配置を模倣する。 ⑥ 手指や形成器の正しい使い方を実施する。 ⑦ 前装材築盛を実施する。 ⑧ 前装材の築盛の術式について述べる。 ⑨ 前装材の築盛操作を実施する。 ⑩ 前装材の築盛操作を実施する。 ⑪ 形態修正に必要な器材を準備する。
16		月			
17	10/16	月			
18	10/18	水			
19	10/20	金		ユニット11 前装部の形態修正 ユニット12 研 磨 ユニット13 提 出	① 形態修正の術式について述べる。 ② 形態修正を実施する。 ③ 研磨法について説明する。 ④ 研磨の手順について述べる。 ⑤ 研磨に必要な器材を準備する。 ⑥ 研磨を実施する。 ⑦ 技工操作の流れを具体的に述べる。 ⑧ 製作物を提出する。
20		月			
21	10/23	月		仕上げ研磨法の実際を身に付け、技工操作の差枯れを確認する。	
22	10/25	水			

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)
課題				上顎臼歯部固定性ブリッジの製作	① 石膏練和に必要な器具を準備する。 ② 石膏練和、注入を実施する。 (10/23までに模型を準備。)
				ユニット1 作業用模型、対合模型の製作	
				GIO 石膏注入、模型作製の基本的な作業を理解する。	
23	10/25	水	吉田萌香 水野良祐	ユニット2 作業用模型の製作	① モールドを使用して、作業用模型の作業を実施する。 ② 歯型の分割およびトリミングを実施する。
24	10/27	金		ユニット3 咬合器装着	
25	10/30	月		GIO 対合関係を理解し、咬合器装着法を身に付ける。	③ 咬合器装着に必要な器材を準備する。 ④ 咬合器装着操作を実施する。
26	11/1	水		ユニット4 ワックスパターン形成	① ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 ② ワックスパターン形成の術式について述べる。 ③ ワックスパターン形成操作を実施する。 ④ 窓開けの術式について述べる。 ⑤ 窓開け操作を実施する。
27				GIO 使用器材の特徴を理解し、ブリッジのワックスパターン形成術式を知る。	
28	11/6	月		ユニット5 窓開け	⑥ 連結法について説明する。 ⑦ 連結法を実施する。 ⑧ 維持装置付与の術式を述べる。 ⑨ 維持装置付与に必要な器材を準備する。 ⑩ 維持装置の付与を実施する。 ⑪ 埋没操作の術式について述べる。 ⑫ 埋没に必要な器材を準備する。
29	11/8	水		GIO ワックスパターン形成を実施する。前装形態を理解し、窓開け法を身に付ける。	
30	11/10	金		ユニット6 連結	⑬ 埋没操作を実施する。 ⑭ 鑄造法について説明する。 ⑮ 鑄造法を実施する。 (その日に鑄造できない場合は、各自で翌日実施する。)
31				ユニット7 維持装置の付与	
32	11/13	月		ユニット8 埋没	⑬ 埋没操作を実施する。 ⑭ 鑄造法について説明する。 ⑮ 鑄造法を実施する。
33	11/17	金		ユニット9 鑄造	
34	11/20	月		GIO 連結の術式を理解し、実施する。維持装置の目的を理解する。	① 鑄造後処理を実施する。 ② 調整研磨法について説明する。 ③ 調整研磨に必要な器材を準備する。 ④ 調整研磨を実施する。 ⑤ 接着処理法について説明する。 ⑥ 接着処理法に必要な器材を準備する。 ⑦ 接着処理法を実施する。 ⑧ 前装材の築盛・重合に必要な器材を準備する。 ⑨ 適切な作業姿勢や器具の配置を模倣する。 ⑩ 手指や形成器の正しい使い方を実施する。 ⑪ 前装材の築盛の寿つきについて述べる。 ⑫ 前装材の築盛操作を実施する。
35				ユニット10 メタルフレームの調整	
36				GIO 鑄造後の後処理を実施する。鑄造体の調整研磨法を知り、技工操作を習得する。	
37	11/24	金		ユニット11 前装部の接着処理	⑦ 接着処理法を実施する。 ⑧ 前装材の築盛・重合に必要な器材を準備する。 ⑨ 適切な作業姿勢や器具の配置を模倣する。 ⑩ 手指や形成器の正しい使い方を実施する。 ⑪ 前装材の築盛の寿つきについて述べる。 ⑫ 前装材の築盛操作を実施する。
38	11/27	月		ユニット12 前装材の築盛・重合	
39	12/1	金		GIO 前装部の接着処理の目的を理解する。レジン築盛の術式を知り、レジン操作の実際を身に付ける。	① 形態修正に必要な器材を準備する。 ② 形態修正の術式について述べる。 ③ 形態修正を実施する。 ④ 研磨法について説明する。 ⑤ 研磨の手順について述べる。 ⑥ 研磨に必要な器材を準備する。 ⑦ 研磨を実施する。 ⑧ 技工操作の流れを具体的に述べる。 ⑨ 製作物を提出する。
40				ユニット13 前装部の形態修正	
41	12/4	月		ユニット14 研磨	④ 研磨法について説明する。 ⑤ 研磨の手順について述べる。 ⑥ 研磨に必要な器材を準備する。 ⑦ 研磨を実施する。 ⑧ 技工操作の流れを具体的に述べる。 ⑨ 製作物を提出する。
42	12/11	月		ユニット15 提出	
				GIO 仕上げ研磨法の実際を身に付け、技工操作の流れを確認する。	

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)
43	12/11	月	吉田萌香 水野良祐	実技試験対策模型の製作と練習	① 石膏練和に必要な器材を準備する。 ② 石膏練和、注入を実施する。 ③ モールドを使用して、作業用模型の作業を実施する。
44				ユニット1 作業用模型製作(上顎模型)	
	GIO 歯冠修復物製作の流れを理解し、作業用模型製作操作を身に付ける。				
45	12/18	月		ユニット2 作業用模型製作(下顎模型)	① 石膏練和に必要な器材を準備する。 ② 石膏練和、注入を実施する。 ③ モールドを使用して、作業用模型の作業を実施する。
46				GIO 歯冠修復物製作の流れを理解し、作業用模型製作操作を身に付ける。	
	12/20	水			
47	1/15	月		ユニット3 作業用模型の製作②	① 歯型の分割およびトリミングを実施する。 ② 咬合器装着に必要な器材を準備する。 ③ 咬合器装着操作を実施する。
48				ユニット4 咬合器装着	
		GIO 対合関係を理解し、咬合器装着法を身に付ける。			
49	1/16	火		ユニット5 ワックスパターン形成	① ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 ② ワックスパターン形成の術式について述べる。 ③ ワックスパターン形成操作を実施する。
50				GIO 使用器材の特徴を理解し、ワックスパターン形成術式を知る。	
51	1/22	月		ユニット5繰り返し	
52					
53	1/23	火		ユニット5繰り返し	
54					

別紙(歯冠修復基礎実習器材[1])

回	月日	曜日	時限	製作物	使用器材
1	4/12	水	①②	基礎実習	[模型製作] シリコーン陰型、トーフスプレー、硬質石膏、スパチュラ、ラバーボール、パイプレーター、マイクロモーター、ダウエルピン、分離材
2	4/18	火	①②		[咬合器装着] スペイシー咬合器、ユーティリティワックス、普通石膏、スパチュラ、ラバーボール
3	4/19	水	①②		
4	4/25	火	①②		
5	4/26	水	①②	全部金属冠 (500A・上顎)	[模型製作] シリコーン陰型、トーフスプレー、硬質石膏、スパチュラ、ラバーボール、パイプレーター、マイクロモーター、ダウエルピン、分離材
6	5/2	火	①②		[模型分割、トリミング] 糸ノコ、マイクロモーター、ラウンドバー、タングステンカーバイトバー、デザインナイフ
7	5/9	火	①②		[咬合器装着] スペイシー咬合器、ユーティリティワックス、普通石膏、スパチュラ、ラバーボール
8	5/10	水	①②		[クラウンワックスパターン形成] マージンワックス、インレーワックス、パラフィンワックス、ブンゼンバーナー、インスツルメント
9	5/16	火	①②		[埋没] 円錐台、リング、クリストバライト21、真空攪拌器、スパチュラ、ラバーボール、パイプレーター
10	5/17	水	①②		[鑄造] 遠心鑄造機、ガスバーナー、Kメタル
11	5/24	火	①②		
12	5/31	水	①②		[研磨] マイクロモーター、カーボランダムポイント、ペーパーコーン、ラウンドバー、フィッシャーバー、咬合紙、シリコーンポイント、鹿革
13	6/7	水	①②		
14	6/8	木	①②	全部金属冠 (500A・下顎)	[模型製作] シリコーン陰型、トーフスプレー、硬質石膏、スパチュラ、ラバーボール、パイプレーター、マイクロモーター、ダウエルピン、分離材
15	6/15	木	①②		[模型分割、トリミング] 糸ノコ、マイクロモーター、ラウンドバー、タングステンカーバイトバー、デザインナイフ
16	6/22	木	①②		[咬合器装着] スペイシー咬合器、ユーティリティワックス、普通石膏、スパチュラ、ラバーボール
17	6/29	木	①②		[クラウンワックスパターン形成] マージンワックス、インレーワックス、パラフィンワックス、ブンゼンバーナー、インスツルメント
18	7/6	木	①②		[埋没] 円錐台、リング、クリストバライト21、真空攪拌器、スパチュラ、ラバーボール、パイプレーター
19	7/13	木	①②		[鑄造] 遠心鑄造機、ガスバーナー、Kメタル
					[研磨] マイクロモーター、カーボランダムポイント、ペーパーコーン、ラウンドバー、フィッシャーバー、咬合紙、シリコーンポイント、鹿革

回	月日	曜日	時限	製作物	使用器材
20	7/20	木	①②	全部 金属冠 (500B・上下顎)	[模型製作] シリコン陰型、トーフスプレー、硬質石膏、スパチュラ、ラバーボール、パイプレーター、マイクロモーター、ダウエルピン、分離材
21	7/25	火	③④		[模型分割、トリミング] 糸ノコ、マイクロモーター、ラウンドバー、タングステンカーバイトバー、デザインナイフ
22	9/5	火	①②		[咬合器装着] スペイシー咬合器、ユーティリティワックス、普通石膏、スパチュラ、ラバーボール
23	9/12	火	①②		[クラウンワックスパターン形成] マージンワックス、インレーワックス、パラフィンワックス、ブンゼンバーナー、インストゥルメント
24	9/19	火	①②		[埋没] 円錐台、リング、クリストパライト21、真空攪拌器、スパチュラ、ラバーボール、パイプレーター
25	9/26	火	①②		[鑄造] 遠心鑄造機、ガスバーナー、Kメタル
26	10/3	火	①②		
27	10/10	火	①②		
28	10/17	火	①②		[研磨] マイクロモーター、カーボランダムポイント、ペーパーコーン、ラウンドバー、フィッシャーバー、 咬合紙、シリコンポイント、鹿革
29	10/24	火	①②		
30	10/31	火	①②	イン レ ー	[模型製作] シリコン陰型、トーフスプレー、硬質石膏、スパチュラ、ラバーボール、パイプレーター、マイクロモーター、ダウエルピン、分離材
31	11/7	火	①②		[模型分割、トリミング] 糸ノコ、マイクロモーター、ラウンドバー、タングステンカーバイトバー、デザインナイフ
32	11/14	火	①②		[咬合器装着] スペイシー咬合器、ユーティリティワックス、普通石膏、スパチュラ、ラバーボール
33	11/21	火	①②		[インレーワックスパターン形成] マージンワックス、インレーワックス、パラフィンワックス、ブンゼンバーナー、インストゥルメント、ワックス分離材
34	11/28	火	①②		[埋没] 円錐台、リング、クリストパライト21、真空攪拌器、スパチュラ、ラバーボール、パイプレーター
					[鑄造] 遠心鑄造機、ガスバーナー、Kメタル
					[印象採得] アルジネット印象材、その他印象採得に必要な器材
					[研磨] マイクロモーター、カーボランダムポイント、ペーパーコーン、ラウンドバー、フィッシャーバー、 咬合紙、シリコンポイント、鹿革

回	月日	曜日	限	製作物	使用器具
1	9月1日	金	③④	硬質レジン前装冠D/E	[模型製作] 硬質石膏、シリコン陰型、トワスプレー、ラバーボール、スパチュラ、真空練和容器、真空練和器、ハイプレター、その他模型製作に必要な器材
2	9月4日	月	①②		[作業用模型製作①/台付け] ダウエルピン穴穿孔機、ダウエルピン、ダッペンガラス、瞬間接着剤、重合促進液、ダウエルピンゴムキャップ、台付け用モールド、台付け用硬質石膏、ラバーボール、スパチュラ、真空練和容器、真空練和器、ハイプレター、もんじゃ用ヘラ、その他作業用模型製作に必要な器材
3	9月8日	金	④		[作業用模型製作②/鋸入れ・トリミング] 鋸、ダウエルピン抜きハンマーセット、マイクロモーター、タングステンカーバイトハ、ラウトハ-(NO.8)、ペーパーコン、青色えんぴつ、スベラー(マスキングゾル)、石膏硬化剤(ハルテパート)、その他鋸入れ・トリミングに必要な器材
4			①②		[ワックスパターン形成] ガスバーナー、ライター、ワックス分離剤(シーサーバリア)、マージンワックス、インレワックス、ワックススパチュラ、ワックスインストルメント、エハン彫刻刀、咬合紙、筆、その他ワックスパターン形成に必要な器材
5	9月11日	月	①② ③		[窓開け] メジャリングテーブル、エハン彫刻刀 [維持装置の付与] リテンションペースト150、リテンションペースト液
6	9月15日	金	①②		[リム・ハルプ付与/スプルーイング] ガスバーナー、ライター、ユーティリティワックス、ワックスインストルメント、レディキャストインクワックスR10・R20
7	9月22日	金	①②		[埋 没] 円錐台(小)、リング(小)、キャストインクライナー、トワスプレー、石膏系埋没材(クリスト21)、ラバーボール、スパチュラ、真空練和容器、真空練和器、ハイプレター、筆(細)
8			③④		[鑄 造] 電気炉、遠心鑄造機、ルツボ(Kメタル用)、Kメタル、リングトング、フロパイプ、ライター、フラックス(ホウ砂)
9	9月25日	月	①② ④		[メタルフレームの調整・研磨] マイクロスコープ、マイクロモーター、その他調整研磨に必要なポイント類、器材
10	9月27日	水	③④		[接着処理] アルミナサントブラスト、アセトン、超音波洗浄器、止血鉗子、スチーマー
11	9月29日	金	③④		[レジン築盛・重合] レジン成形器ノアル#3、ユニブラシ、止血鉗子、セラマージュクリナー、α-ライト光重合器、サブライト、硬質レジン(松風:ソリテックスハーテュラ)、その他レジン築盛に必要な器材
12	10月2日	月	①②		[レジン形態修正、仕上げ研磨] マイクロモーター、マイクロスコープ、レジン形態修正に必要な器材、メタルレジンの仕上げ研磨に必要な器材
13			③④		
14	10月4日	水	④		
15	10月11日	水	③④		
16	10月16日	月	①②		
17			③④		
18	10月18日	水	③④		
19	10月20日	金	③④		
20	10月23日	月	①②		
21			③④		
22	★ 10月25日	水	③		

回	月日	曜日	限	製作物	使用器具
23	10月25日	水	④	上顎臼歯部固定性ブリッジ	[模型製作] 硬質石膏、普通石膏、シリコン陰型、トワスプレ、その他模型製作に必要な器材
24	10月27日	金	③④		[作業用模型の製作] 台付け用モールド、台付け用硬質石膏、ダウエルピン穴穿孔機、その他作業用模型製作に必要な器材
25	10月30日	月	①②		[咬合器装着] YDMスピーシー咬合器アルコン型、普通石膏、その他咬合器装着に必要な器材
26			③④		
27	11月1日	水	③④		[ワックスパターン形成] ガスバーナー、ライター、ワックス分離剤(シーサーハリア)、マージンワックス、インレワックス、ワックスパチュラ、ワックスインスツルメント、エバン彫刻刀、咬合紙、筆、その他ワックスパターン形成に必要な器材
28	11月6日	月	①②		[窓開け] メジャリングデバイス、エバン彫刻刀
29			③④		[連結] ガスバーナー、インレワックス、パターンレジン(粉・液)、筆、その他連結操作に必要な器材
30	11月8日	水	③④		[維持装置の付与] リテンションペースト150、リテンションペースト液
31	11月10日	金	③④		[リム・ハルプ付与/スプルーイング] ガスバーナー、ライター、ユーティリティワックス、ワックスインスツルメント、レディキャストワックスR10・R20・R40、ランナーバー、パラフィンワックス
32			①②		[埋没] 円錐台(小)、リング(小)、キャストワックスライナー、トワスプレ、石膏系埋没材(クリスト21)、ラバーホール、スパチュラ、真空練和容器、真空練和器、パイプレーター、筆(細)
33	11月17日	金	③④		[鑄造] 電気炉、遠心鑄造機、ルツホ(Kメタル用)、Kメタル、リングトング、フロパイプ、ライター、フラックス(ホウ砂)
34			①②		
35	11月20日	月	③④		[メタルフレームの調整・研磨] マイクروسコフ、マイクロモーター、その他調整研磨に必要なポイント類、器材
36			①②		[接着処理] アルミナサントプラスト、アセトン、超音波洗浄器、止血鉗子、スチーマー
37	11月27日	月	③④		[レジン築盛・重合] レジン成形器/アル#1、ユニブラシ、止血鉗子、セラマージュクリナー、α-ライト光重合器、サブライト、硬質レジン(松風:ソリテックスハーテュラ)、その他レジン築盛に必要な器材
38			①②		
39	12月1日	金	③④		[レジン形態修正、仕上げ研磨] マイクロモーター、マイクروسコフ、レジン形態修正に必要な器材、メタルレジンの仕上げ研磨に必要な器材
40			①②		
41	12月4日	月	③④		
42			①		★ 12月11日

回	月日	曜日	限	製作物	使用器具	
43	12月11日	月	②	実技評価試験対策	[模型製作] 硬質石膏、普通石膏、シリコン陰型、トワスプレ、その他模型製作に必要な器材 [作業用模型の製作] 台付け用モールド、台付け用硬質石膏、ダウエルピン穴穿孔機、その他作業用模型製作に必要な器材 [咬合器装着] YDMスペイシー咬合器アルコン型、普通石膏、その他咬合器装着に必要な器材	
44			③④			
45	12月18日	月	①②			
46			③④			
47	12月20日	水	①			
48			①②			
49	1月15日	月	③④			
50			①②			
51	1月16日	火	③④			[ワックスパターン形成] ガスパナ、ライター、ワックス分離剤(シーサーバリア)、マージンワックス、インレワックス、ワックスパチュラ、ワックスインストルメント、エバン彫刻刀、咬合紙、筆、その他ワックスパターン形成に必要な器材
52			①②			
53	1月22日	月	③④			
54			①②			
55	1月23日	火	③④			
56			①②			

歯冠修復歯科技工学実習

3単位 (4h×33回)

本学期的学習目標(GIO)

歯冠修復技工学の意義と目的を理解し、技工操作を習得する。

学年	学期	曜日	時間	担当者	講義場所
2	前期 (4~7月)	火	13:25~14:55 15:05~16:35	吉田萌香 (歯科技工士) 水野良祐 (歯科技工士)	技工実習室
		金	9:15:10:45 10:55~12:25		
			13:25~14:55 15:05~16:35		

テキスト・参考書

最新歯科技工学教科書[歯冠修復技工学] / 実習帳

成績評価

提出作品

使用材料・機具

別紙(歯冠修復技工学実習器材)参照

オフィスアワー

12:25~13:25

*回数は半日の実習を1回とする。

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	
1	4/7	金	吉田萌香 水野良祐	全部金属冠の製作	① 模型製作に必要な器材を準備する。 ② 石膏練和、注入を実施する。 ③ ダイロクトレーを用いた作業用模型製作操作の術式について述べる。 ④ ダイロクトレーを用いて、作業用模型製作を実施する。 ⑤ 歯型の分割およびトリミングを実施する。 ⑥ 咬合器装着に必要な器材を準備する。 ⑦ 南加大咬合器を用いた装着操作の術式について述べる。 ⑧ 南加大咬合器装着操作を実施する。	
				ユニット1 模型製作 ユニット2 咬合器装着 GIO 歯冠修復物製作の流れを理解し、作業用模型製作操作を身に付ける。		
2	4/11	火		ユニット3 ワックスパターン形成 GIO 使用する機材の特徴について理解する。 ワックスパターン形成の術式を知る。 ワックス操作の実際を知る。		① ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 ② 適切な作業姿勢や器具の配置を模倣する。 ③ 手指や形成器の正しい使い方を実施する。 ④ ワックスパターン形成の術式について述べる。 ⑤ ワックスパターン形成操作を実施する。
				ユニット4 埋没 ユニット5 鑄造 GIO 埋没から鑄造までの流れを理解する。 埋没操作、鑄造および鑄造後処理を実施する。		
3	4/14	金		ユニット6 研 磨 ユニット7 提 出 GIO 鑄造体の研磨方法を身に付け、技工操作の流れを確認する。		⑦ 調整研磨法について説明する。 ⑧ 調整研磨に必要な器材を準備する。 ⑨ 研磨に必要な器材を準備する。 ⑩ 研磨の手順を述べる。 ⑪ 研磨を実施する。 ⑫ 製作物を提出する。
				ユニット4 埋没 ユニット5 鑄造 GIO 埋没から鑄造までの流れを理解する。 埋没操作、鑄造および鑄造後処理を実施する。		
4	4/18	火	ユニット6 研 磨 ユニット7 提 出 GIO 鑄造体の研磨方法を身に付け、技工操作の流れを確認する。	⑦ 調整研磨法について説明する。 ⑧ 調整研磨に必要な器材を準備する。 ⑨ 研磨に必要な器材を準備する。 ⑩ 研磨の手順を述べる。 ⑪ 研磨を実施する。 ⑫ 製作物を提出する。		
			ユニット4 埋没 ユニット5 鑄造 GIO 埋没から鑄造までの流れを理解する。 埋没操作、鑄造および鑄造後処理を実施する。			
5	4/21	金	ユニット6 研 磨 ユニット7 提 出 GIO 鑄造体の研磨方法を身に付け、技工操作の流れを確認する。	⑦ 調整研磨法について説明する。 ⑧ 調整研磨に必要な器材を準備する。 ⑨ 研磨に必要な器材を準備する。 ⑩ 研磨の手順を述べる。 ⑪ 研磨を実施する。 ⑫ 製作物を提出する。		
			ユニット4 埋没 ユニット5 鑄造 GIO 埋没から鑄造までの流れを理解する。 埋没操作、鑄造および鑄造後処理を実施する。			
6	4/21	金	ユニット6 研 磨 ユニット7 提 出 GIO 鑄造体の研磨方法を身に付け、技工操作の流れを確認する。	⑦ 調整研磨法について説明する。 ⑧ 調整研磨に必要な器材を準備する。 ⑨ 研磨に必要な器材を準備する。 ⑩ 研磨の手順を述べる。 ⑪ 研磨を実施する。 ⑫ 製作物を提出する。		
			ユニット4 埋没 ユニット5 鑄造 GIO 埋没から鑄造までの流れを理解する。 埋没操作、鑄造および鑄造後処理を実施する。			

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)
7	4/21	金	広野 真 水野良祐	メタルコアの製作	① 石膏練和に必要な器材を準備する。
				ユニット1 作業用模型製作 ユニット2 ワックスパターン形成	② 石膏練和、注入を実施する。 ③ 歯型()のトリミングを実施する。
GIO 歯冠修復物製作の流れを理解する。 使用器材の特徴について理解し、ワックスアップの術式を知る。	④ ワックスパターン形成法の術式について述べる。 ⑤ ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 ⑥ ワックスパターン形成法を実施する。				
8	4/25	火		ユニット3 ワックスパターン形成 ユニット4 埋 没	① ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 ② ワックス操作を実施する。
				GIO ワックス操作の実際を身に付ける。 埋没から鑄造までの流れを理解し、埋没操作を身に付ける。	③ 埋没法に必要な器材を準備する。 ④ 埋没操作の術式について述べる。 ⑤ 埋没操作を実施する。
9	4/28	金		ユニット5 鑄 造 ユニット6 研 磨 ユニット7 提 出	⑥ 鑄造法について説明する。 ⑦ 鑄造法を実施する。 ⑧ 鑄造後処理を実施する。 ⑨ 研磨法について説明する。
10				GIO 鑄造を実施する。 鑄造と鑄造後処理を実施する。 鑄造体の研磨法の実際を知り身に付け、 技工操作の流れを確認する。	⑩ 研磨に必要な器材を準備する。 ⑪ 研磨を実施する。 ⑫ 技工操作の流れを具体的に述べる。 ⑬ 製作物を提出する。
11				5/2	火
12	5/9	火			
13	5/12	金		プロビジョナルレストレーションの製作	① プロビジョナルレストレーション製作操作の術式を述べる。
				ユニット1 歯冠形態の回復 (実習2の模型、メタルコアを使用) GIO 歯冠修復物製作の流れを理解し、ワックス操作を身に付ける。	② ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 ③ ワックスパターン形成操作を実施する。 ④ 印象採得に必要な器材を準備する。 ⑤ 印象採得の術式について述べる。 ⑥ 印象採得を実施する。
14	5/16	火		ユニット2 作業用模型の印象 ユニット3 常温重合レジン of 築盛、圧接 ユニット4 研 磨 ユニット5 提 出	⑦ レジン築盛、圧接に必要な器材を準備する。 ⑧ レジン築盛および圧接操作の術式について述べる。 ⑨ レジン築盛、圧接を実施する。 ⑩ 研磨に必要な器材を準備する。
15			GIO 常温重合レジンによる技工物の製作 手順を理解する。 さらに、鑄造体の研磨方法を身に付け、 技工操作の流れを確認する。	⑪ 研磨の手順を述べる。 ⑫ 研磨を実施する。 ⑬ 技工操作の流れを具体的に述べる。 ⑭ 製作物を提出する。	
実習前課題				硬質レジン前装冠の製作	① 石膏練和に必要な器具を準備する。
				ユニット1 作業用模型の製作 GIO 石膏注入、模型作製の基本的な作業を 理解する。	② 石膏練和、注入を実施する。 ③ モールドを使用して、作業用模型の製作を実施する。 ④ 歯型の分割を実施する。 (5/20までに模型を準備。)
16	5/19	金	ユニット2 咬合器装着 GIO 対合関係を理解し、咬合器装着法を身に 付ける。	① 歯型のトリミングを実施する。 ② 咬合器装着に必要な器材を準備する。 ③ 咬合器装着操作を実施する。	
17			ユニット3 ワックスパターン形成 ユニット4 窓開け	① ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 ② ワックスパターン形成の術式について述べる。	
18	5/23	火	GIO 使用する機材の特徴について理解する。 ワックスパターン形成の術式を知る。 前装形態を 理解し、窓開け法を身に 付ける。	③ ワックスパターン形成操作を実施する。 ④ 窓開けの術式について述べる。 ⑤ 窓開け操作を実施する。	
19	5/26	金			

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	
20	5/26	金	広野 真 水野良祐	ユニット5 維持装置の付与 ユニット6 埋 没 ユニット7 鑄 造 GIO 維持装置の目的を理解する。 埋没材から鑄造までの流れを理解し、 埋没、鑄造操作を身に付ける。	① 維持装置付与に必要な器材を準備する。 ② 維持装置付与の術式を述べる。 ③ 維持装置の付与を実施する。 ④ 埋没操作の術式について述べる。 ⑤ 埋没に必要な器材を準備する。 ⑥ 埋没操作を実施する。 ⑦ 鑄造法について説明する。 ⑧ 鑄造法を実施する。 ⑨ 鑄造後処理を実施する。 (その日に鑄造できない場合は、翌日実施。)	
21	5/30	火				
22	6/2	金		ユニット8 メタルフレームの調整 ユニット9 前装部の接着処理 ユニット10 前装材の築盛・重合 ユニット11 前装部の形態修正 GIO 鑄造後の後処理を実施する。鑄造体の 調整研磨法を知り、技工操作を習得する。 前装部の接着処理の目的を理解する。 レジン築盛の術式を知り、レジン操作の 実際を身に付ける。	① 調整研磨に必要な器材を準備する。 ② 調整研磨法について説明する。 ③ 調整研磨法を実施する。 ④ 接着処理法について説明する。 ⑤ 接着処理に必要な器材を準備する。 ⑥ 接着処理法を実施する。 ⑦ 前装材の築盛・重合に必要な器材を準備する。 ⑧ 適切な作業姿勢や器具の配置を模倣する。 ⑨ 手指や形成器の正しい使い方を実施する。 ⑩ 前装材の築盛の術式について述べる。 ⑪ 前装材の築盛操作を実施する。 ⑫ 形態修正に必要な器材を準備する。 ⑬ 形態修正の術式について述べる。 ⑭ 形態修正を実施する。 ⑮ 研磨法について説明する。 ⑯ 研磨の手順について述べる。 ⑰ 研磨に必要な器材を準備する。 ⑱ 研磨を実施する。 ⑲ 技工操作の流れを具体的に述べる。 ⑳ 製作物を提出する。	
23						
24	6/6	火				
25	6/9	金		ユニット12 研 磨 ユニット13 提 出 GIO 鑄造体の研磨法の実際を身に付け、 技工操作の流れを確認する。		
26						
27	6/13	火				
28	6/20	火		広野 真 水野良祐	ジャケットクラウンの製作 ユニット1 作業用模型の製作 (実習4の模型を使用。) GIO 歯冠修復物製作の流れを理解し、作業 用模型製作操作を身に付ける。	① 歯型の分割およびトリミングを実施する。 ② スペースの付与を実施する。 ③ 築盛・重合に必要な器材を準備する。 ④ 築盛法について説明する。 ⑤ 築盛法を実施する。 ⑥ 築盛・重合に必要な器材を準備する。 ⑦ 築盛法を実施する。 ⑧ 加熱処理に必要な器材を準備する。 ⑨ 加熱処理法について説明する。 ⑩ 加熱処理を実施する。 ⑪ 形態修正に必要な器材を準備する。 ⑫ 形態修正の術式について述べる。 ⑬ 形態修正を実施する。 ⑭ 研磨に必要な器材を準備する。 ⑮ 研磨法について説明する。 ⑯ 研磨の手順について述べる。 ⑰ 研磨を実施する。 ⑱ 技工操作の具体的な流れを述べる。 ⑲ 製作物を提出する。
29	6/27	火			ユニット2 築盛および重合 ユニット3 加熱処理 ユニット4 形態修正 GIO レジン築盛の術式を知り、レジン操作の 実際を身に付ける。 加熱処理法を理解し、身に付ける。 形態修正の術式を知り、調整研磨法を 身に付ける。	
30	7/4	火				
31	7/24	月				
32	7/26	水	ユニット5 研 磨 ユニット6 提 出 GIO 仕上げ研磨法の実際を身に付け、技工 操作の差枯れを確認する。			
33	7/31	月				

別紙(歯冠修復技工実習器材)

★…実習作品、課題作品 提出日

回	月日	曜日	限	製作物	使用器材
1	4月7日	金	①②	全部金属冠	[模型製作] 硬質石膏、シリコン陰型、トワスプレー、その他模型製作に必要な器材
2	4月11日	火	③④		[作業用模型の製作] ダイロケットレー、台付け用硬質石膏、その他作業用模型製作に必要な器材
3	4月14日	金	①②		[咬合器装着] 南加大咬合器、普通石膏、その他咬合器装着に必要な器材
4			③④		[ワックスパターン形成] マージンワックス、インレーワックス、その他ワックスパターン形成に必要な器材
5	4月18日	火	③④		[埋 没] 円錐台・リング(小)、石膏系埋没材(クリストハライト21)、その他埋没材に必要な器材
6	★ 4月21日	金	①②		[鑄 造] 遠心鑄造機、Kメタル、その他鑄造に必要な器材 [研 磨] 金属研磨に必要な器材
7	4月21日	金	③④	メタルコア	[作業用模型製作] 硬質石膏、シリコン陰型、トワスプレー、モデルリヘア、その他模型製作に必要な器材
8	4月25日	火	③④		[ワックスパターン形成] パラフィンワックス、レッドインレーワックス、その他ワックスパターン形成に必要な器材
9	4月28日	金	①②		[埋 没] 円錐台・リング(大)、石膏系埋没材(クリストハライト21)、その他埋没に必要な器材
10			③④		[鑄 造] 遠心鑄造機、Kメタル、その他鑄造に必要な器材 [研 磨] 金属研磨に必要な器材
11	5月2日	火	③④		
12	★ 5月9日	火	③④		
13	5月12日	金	①②	レストレッシュヨナル	[歯冠回復(ワックスパターン形成)] インレーワックス、その他ワックスパターン形成に必要な器材
14			③④		[印象採得] アルジネート印象材、その他印象採得に必要な器材 [常温重合レジンの築盛] 常温重合レジン(粉、液)、レジン用筆、輪ゴム、その他レジン築盛に必要な器材
15			★ 5月16日		火
16	5月19日	金	①②	硬質レジン前装冠	[模型製作] 硬質石膏、普通石膏、シリコン陰型、トワスプレー、その他模型製作に必要な器材
17			③④		[作業用模型の製作] 台付け用モールド、硬質石膏、ダウエルピン穴穿孔機、その他作業用模型製作に必要な器材
18	5月23日	火	③④		[咬合器装着] YDMスピーシー咬合器アルコン型、普通石膏、その他咬合器装着に必要な器材
19	5月26日	金	①②		[ワックスパターン形成] マージンワックス、インレーワックス、その他ワックスパターン形成
20			③④		[窓開け] デンタルメジャリングデバイス、その他窓開けに必要な器材 [維持装置の付与] リテンションビーズ(ビーズ、液)
21	5月30日	火	③④		[埋 没] 円錐台・リング(小)、石膏系埋没材(クリストハライト16)、その他埋没材に必要な器材 [鑄 造] 遠心鑄造機、金銀パラジウム合金、その他鑄造に必要な器材 (*金銀パラジウム合金の湯残りは鑄造後、回収。)
22	6月2日	金	①②		[メタルフレームの調整] パラクリーン、その他調整研磨に必要な器材
23			③④		[接着処理] アルミナサンドブラスト、アセトン、超音波洗浄器、スチーマー [レジン築盛・重合] レジン成形器/アール#1、ユニブラシ、止血鉗子、セラマ-ジュクリナー、α-ライト光重合器、サブライト、 硬質レジン(松風:ソリテックスハーデュラ)、その他レジン築盛に必要な器材
24			6月6日		火
25	6月9日	金	①②		
26			③④		
27	★ 6月13日	火	③④		

回	月日	曜日	限	製作物	使用器材
28	6月20日	火	③④	ジャケットクラウン	[作業用模型の製作](*実習4の作業用模型を使用。) パラフィンワックス、スペーサー付与に必要な器材
29	6月27日	火	③④		[レジン築盛・重合] レジン成形器/アル#1、ユニブラシ、セラマ-ジュクリ-ナ-、 α -ライト光重合器、
30	7月4日	火	③④		サブライト、レジン(クラレ:エステニア)、エアハリアベ [®] -スト、その他レジン築盛に必要な器材
31	7月24日	月	④		[加熱処理] KL-104加熱重合器、エアハリアベ [®] -スト、アルミナサンド [®] ブラスト、その他加熱処理に必要な器材
32	7月26日	水	①②		[レジン形態修正、仕上げ研磨] ダイヤモンドポイント、仕上げ専用研磨材、その他レジン形態修正、仕上げ研磨に必要な器材
33	★ 7月31日	月	①② ④		

小児歯科技工学

2単位 (4h×8回)

本学期的学習目標(GIO)

小児歯科の基礎的概念を理解し、乳歯歯冠修復物と咬合誘導装置製作に関する知識と技術を習得する。

学年	学期	曜日	時間	担当者	講義場所
2	前期 (4~6月)	木	13:25~14:55 15:05~16:35	児島高德	普通教室2

教科書・参考書

著者・编者	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会(編)	最新歯科技工士教本 小児歯科技工学		医歯薬出版株式会社

担当者一覧(実務経験とその関連資格)

児島高德(開業歯科医師)

成績評価

定期試験

オフィスアワー

講義終了後10分間

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)
1	4/6	木	児島高德	ユニット1 小児歯科技工概説 GIO 小児歯科技工の意義と目的を理解する。	① 小児歯科治療の特色を説明できる。 ② 小児歯科治療における小児歯科技工の目的を説明できる。
				ユニット2 歯・顎・顔面の成長発育(1) GIO 小児の歯、歯列および顎顔面の成長発育を理解する。	
2	4/13	木	児島高德	ユニット3 歯・顎・顔面の成長発育(2) GIO 乳歯の形態的特徴について理解する。	① 乳歯の形態的特徴を説明できる。 ② 無歯期における顎の上下対向関係を説明できる。 ③ 顎間空隙を説明できる。
				ユニット4 歯・顎・顔面の成長発育(3) GIO 歯と歯列の発育について理解する。	
4	4/27	木	児島高德	ユニット5 小児の歯冠修復(1) GIO 小児の歯冠修復の特徴を理解する。	① 小児の歯冠修復の種類と特徴を説明できる。

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)
5	5/11	木	児島高德	ユニット6 咬合誘導装置の種類	① 保隙装置の意義と目的を説明できる。 ② 保隙装置の種類を分類できる。 ③ クラウンループ保隙装置(バンドループ保隙装置)の目的、構成および製作法を説明できる。 ④ クラウンループ保隙装置(バンドループ保隙装置)を製作できる。 ⑤ ディスタルシュー保隙装置の目的と構成を説明できる。 ⑥ 舌側弧線型保隙装置(リンガルアーチ)の目的と構成を説明できる。 ⑦ ナンスのホールディングアーチの目的と構成を説明できる。 ⑧ 可撤保隙装置の目的、構成および製作法を説明できる。 ⑨ 可撤保隙装置を製作できる。
				GIO 小児の咬合誘導の目的を理解し、咬合誘導に用いる装置の種類、特徴および構成を類別する。 ユニット7 保隙装置 GIO 保隙装置の目的を理解し、装置の種類、特徴および構成を種別する。	
6	5/18	木	児島高德	ユニット8 スペースリゲーター	① スペースリゲーターの目的と構成を説明できる。 ② スペースリゲーターの製作法を説明できる。 ③ 口腔習癖の種類と口腔への影響を列挙できる。 ④ 口腔習癖除去装置の目的と種類を説明できる。 ⑤ 舌癖除去装置の構成を列挙できる。
				GIO スペースリゲーターの目的および構成を理解し、製作法を知る。 ユニット9 口腔習癖除去装置	
				GIO 口腔習癖の種類と口腔への影響について理解し、装置の目的および構成を知る。	
				ユニット10 咬合誘導装置に用いる維持装置 GIO 咬合誘導装置に用いる維持装置の目的および構成を理解し、製作法を知る。	
7	5/25	木	児島高德	ユニット11 小児歯科技工学総合	① 小児歯科技工学の各項目について説明できる。
8	6/1	木	児島高德	GIO 小児歯科技工学について総合的に理解する。	

小児歯科技工学実習

1単位 (4h×11回)

本学期の学習目標(GIO)

乳歯歯冠修復物、咬合誘導装置の製作工程を理解し、技工操作に必要な材料、器具を取り扱えることができる。

学年	学期	曜日	時間	担当者	講義場所
2	前期 (4-6月)	木	9:15:10:45 10:55~12:24	吉田萌香 (歯科技工士) 水野良祐 (歯科技工士)	技工実習室
			13:25~14:55 15:05~16:34		
	前期 (6-7月)	金	9:15:10:45 10:55~12:25		
			13:25~14:55 15:05~16:35		

テキスト・参考書

最新歯科技工士教本(小児歯科技工学) / 実習帳

成績評価

提出作品

使用材料・機具

別紙(小児歯科技工学実習器材)参照

オフィスアワー

12:25~13:25

*回数は半日の実習を1回とする。

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)
実習前課題				乳歯歯形彫刻の製作	① 石膏練和に必要な器具を準備する。 ② 石膏練和、注入を実施する。 (6/30までに模型を準備。)
				ユニット0 模型の製作	
				GIO 石膏注入、模型作製の基本的な作業を理解する。	
1	6/30	金	吉田萌香 水野良祐	ユニット1 乳臼歯について ユニット2 乳臼歯彫刻() ユニット3 乳臼歯彫刻() ユニット4 提出 GIO 乳臼歯の特徴を理解し、彫刻法を身に付ける。	① 乳臼歯の一般的特徴を述べる。 ② 乳臼歯の形態的特徴を述べる。 ③ 上顎第一乳臼歯の彫刻を実施する。 ④ 下顎第一乳臼歯の彫刻を実施する。 ⑤ 製作物を提出する。
				ユニット5 乳臼歯彫刻() ユニット6 乳臼歯彫刻() ユニット7 提出 GIO 乳臼歯の特徴を理解し、彫刻法を身に付ける。	① 上顎第二乳臼歯の彫刻を実施する。 ② 下顎第二乳臼歯の彫刻を実施する。 ③ 製作物を提出する。
2					

12:25~13:25					
実習前課題		メタルインレーの製作		① 石膏練和に必要な器具を準備する。	
		ユニット0 作業用模型の製作1		② 石膏練和、注入を実施する。	
		GI0 石膏注入、模型作製の基本的な作業を理解する。		(7/8までに模型を準備。)	
3 4	7/8	金	吉田萌香 水野良祐	ユニット1 作業用模型の製作2	① チャネルトレーを用いた作業用模型製作操作の術式について述べる。
				ユニット2 ワックスパターン形成	② チャネルトレーを用いて作業用模型の製作を実施する。
				GI0 歯冠修復物製作の流れを理解する。 使用機材の特徴について理解し、 ワックスパターン形成の術式を知る。	③ 歯型の分割およびトリミングを実施する。
				ユニット3 埋没 ユニット4 鑄造	④ ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。
		GI0 埋没から鑄造までの流れを理解する。 埋没操作、鑄造および鑄造後処理を実施する。		⑤ 適切な作業姿勢や器具の配置を模倣する。	
				⑥ 手指や形成器の正しい使い方を実施する。	
				⑦ ワックスパターン形成操作を実施する。	
				⑧ 埋没に必要な器材を準備する。	
				⑨ 埋没操作の術式について述べる。	
				⑩ 埋没操作を実施する。	
				⑪ 鑄造法について説明する。	
				⑫ 鑄造法を実施する。 (その日に鑄造できない場合は、翌日実施。)	
5	7/11			ユニット5 研磨前準備	① 鑄造後処理を実施する。
				GI0 鑄造後処理を実施する。さらに、鑄造体の研磨法を知る。	② 研磨法について説明する。
				ユニット6 研磨	③ 研磨の手順を述べる。
				ユニット7 提出	④ 研磨前準備を実施する。
				GI0 鑄造体の研磨方法を身に付け、技工操作の流れを確認する。	⑤ 研磨に必要な器材を準備する。
					⑥ 研磨を実施する。
					⑦ 技工操作の流れを具体的に述べる。
					⑧ 製作物を提出する。
実習前課題		スペースリゲナーの製作		① 石膏練和に必要な器具を準備する。	
		ユニット1 模型製作		② 石膏練和、注入を実施する。	
		GI0 石膏注入、模型作製の基本的な作業を理解する。		(7/14までに模型を準備。)	
7	7/14	金	吉田萌香 水野良祐	ユニット2 外形線の記入	① 矯正装置の構成、使用目的および用途について説明する。
				GI0 矯正装置の目的および用途について理解し、 外形線の記入法を身に付ける。	② 外形線の記入法について説明する。
				ユニット3 アダムスのクラスプの屈曲	③ 床の外形線を描記する。
				ユニット4 アダムスのスプリングの屈曲	④ アダムスのクラスプ、スプリングを描記する。
				GI0 アダムスのクラスプおよびスプリングについて理解し、 屈曲操作手順を身に付ける。	⑤ 屈曲に必要な器材を準備する。
					⑥ アダムスのクラスプの屈曲操作手順について述べる。
					⑦ アダムスのクラスプ屈曲を実施する。
					⑧ アダムスのスプリングの屈曲操作手順について述べる。
					⑨ アダムスのスプリングの屈曲を実施する。
9 10	7/21	金	吉田萌香 水野良祐	ユニット5 床の製作	① レジン成形方法の術式を述べる。
				ユニット6 床の形態修正	② レジン成形に必要な器材を準備する。
				GI0 矯正用レジンの使用法について理解し、 レジン成形法を身に付ける。	③ レジン成形操作を実施する。
				レジン床の調整研磨法を知り、粗研磨法を身に付ける。	④ 調整研磨法について説明する。
					⑤ 調整研磨に必要な器材を準備する。
					⑥ 粗研磨を実施する。
11	7/25	火	吉田萌香 水野良祐	ユニット9 中研磨	① 研磨に必要な器材を準備する。
				ユニット10 クラスプおよびスプリングの研磨	② 研磨の手順を述べる。
				ユニット11 仕上げ研磨	③ 研磨を実施する。
				ユニット12 提出	④ 仕上げ研磨を実施する。
				GI0 研磨法の実際を身に付け、技工操作の流れを確認する。	⑤ 技工操作の流れを具体的に述べる。
					⑥ 製作物を提出する。

矯正歯科技工学

2単位 (4h×8回)

本学期的学習目標(GIO)

矯正歯科の基礎的概念を理解し、矯正装置製作に関する知識と技術を習得する。

学年	学期	曜日	時間	担当者	講義場所
2	前期 (4~6月)	木	9:15:10:45 10:55~12:25	松本龍介	普通教室2
			13:25~14:55 15:05~16:35		

教科書・参考書

著者・編者	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会(編)	最新歯科技工士教本 矯正歯科技工学		医歯薬出版株式会社

担当者一覧(実務経験とその関連資格)

松本龍介(開業歯科医師)

成績評価

定期試験

オフィスアワー

講義終了後10分間

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)
1	4/6	木	松本龍介	ユニット1 Introduction	① 正常咬合の条件と種類を列挙できる。 ② 不正咬合について説明できる。 ③ 矯正用口腔模型の種類と特徴を列挙できる。 ④ 平行模型の製作法を説明できる。 ⑤ セットアップモデルの用途と製作法を説明できる。
				矯正歯科治療の意義と目的および、 矯正歯科治療における矯正歯科技工の 目的を理解する。	
				ユニット2 正常咬合と不正咬合 GIO 矯正歯科治療における正常咬合と不正 咬合を理解する。	
2	4/13			ユニット3 矯正用口腔模型の製作 GIO 矯正用口腔模型の種類と特徴を理解する。	① 矯正歯科治療における症例分析法を説明できる。 ② 大人と子供の矯正治療の違いについて説明できる。 ③ 歯が移動するメカニズムと固定源について説明できる。 ④ ホーレーの保定装置の目的、構成および製作法を説明できる。 ⑤ ラップアラウンドリテーナーの目的と構成を説明できる。 ⑥ トゥースポジションナーの目的と構成を説明できる。 ⑦ スプリングリテーナーの目的、構成および製作法を説明できる。 ⑧ 下顎間リテーナーの目的と構成を説明できる。
				ユニット4 矯正歯科治療の流れ GIO 大人および子どもの矯正歯科治療の 進め方とその違いについて理解する。	
				ユニット5 保定装置① 各種保定装置の目的と構成を理解する。	
3	4/20			ユニット6 矯正歯科臨床 GIO 各種動的矯正装置の目的と実際の治療に ついて理解する。	① 各種動的矯正装置の目的と治療効果について説明できる。 ② 矯正装置の必要条件を説明できる。 矯正装置の分類を列挙できる。
				ユニット7 矯正装置の必要条件と分類 GIO 矯正装置の必要条件を理解し、類別する。	

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)
4	5/11	木	松本龍介	ユニット8 矯正歯科技工用器具と器械、材料	① 矯正歯科技工によく用いられる機械名と材料の種類を 列挙できる。 ② 矯正歯科技工によく用いられる機械名と材料の用途を 説明できる。 ③ 矯正歯科技工によく用いられる材料の物性を説明できる。
				GIO 矯正歯科技工に用いる器械・器具名と 材料を列挙し、それらの特徴と物性を 理解する。	
ユニット9 矯正歯科技工の手技1	④ 線屈曲ができる。 ⑤ 自在鑑付けができる。				
GIO 矯正歯科技工における基本的手技を 実際に見て、理解する。					
5	5/18			ユニット10 矯正装置の製作法1	① 舌側弧線装置の目的、構成および製作法を説明できる。 ② 舌側弧線装置を製作できる。 ③ アクチバートルの目的と構成を説明できる。 ④ バイオネーターの目的と構成を列挙できる。 ⑤ 線屈曲ができる。 ⑥ 自在鑑付けができる。 ⑦ 矯正レジンで矯正装置の床部を形成できる。
				GIO 各種動的矯正装置の目的と構成を理解し、 主な装置の製作法を修得する。	
				ユニット11 矯正歯科技工の手技2	
6	5/25			GIO 矯正歯科技工における基本的手技を 実際に見て、理解する。	① 咬合挙上板の目的、構成および製作法を説明できる。 ② 咬合斜面板の目的と構成を列挙できる。 ③ 可撤式拡大装置の目的と構成を列挙できる。 ④ 固定式拡大装置の目的と構成を列挙できる。 ⑤ 固定式急速拡大装置の構成を列挙できる。 ⑥ ヘッドギアの目的と構成を列挙できる。 ⑦ オトガイ帽装置の目的と構成を列挙できる。 ⑧ 上顎前方牽引装置の目的と構成を列挙できる。 ⑨ ナンスのホールディングアーチの目的と構成を説明できる。 ⑩ リップバンパーの目的と構成を説明できる。 ⑪ フレンケルの装置の目的と特徴を説明できる。
		ユニット12 矯正装置の製作法2			
7	6/1	ユニット13 矯正歯科技工学総合	① 過去の国家試験の解答を説明できる。 ② 過去の国家試験対策問題集の解答を説明できる。 ③ 矯正歯科技工学の各単元における要点を説明できる。		
8	6/15	GIO 矯正歯科技工学について総合的に 理解する。 過去の国家試験および国家試験対策 問題集を分析し、国家試験の傾向と 矯正歯科技工学の要点を理解する。			

矯正歯科技工学実習

1単位 (4h×11回)

本学期的学習目標(GIO)

矯正歯科治療の意義と目的を理解し、矯正装置の製作方法を習得する。

学年	学期	曜日	時間	担当者	講義場所
2	前期 (4.6.7月)	木金	9:15:10:45 10:55~12:25 13:25~14:55 15:05~16:35	吉田萌香 (歯科技工士) 水野良祐 (歯科技工士)	技工実習室
	前期 (7月)	水	9:15:10:45 10:55~12:25		

テキスト・参考書

最新歯科技工士教本(小児歯科技工学・矯正歯科技工学) / 実習帳

成績評価

提出作品

使用材料・機具

別紙(矯正歯科技工学実習器材)参照

オフィスアワー

12:25~13:25

*回数は半日の実習を1回とする。

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)
1	6/16	金	吉田萌香 水野良祐	自在鑑付け基礎実習	① 自在鑑付けに必要な器材を準備する。 ② 自在鑑付け法の利点・欠点について述べる。 ③ 自在鑑付け法の注意事項を述べる。 ④ グリュンバークのブローパイプとエアポンプの正しい操作を実施する。 ⑤ 自在鑑付け法の手技について説明する。 ⑥ 自在鑑付け法の手順を述べる。 ⑦ フラックスの所要性質について説明する。
				ユニット1 グリュンバークのブローパイプとエアポンプの操作 ユニット2 自在鑑付け法 GIO 自在鑑付け法に必要な器材を知り、正しい操作 技術を身に付ける。	
2				ユニット3 自在鑑付け[基礎実習] ユニット4 提出 GIO 自在鑑付け法の実際を知り、安全な操作技術を身に付ける。 技工操作の流れを理解する。	① 自在鑑付けに必要な器材を準備する。 ② 手順に従い自在鑑付けを実施する。 ③ 安全に操作を終了する。 ④ 切下げを使用して、ホウ砂膜や酸化膜の除去を実施する。 ⑤ 技工操作の流れを具体的に述べる。 ⑥ 製作物を提出する。
3	6/22	木		舌側弧線装置の製作 ユニット1 模型製作 ユニット2 維持バンドの製作 GIO 維持バンドの特徴と使用方法を理解し、臨床での製作方法を知る。	① 石膏練和に必要な器材を準備する。 ② 石膏練和・注入を実施する。 ③ 維持バンド製作に必要な器材を準備する。 ④ 維持バンドの取り付け法について説明する。 ⑤ 維持バンド製作を実施する。 ⑥ スポッドエルダーの操作方法を説明する。 ⑦ スポッドエルダーを用いて、バンドの仮着操作を実施する。 ⑧ クラスプの屈曲に必要な器材を準備する。 ⑨ 適切な作業姿勢や屈曲の手技を模倣する。 ⑩ 線屈曲の手技やプライヤーの正しい使い方を実施する。 ⑪ クラスプ屈曲を実施する。 ⑫ 維持装置の製作に必要な器材を準備する。 ⑬ スポッドエルダーを用いて、バンドクラスプの仮着操作を実施する。 ⑭ 鑑着操作の術式、フラックスの所要性質を述べる。
				ユニット3 クラスプの屈曲・維持装置の製作 GIO クラスプ線屈曲の一般原則を理解し、屈曲の手技を身に付ける。 鑑着操作の術式、フラックスの所要性質を理解し、鑑着操作の実際を身に付ける。	
4	6/23	金	吉田萌香 水野良祐		
5					

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)
6	6/29	木	吉田萌香 水野良祐	ユニット4 主線および補助弾線の外形線の記入 ユニット5 主線の屈曲	⑮ スポッドエルダーを用いて、バンドトラスプの鑑着操作を実施する。 ⑯ 主線および補助弾線の役割を説明する。 ⑰ 主線および補助弾線の外形線を描記する。 ⑱ 屈曲に必要な器材を準備する。 ⑲ 主線の屈曲を実施する。
				GIO 主線および補助弾線の役割を理解し、外形線の記入法、線屈曲の手技を身に付ける。	
7	7/5	水		ユニット6 主線と維持装置の鑑付け ユニット7 補助弾線の仮着・鑑付け	① 主線と維持装置の切断と調整を実施する。 ② 鑑付けに必要な器材を準備する。 ③ ミノトーチを用いて、鑑付けを実施する。 ④ 仮着・鑑着に必要な器材を準備する。 ⑤ スポッドエルダーを用いて、主線への補助弾線の仮着を実施する。 ⑥ スポッドエルダーを用いて、主線への補助弾線の鑑着を実施する。
	7/6	木		GIO スポッドエルダーの使用操作を知り、仮着・鑑着操作を身に付ける。	
8	7/12	水			
	7/13	木			
10	7/20	木		ユニット8 補助弾線の屈曲 ユニット9 研磨 ユニット10 提出	① 補助弾線の種類と作用方向を説明する。 ② 屈曲に必要な器材を準備する。 ③ 屈曲を実施する。 ④ 研磨に必要な材料を準備する。 ⑤ 研磨の手順を述べる。 ⑥ 研磨を実施する。 ⑦ 技工操作の流れを具体的に述べる。 ⑧ 製作物を提出する。
				GIO 補助弾線の種類と作用を理解し、屈曲法を身に付ける。	
11	7/26	水		研磨法の実際を身に付け、技工操作の流れを確認する。	

別紙(小児歯科技工学実習器材)

★…実習作品、課題作品 提出日

回	月日	曜日	限	製作物	使用器材
1	★ 6月30日	金	①②	乳歯彫刻	乳歯彫刻用模型(4/28までに製作。) 石膏ブロック、切り出しナイフ、鉛筆(色鉛筆)、ノギス、彫刻刀、分割ノコギリ
2			③④		
3	7月8日	金	①②	メタルインレー	[作業用模型製作] チャネルレ、台付け用硬質石膏、その他模型製作に必要な器材
4			③④		[ワックスパターン形成] レッドインレーワックス、その他ワックスパターン形成に必要な器材 [埋 没] 専用円錐台、リング(小)、石膏系埋没材(クリスタライト21)、その他埋没に必要な器材
5	7月11日	火	③④		[鑄 造] 圧鑄造機(ハミルセータ)、セータパッキン、Kメタル、その他鑄造に必要な器材 [研 磨] 金属研磨に必要な器材
6	★ 7月14日	金	①②		
7	7月14日	金	③④	スペースリグレーナー	[模型製作] 硬質石膏、シリコーン陰型、トワースプレー、その他模型製作に必要な器材 [外形線の記入/屈曲] 赤青鉛筆、矯正用線(φ0.7mm)、ヤングのフライヤー、ワイヤニッパ、その他屈曲に必要な器材
8	7月18日	火	③④		
9	7月21日	金	①②		[床の製作] レディキャストワックスR40、アクロセップ、クイックレジンO矯正用(粉・液)、タッピングガラス、レジ用筆、その他床製作に必要な器材
10			③④		[床の形態修正] タングステンカーバイトパ、その他形態修正に必要な器材
11	★ 7月25日	火	③④		[床・クラスプおよびスプリングの研磨、仕上げ研磨] ピックシリコンポイント、ペーパーコン、耐水ペーパー、歯ブラシ、洗剤、その他研磨に必要な器材

別紙(矯正歯科技工学実習器材)

★…実習作品、課題作品 提出日

1	★ 6月16日	金	①②	自在 基礎 実習 鑷 付 け	グリュンバークのプロパイプ、エアホンプ、B5パインター(黒)、矯正用線(φ0.5mm、φ0.9mm)、鑷線、フラックス、ヤングのフライヤー、ワイヤニッパ、切下げ、その他自在鑷付け操作に必要な器材
2			③④		
3	6月22日	木	③④	舌側 弧 線 装 置	[模型製作] 硬質石膏、シリコーン陰型、トワースプレー、その他模型製作に必要な器材 [維持バンドの製作] バンド、爪楊枝、金冠ばさみ、スポットエルダ
4	6月23日	金	①②		[屈 曲] 矯正用線(φ0.9mm)、ヤングのフライヤー、ワイヤニッパ、その他屈曲に必要な器材
5			③④		[維持装置の製作] スポットエルダ、銀鑷、フラックス、その他仮着・鑷付けに必要な器材
6	6月29日	火	③④		[外形線の記入/主線の屈曲] 赤青鉛筆、矯正用線(φ0.9mm)、ヤングのフライヤー、ワイヤニッパ、その他屈曲に必要な器材
7	7月5日	水	②		[鑷付け] 埋没材(クリスタ21)、硬質石膏、ピンセット、鑷線(コイル状)、フラックス、ミートチ、その他鑷付けに必要な器材
8	7月6日	木	③④		[仮着・鑷付け] スポットエルダ、矯正用線(φ0.5mm)、銀鑷、フラックス、その他仮着・鑷付けに必要な器材
9	7月12日	水	②		
10	7月13日	火	③④		
11	7月20日	水	③④		[補助弾線の屈曲] 屈曲に必要な器材 [研 磨] 研磨に必要な器材
11	★ 7月26日	木	①②		

歯科技工学実習Ⅱ(歯冠修復)

5単位(4h×55回)

本学期的学習目標(GIO)

各種歯冠修復物の製作方法を理解し、各ステップの技工操作が、「早く」、「正確」にできる。硬質レジン、ハイブリッドセラミックス、陶材の材料、器具の取り扱い方を理解し正しく操作することができる。

学年	学期	曜日	時間	担当者	講義場所
2	前期 (9月)	火	9:15:10:45 10:55~12:25 13:25~14:55 15:05~16:35	吉田萌香 (歯科技工士) 水野良祐 (歯科技工士)	技工実習室
		木	9:15:10:45 10:55~12:25		
	後期 (10~1月)	火水 木金	9:15:10:45 10:55~12:25 13:25~14:55 15:05~16:35		

テキスト・参考書

最新歯科技工士教本[歯冠修復技工学] / 実習帳

成績評価

提出作品

使用材料・機具

別紙(歯冠修復技工実習器材)参照

オフィスアワー

12:30~13:20

*回数は半日の実習を1回とする。

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)
実習前課題				陶材焼付金属冠の製作	① 石膏練和に必要な器具を準備する。 ② 石膏練和、注入を実施する。 ③ モールドを使用して、作業用模型の製作を実施する。 ④ 歯型の分割を実施する。(7/31までに模型を準備。)
				ユニット1 作業用模型の製作	
				GIO 石膏注入、模型作製の基本的な作業を理解する。	
1	9/5	火	吉田萌香 水野良祐	ユニット2 咬合器装着	① 歯型のトリミングを実施する。 ② 咬合器装着に必要な器材を準備する。 ③ 咬合器装着操作を実施する。 ④ ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。
2				GIO 対合関係を理解し、咬合器装着法を身に付ける。	
3	9/7	木		ユニット3 ワックスパターン形成(C、~)	⑤ ワックスパターン形成の術式について説明する。 ⑥ ワックスパターン形成法を実施する。
4	9/12	火		GIO 使用器材の特徴を理解し、ワックスパターン形成術式を知る。	
5					
6	9/14	木		ユニット4 窓開け ユニット5 埋没 ユニット6 鑄造	① 窓開けの術式を述べる。 ② 窓開け操作を実施する。 ③ 埋没操作の術式について述べる。 ④ 埋没操作に必要な器材を準備する。 ⑤ 埋没操作を実施する。 ⑥ 鑄造法について説明する。 ⑦ 鑄造法を実施する。(その日に鑄造できない場合は、翌日実施。) ⑧ 鑄造後処理を実施する。
7	9/19	火		GIO 前装形態を理解し、窓開け法を身に付ける。維持装置の目的を理解する。	
8					
9	9/21	木		GIO 埋没材から鑄造までの流れを理解し、埋没、鑄造操作を身に付ける。	
10	9/26	火			

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)
11	9/26	火	吉田萌香 水野良祐	ユニット7 メタルフレームの調整 ユニット8 加熱処理(ディギャッシング) ユニット9 陶材の築盛及 7R焼成 ユニット10 陶材の形態修正	① 調整研磨に必要な器材を準備する。 ② 調整研磨法について説明する。 ③ 加熱処理(ディギャッシング)の術式を述べる。 ④ 陶材築盛に必要な器材を準備する。
12	9/28	木		GIO 鑄造後の後処理を実施する。 鑄造体の調整研磨法を知り、技工操作を習得する。 加熱処理の目的を理解する。 陶材築盛の術式を知り、築盛操作の実際を身に付ける。 形態修正の術式を知り、調整研磨法を身に付ける。	⑤ 手指や成形器の正しい使い方を実施する。 ⑥ 陶材築盛の術式について述べる。 ⑦ 形態修正に必要な器材を準備する。 ⑧ 形態修正の術式について述べる。 ⑨ 形態修正を実施する。
13	10/3	火			
14		火			
15	10/5	木			
16	10/10	火			
17		火			
18	10/12	木			
19	10/17	火			
20		火			
21	10/19	木	ユニット11 ステイニング・グレージング ユニット12 メタル研磨 ユニット13 提出		① ステイニングに必要な器材を準備する。 ② ステイニング法について説明する。 ③ ステイニング法を実施する。 ④ グレージング(つや出し焼成)の術式について述べる。 ⑤ グレージング焼成を実施する。 ⑥ メタルの研磨に必要な器材を準備する。 ⑦ メタル研磨法について説明する。 ⑧ メタル研磨法を実施する。 ⑨ 技工操作の流れを具体的に述べる。 ⑩ 製作物を提出する。
			GIO ステイニング・グレージング法を知り、技工操作を習得する。 鑄造体の研磨法の実際を身に付け技工操作の流れを確認する。		
22	10/24	火			
実習前課題				下顎臼歯部固定性ブリッジの製作	① 石膏練和に必要な器具を準備する。 ② 石膏練和、注入を実施する。 ③ モールドを使用して、作業用模型の製作を実施する。 ④ 歯型の分割を実施する。(10/24までに模型を準備。)
				ユニット1 作業用模型の製作	
				GIO 石膏注入、模型作製の基本的な作業を理解する。	
23	10/24	火	吉田萌香 水野良祐	ユニット2 咬合器装着 GIO 対合関係を理解し、咬合器装着法を身に付ける。	① 歯型のトリミングを実施する。 ② 咬合器装着に必要な器材を準備する。 ③ 咬合器装着操作を実施する。 ④ ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 ⑤ ワックスパターン形成の術式について説明する。 ⑥ ワックスパターン形成法を実施する。
24	10/26	木			
25	10/31	火		ユニット3 ワックスパターン形成 GIO 使用器材の特徴を理解し、ワックスパターン形成術式を知る。	
26		火			
27	11/2	木		ユニット4 窓開け ユニット5 連結 ユニット6 維持装置の付与 ユニット7 埋没 ユニット8 鑄造	① 窓開けの術式について述べる。 ② 窓開け操作を実施する。 ③ 連結法について説明する。 ④ 連結法を実施する。 ⑤ 維持装置付与に必要な器材を準備する。 ⑥ 維持装置付与の術式を述べる。 ⑦ 維持装置の付与を実施する。 ⑧ 埋没に必要な器材を準備する。 ⑨ 埋没操作の術式について述べる。 ⑩ 埋没操作を実施する。 ⑪ 鑄造法について説明する。 ⑫ 鑄造法を実施する。(その日に鑄造できない場合は、翌日実施。) ⑬ 鑄造後処理を実施する。
				28	11/7
29	火				
30	11/9	木			

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)		
31	11/14	火	吉田萌香 水野良祐	ユニット9 鑑付け	① 鑑付けに必要な器材を準備する。 ② 鑑付け法について説明する。 ③ 鑑付け法を実施する。 ④ 調整研磨について説明する。 ⑤ 調整研磨に必要な器材を準備する。 ⑥ 調整研磨法を実施する。 ⑦ 接着処理法について説明する。 ⑧ 接着処理法に必要な器材を準備する。 ⑨ 接着処理法を実施する。 ⑩ 前装材の築盛・重合に必要な器材を準備する。 ⑪ 適切な作業姿勢や器具の配置を模倣する。 ⑫ 手指や成形器の正しい使い方を実施する。 ⑬ 前装材築盛の術式について述べる。 ⑭ 前装材の築盛操作を実施する。		
32				ユニット10 メタルフレームの調整			
33	11/16	木		ユニット11 前装部の接着処理			
34				ユニット12 前装材の築盛・重合			
35	11/21	火		GIO 前鑑付け法の実際を知り、身に付ける。 鑑付け後の後処理を実施する。鑄造体の調整研磨法を知り、技工操作を習得する。前装部の接着処理の目的を理解する。レジン築盛の術式を知り、レジン操作の実際を身に付ける。			
36							
37	12/5	火		ユニット13 前装部の形態修正		① 形態修正に必要な器材を準備する。 ② 形態修正の術式について述べる。 ③ 形態修正を実施する。 ④ 研磨法について説明する。 ⑤ 研磨の手順について述べる。 ⑥ 研磨に必要な器材を準備する。 ⑦ 研磨を実施する。 ⑧ 技工操作の流れを具体的に述べる。 ⑨ 製作物を提出する。	
38				ユニット14 研 磨			
				ユニット15 提 出			
				GIO 形態修正の術式を知り、調整研磨法を身に付ける。 鑄造体の研磨法の実際を身に付け、技工操作の流れを確認する。			
実習前課題				上顎前歯部硬質レジン前装ブリッジの製作		① 石膏練和に必要な器具を準備する。 ② 石膏練和、注入を実施する。 ③ モールドを使用して、作業用模型の製作を実施する。 ④ 歯型の分割を実施する。 (12/7までに模型を準備。)	
				ユニット1 作業用模型の製作			
				GIO 石膏注入、模型作製の基本的な作業を理解する。			
39	12/7	木	ユニット2 咬合器装着	① 歯型のトリミングを実施する。 ② 咬合器装着に必要な器材を準備する。 ③ 咬合器装着操作を実施する。 ④ ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 ⑤ ワックスパターン形成の術式について説明する。 ⑥ ワックスパターン形成法を実施する。			
40			GIO 対合関係を理解し、咬合器装着法を身に付ける。				
41	12/8	金	ユニット3 ワックスパターン形成				
42			GIO 使用器材の特徴を理解し、ワックスパターン形成術式を知る。				
43	12/12	火	ユニット4 窓開け		① 窓開けの術式について述べる。 ② 窓開け操作を実施する。 ③ 連結法について説明する。 ④ 連結法を実施する。 ⑤ 維持装置付与の術式を述べる。 ⑥ 維持装置付与に必要な器材を準備する。 ⑦ 維持装置の付与を実施する。 ⑧ 埋没操作の術式について述べる。 ⑨ 埋没に必要な器材を準備する。 ⑩ 埋没操作を実施する。 ⑪ 鑄造法について説明する。 ⑫ 鑄造法を実施する。 (その日に鑄造できない場合は、翌日実施。) ⑬ 鑄造後処理を実施する。		
44			ユニット5 連 結				
	ユニット6 維持装置の付与						
	ユニット7 埋 没						
	ユニット8 鑄 造						
	GIO 前装形態を理解し、窓開け法を身に付ける。維持装置の目的を理解する。						
45	12/14	木					
46							

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)
47	12/15	金	吉田萌香 水野良祐	ユニット9 メタルフレームの調整	① 調整研磨法について説明する。 ② 調整研磨に必要な器材を準備する。 ③ 調整研磨を実施する。 ④ 接着処理法について説明する。 ⑤ 接着処理法に必要な器材を準備する。 ⑥ 接着処理法を実施する。 ⑦ 前装材の築盛・重合に必要な器材を準備する。 ⑧ 適切な作業姿勢や器具の配置を模倣する。 ⑨ 手指や形成器の正しい使い方を実施する。 ⑩ 前装材の築盛の寿つきについて述べる。 ⑪ 前装材の築盛操作を実施する。 ⑫ 形態修正に必要な器材を準備する。 ⑬ 形態修正の術式について述べる。 ⑭ 形態修正を実施する。
48				ユニット10 前装部の接着処理	
49	12/19	火		ユニット11 前装材の築盛・重合	
				ユニット12 前装部の形態修正	
50	12/21	木		GIO 錆付け後の後処理を実施する。 鋳造体の調整研磨法を知り、技工操作を習得する。 前装部の接着処理の目的を理解する。 レジン築盛の術式を知り、レジン操作の実際を身に付ける。	
51					
52	12/22	金		ユニット13 研 磨	
53				ユニット14 提 出	
54	1/10	水		GIO 形態修正の術式を知り、調整研磨法を身に付ける。	
				55	

別紙(歯科技工学実習Ⅱ 器材)

★…実習作品、課題作品 提出日

回	月日	曜日	限	製作物	使用器材			
1	9月5日	火	①②	陶材焼付金属冠	[模型製作] 超硬質石膏、硬質石膏、シリコン陰型、トワスプレ、その他模型製作に必要な器材			
2			③④		[作業用模型の製作] 台付け用モールド、台付け用硬質石膏、ダウエルピン穴穿孔機、その他作業用模型製作に必要な器材			
3	9月7日	木	①②		[咬合器装着] YDMスピーシー咬合器アルコン型、普通石膏、その他咬合器装着に必要な器材			
4	9月12日	火	①②		[ワックスパターン形成] マージンワックス、インレーワックス、その他ワックスパターン形成に必要な器材			
5			③④					
6	9月14日	木	①②					
7	9月19日	火	①②		[窓開け] デンタルメジャリングデバイス、その他窓開けに必要な器材			
8			③④		[埋 没] 円錐台・リング(大)、リン酸塩系埋没材(ペルハティ粉・液)、その他埋没材に必要な器材			
9	9月21日	木	①②		[鑄 造] 高周波鑄造機(アルゴンキャスター)、ニッケルクロム合金(ユニメタルEZ)、その他鑄造に必要な器材			
10	9月26日	火	①②		陶材焼付金属冠	[メタルフレームの調整] デンタルメジャリングデバイス、セラモメタルポイント、その他調整研磨に必要な器材		
11			③④			[接着処理] アルミナサトプラスト、アセトン、超音波洗浄器、スチーマー		
12	9月28日	木	①②			[陶材築盛・焼成] 陶材(松風:ウインテージハロー)、ホーセレンファ-ネス、スパチュラ(陶材練和用)、止血鉗子、ガラス練板		
13	10月3日	火	①②			カッピングナイフ(歯冠形成用)、陶材用筆、小槌、スポイト、コップ、布きん、その他陶材築盛・焼成に必要な器材		
14			③④			[陶材形態修正磨] ダイヤモンドポイント、エターヒン、その他形態修正に必要な器材		
15	10月5日	木	①②					
16	10月10日	火	①②			陶材焼付金属冠		
17			③④					
18	10月12日	木	①②					
19	10月17日	火	①②				陶材焼付金属冠	
20			③④					
21	10月29日	木	①②					[ステイニング・グレーズング] ステイン陶材(ウイテ-ジ-アト)、ステイニング用筆、ホーセレンファ-ネス、ステイニング・グレーズングに必要な器材
22	★ 10月24日	火	①②					[メタル研磨・仕上げ] 金属研磨に必要な器材
23	10月24日	火	③④	下顎臼歯部半固定性ブリッジ				[模型製作] 硬質石膏、普通石膏、シリコン陰型、トワスプレ、その他模型製作に必要な器材
24	10月26日	木	③④					[作業用模型の製作] 台付け用モールド、台付け用硬質石膏、ダウエルピン穴穿孔機、その他作業用模型製作に必要な器材
25	10月31日	火	①②					[咬合器装着] YDMスピーシー咬合器アルコン型、普通石膏、その他咬合器装着に必要な器材
26			③④					[ワックスパターン形成] マージンワックス、インレーワックス、その他ワックスパターン形成に必要な器材
27	11月2日	木	③④					[窓開け] デンタルメジャリングデバイス、その他窓開けに必要な器材
28	11月7日	火	①②					[連 結] パターンジン(粉・液)、筆、その他連結操作に必要な器材
29			③④					[維持装置の付与] リテンションピース(ピース、液) [埋 没] ランナーハ-、円錐台・リング(大)、石膏系埋没材(クリストハライト21)、その他埋没材に必要な器材 [鑄 造] 遠心鑄造機、Kメタル、その他鑄造に必要な器材

回	月日	曜日	限	製作物	使用器材
30	11月9日	木	③④	下顎臼歯部半固定性ブリッジ	
31	11月14日	火	①②		[鑑付け] スティッキーワックス、パターンレジン(粉・液)、バー(中古)、パラフィンワックス、鑑付け用埋没材、ハンデイトチ、フラックス、アンチフラックス(修正液)、乾燥機、鑑、プロパイプ、その他鑑付けに必要な器材
32			③④		[メタルフレームの調整] 調整研磨に必要な器材
33	11月16日	木	①②		[接着処理] アルミナサンドブラスト、アセトン、超音波洗浄器、スチーマー
34			③④		[レジン築盛・重合] レジン成形器ノアル#1、ユニブラシ、止血鉗子、セラマージュクリナー、α-ライト光重合器、サブライト、硬質レジン(松風:ソリテックスハーテュラ)、その他レジン築盛に必要な器材
35	11月21日	火	①②		[レジン形態修正、仕上げ研磨] レジン形態修正に必要な器材、メタル・レジンの仕上げ研磨に必要な器材
36			③④		
37	★ 12月5日	火	①②		
38			③④		
39	12月7日	木	①②		上顎前歯部硬質レジン前装ブリッジ
40			③④	[作業用模型の製作] 台付け用モールド、台付け用硬質石膏、ダウエルピン穴穿孔機、その他作業用模型製作に必要な器材	
41	12月8日	金	①②	[咬合器装着] YDMスペイシー咬合器アルコン型、普通石膏、その他咬合器装着に必要な器材	
42			③④	[ワックスパターン形成] マージンワックス、インレーワックス、その他ワックスパターン形成に必要な器材	
43	12月12日	火	①②	[窓開け] デンタルメジャリングデバイス、その他窓開けに必要な器材	
44			③④	[連 結] パターンレジン(粉・液)、筆、その他連結操作に必要な器材 [維持装置の付与] リテンションビーズ(ビーズ、液)	
45	12月14日	木	①②	[埋 没] ランナーバー、円錐台・リング(大)、石膏系埋没材(クリストハライト21)、その他埋没材に必要な器材	
46			③④	[鑄 造] 遠心鑄造機、Kメタル、その他鑄造に必要な器材	
47	12月15日	金	①②	[メタルフレームの調整] 調整研磨に必要な器材	
48			③④	[接着処理] アルミナサンドブラスト、アセトン、超音波洗浄器、スチーマー [レジン築盛・重合] レジン成形器ノアル#1、ユニブラシ、止血鉗子、セラマージュクリナー、α-ライト光重合器、サブライト、硬質レジン(松風:ソリテックスハーテュラ)、その他レジン築盛に必要な器材	
49	12月19日	火	①②	[レジン形態修正] レジン形態修正に必要な器材	
50			③④		
51	12月21日	木	①②		
52			③④		
53	12月21日	金	①②	[仕上げ研磨] メタル・レジンの仕上げ研磨に必要な器材	
54	★ 1月13日	水	①②		
55			③④		

授業科目	歯科技工学実習Ⅲ (解剖学)	学年	2	担当教員	吉田萌香 / 水野良祐														
		開設時期	前期・後期																
		単位数	3 [4h×33回]	実務経験と その関連資格	歯科技工士														
授業の概要 授業の内容	<p>[授業の目的] 各歯の解剖学的名称と特徴を理解する。歯の形態を深く観察し、正確に彫刻・模倣できる。</p> <p>[達成目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歯の計測ができる。 ・ 歯の解剖学名を述べる。 ・ 歯の形態を説明できる。 ・ 歯の形態を彫刻できる。 <p>[授業内容]</p> <p>歯形彫刻 / ワックスパターン形成</p> <p>歯の解剖学的形態を立体的に表現することにより、二次元的平面観とそれぞれの面の結びつきを認識し、各部の名称とのつき合わせを行うことで歯の形態に対する認識をよりいっそう深めるとともに、歯種による形態的特徴をとらえて歯種鑑別の能力を身に付ける。また、歯の持つ機能や形態の生理的意義についても認識する。</p> <p>実習: 歯形彫刻(等倍模型)</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">①上顎中切歯(1)、(1)</td> <td style="width: 50%;">⑧下顎第一小臼歯(4)、(4)</td> </tr> <tr> <td>②上顎側切歯(2)、(2)</td> <td>⑨下顎第二小臼歯(5)、(5)</td> </tr> <tr> <td>③上顎犬歯(3)、(3)</td> <td>⑩下顎第一大臼歯(6)、(6)</td> </tr> <tr> <td>④上顎第一小臼歯(4)、(4)</td> <td>⑪下顎第二大臼歯(7)、(7)</td> </tr> <tr> <td>⑤上顎第二小臼歯(5)、(5)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑥上顎第一大臼歯(6)、(6)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑦上顎第二大臼歯(7)、(7)</td> <td></td> </tr> </table> <p>*その他、長期休暇中は課題を出題する。</p> <p>実習: 実技評価試験対策練習(ワックスパターン形成)</p>					①上顎中切歯(1)、(1)	⑧下顎第一小臼歯(4)、(4)	②上顎側切歯(2)、(2)	⑨下顎第二小臼歯(5)、(5)	③上顎犬歯(3)、(3)	⑩下顎第一大臼歯(6)、(6)	④上顎第一小臼歯(4)、(4)	⑪下顎第二大臼歯(7)、(7)	⑤上顎第二小臼歯(5)、(5)		⑥上顎第一大臼歯(6)、(6)		⑦上顎第二大臼歯(7)、(7)	
①上顎中切歯(1)、(1)	⑧下顎第一小臼歯(4)、(4)																		
②上顎側切歯(2)、(2)	⑨下顎第二小臼歯(5)、(5)																		
③上顎犬歯(3)、(3)	⑩下顎第一大臼歯(6)、(6)																		
④上顎第一小臼歯(4)、(4)	⑪下顎第二大臼歯(7)、(7)																		
⑤上顎第二小臼歯(5)、(5)																			
⑥上顎第一大臼歯(6)、(6)																			
⑦上顎第二大臼歯(7)、(7)																			
講義場所	技工実習室(2年生実習室)																		
テキスト 参考文献	歯の解剖 歯のデッサンと歯型彫刻 / 実習帳																		
評価方法	実習作品、実習課題の提出。																		
使用材料 使用器具	歯形彫刻: 歯の模型(等倍)、石膏ブロック、切り出しナイフ、鉛筆(色鉛筆)、ノギス、彫刻刀、分割ノコギリ ワックスパターン形成: ガスバーナー、ライター、ワックス分離剤(シーサーバリア)、マージンワックス、インレーワックス、ワックススパチュラ、ワックスインストメント、エバン彫刻刀、咬合紙、筆、その他ワックスパターン形成に必要な器材																		

回	月日	曜日	限	項目	内容
1	4月4日	火	①②	歯形彫刻	授業の説明
					[1] 歯形彫刻 [等倍模型]
2	4月11日	火	①②		[6] 歯形彫刻 [等倍模型]
					[3] 歯形彫刻 [等倍模型]
3	4月18日	火	①②		[4] 歯形彫刻 [等倍模型]
					[2] 歯形彫刻 [等倍模型]
4	4月25日	火	①②		[7] 歯形彫刻 [等倍模型]
					[4] 歯形彫刻 [等倍模型]
5	5月2日	火	①②		[5] 歯形彫刻 [等倍模型]
					[1] 歯形彫刻 [等倍模型]
6	5月9日	火	①②	[6] 歯形彫刻 [等倍模型]	
				[3] 歯形彫刻 [等倍模型]	
7	5月16日	火	①②	[5] 歯形彫刻 [等倍模型]	
				[2] 歯形彫刻 [等倍模型]	
8	5月23日	火	①②	[6] 歯形彫刻 [等倍模型]	
				[4] 歯形彫刻 [等倍模型]	
					[4] 歯形彫刻 [等倍模型]

9	5月30日	火	①②	歯形彫刻	4 歯形彫刻 [等倍模型]
					5 歯形彫刻 [等倍模型]
10	6月6日	火	①②		1 歯形彫刻 [等倍模型]
					6 歯形彫刻 [等倍模型]
11	6月13日	火	①②		5 歯形彫刻 [等倍模型]
					3 歯形彫刻 [等倍模型]
12	6月20日	火	①②		4 歯形彫刻 [等倍模型]
					7 歯形彫刻 [等倍模型]
13	6月27日	火	①②		4 歯形彫刻 [等倍模型]
					6 歯形彫刻 [等倍模型]
14	7月4日	火	①②		3 歯形彫刻 [等倍模型]
					6 歯形彫刻 [等倍模型]
15	7月11日	火	①②		1 歯形彫刻 [等倍模型]
					5 歯形彫刻 [等倍模型]
16	7月18日	火	①②		2 歯形彫刻 [等倍模型]
					6 歯形彫刻 [等倍模型]
17	7月25日	火	③		4 歯形彫刻 [等倍模型]
	9月6日	水	③	5 歯形彫刻 [等倍模型]	
18	9月13日	水	③	4 歯形彫刻 [等倍模型]	
	9月20日	水	③	5 歯形彫刻 [等倍模型]	
19	9月27日	水	③	実技評価 試験対策 (ワックス パターン形成)	4 ワックスパターン形成[500A模型]
	10月4日	水	③		6 ワックスパターン形成[500A模型]
20	10月11日	水	③		5 ワックスパターン形成[500A模型]
	10月18日	水	③		6 ワックスパターン形成[500A模型]
21	10月25日	水	③		4 ワックスパターン形成[500A模型]
	11月1日	水	③		6 ワックスパターン形成[500A模型]
22	11月8日	水	③		①ワックスパターン形成:内容(部位)は授業開始時に指示。 ②試験用模型の製作
	11月15日	水	③		
23	11月22日	水	③④		
24	12月6日	水	③④		
25	12月13日	水	③④		
26	12月20日	水	③④	歯形彫刻	①国家試験対策歯形彫刻:内容(部位)は授業開始時に指示。 (*評価内容に含まない)
27	1月9日	火	①②		
28			③④		
29	1月11日	木	①②		
30			③④		
31	1月12日	金	③④		
32	1月15日	月	①②		
33			③④		

歯科技工学実習Ⅳ(スポーツ歯学)

1単位(4h×8回)

本学期の学習目標(GIO)

スポーツマウスガードの製作を通じて、顎口腔領域のスポーツ外傷について知り、マウスガードの種類特徴、製作法を理解する。

学年	学期	曜日	時間	講義場所
2	前期 (6.7月)	木	9:25~10:45 10:55~12:25	技工実習室

教科書・参考書

著者・編者	書名	版	出版社
石上恵一 編著	新マウスガードの作り方		医歯薬出版株式会社
全国歯科技工士教育協議会(編)	最新歯科技工士教本 顎口腔機能学		医歯薬出版株式会社

担当者一覧(実務経験とその関連資格)

多田 宏(勤務歯科医師) 吉田萌香(歯科技工士) 水野良祐(歯科技工士)

成績評価

提出作品(作業結果)

使用材料・機器

2mm・3mmマウスガード材EVA 加圧成型機 超音波カッター 他

オフィスアワー

12:25~13:25

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号:名 / 学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)
1	6/8	木	多田 吉田 水野	ユニット1 印象採得と作業模型の製作 GIO 適切な作業模型が製作できる。	① アルジネート印象材に石膏が注入できる。 ② 模型を適切な形態にトリミングできる。 ③ 不要な気泡などを除去できる。
				ユニット2 咬合器装着 ユニット3 外形線の記入 GIO ラミネートタイプの外形線を理解する。	
3	6/15	木	多田 吉田 水野	ユニット4 マウスガード材の圧接 GIO 1層目のマウスガード材の外形と厚さを知る。 2層目のマウスガード材の外形と厚さを知る。	① 1層目のマウスガード材を圧接し、適切にトリミングできる。 ② 1層目のマウスガード材の表面を加工修正できる。 ③ 2層目のマウスガード材を圧接する。
4	6/22	木	多田 吉田 水野	ユニット5 マウスガードの咬合調整とトリミング GIO マウスガード材の咬合について理解する。 2層目のマウスガード材の外形に調整できる。	
5	6/29	木	多田 吉田 水野		① マウスガード材の咬合調整と犬歯誘導の付与ができる。 ② 2層目のマウスガード材を外形線に沿ってトリミングできる。
6	7/6	木			
7	7/13	木	多田 吉田 水野	ユニット6 仕上げ GIO マウスガード材の表面仕上げ方法を知る。	① マウスガード材の表面仕上げ方法と手順を理解する。 ② マウスガード材の表面を仕上げる。
8	7/20	木	多田 吉田 水野	ユニット7 スポーツ歯学総合 GIO マウスガードを理解し、種類や特徴と 製作方法について理解を深める。	① マウスガードを口腔内装着し咬合調整する。